LEICA D-LUX 7

取扱説明書

知りたいことの探し方

本書では、知りたいことを以下のページから探すことができます。

目次	P4～
機能の名前	P9～
ボタンゃダイヤル	P16～
画面ゃアイコンから探す	P264～
メッセージ	P270～
メニュー名	P166～
Q&A	P272～

本書の詳しい読み方は、次ページへ

本書の見方

使えるモードの表示について

使えるモード： P A S M

説明している機能がどの撮影モードで使えるかを表しています。

- 黒のアイコン：使えるモード
- グレーのアイコン：使えないモード

■ 本文中の記号について

MENU：　[MENU/SET] ボタンを押してメニューの設定をすることを示しています。

Wi-Fi：　[Wi-Fi] ボタンを押して Wi-Fi の設定をすることを示しています。

[AE/AF]、[DISP]、[▶] などは、それぞれの表示のボタンを示しています。

：　上手に使うためのヒントや撮影のポイントを記載しています。

：　特定の機能が使えなくなる条件を記載しています。

(P∗∗)：参照するページ番号を示しています。

メニュー設定の手順を次のように説明しています。

MENU ボタン → [撮影] → [クオリティ] → [ ]

- 本書ではカーソルボタンの上下左右を ▲/▼/◀/▶ で表します。

目次

知りたいことの探し方 2
本書の見方 3
機能別目次 9

1. はじめに

ご使用の前に 12
付属品 14
別売品のご紹介 15
各部の名前と働き 16

2. 準備と基本操作

レンズキャップ / ショルダーストラップを付ける 18
バッテリーを充電する 20
バッテリーを入れる 21
充電する 22
使用時間と撮影枚数の目安 25
カード(別売)を入れる / 取り出す 26
カードについて 27
カードをフォーマット(初期化)する 28
記録可能枚数・時間の目安 29
時計を設定する 31
基本の操作 33
本機の構え方について 33
ファインダー撮影について 34
ズーム操作 35
写真の撮影 36
動画の撮影 37
撮影モードを選ぶ 37
コントロールダイヤル 39
カーソルボタン / [MENU/SET] ボタン 39
[DISP] ボタン 39
タッチパネル(タッチ操作) 42
タッチ機能を使って撮る 43
メニューの設定方法 45
クイックメニュー 47
クイックメニューをお好みの項目に変更する 48
よく使う機能をボタンに割り当てる(ファンクションボタン) 49
コントロールリングで設定を変更する 53
コントロールリングに割り当てる機能を変更する 54
文字を入力する 55

3. 撮影モード

スナップショットモード 56
スナップショットモードメニュー 59
色合い･ボケ具合･明るさを変えて撮る 60
プログラム AE モード 61
絞り値/シャッタースピードを決めて撮る 63
絞り効果 / シャッタースピード効果を確認する（プレビューモード） 69
お好みの設定を登録して撮る（カスタムセット） 70
お好みのメニュー設定を登録する（カスタムセット登録） 70
登録したカスタムセットを呼び出す 70

4. ピント・明るさ（露出）・色合いの設定

自動でピントを合わせる（オートフォーカス） 72
フォーカスモードを設定する（AFS、AFF、AFC） 74
オートフォーカスモードを設定する 75
AFエリアの位置や大きさを変更する 81
タッチパッドを使ってAFエリアの位置を選ぶ 84
タッチ機能を使って AF エリアの位置を選ぶ 85
近づいて撮る（マクロ撮影） 86
手動でピントを合わせる（マニュアルフォーカス） 87
ピントや露出を固定して撮る（AF/AEロック） 89
露出を補正して撮る 90
ISO感度を設定する 92
ホワイトバランスを調整する 94
ホワイトバランス微調整 96

5. 4Kフォト・ドライブの設定

ドライブモードを選ぶ 97
連写する 98
4K フォトを撮る 100
4K フォトについてのお知らせ 102
4K 連写ファイルから写真を選び保存する 105
写真を選ぶときの操作 106
撮影後にピントを操作する
（ポストフォーカス / フォーカススタッキング） 110
ピントを合わせる位置を選び、写真を保存する
（ポストフォーカス） 112
複数の写真を合成し、ピントが合う範囲を広げる
（フォーカススタッキング） 113
セルフタイマーを使って撮る 115
パノラマ写真を撮る 117

6. 被写体・目的に合わせて撮る

画像横縦比を切り換える 121
画像効果を変えて撮る(フィルター) 122
画像効果の種類 124
画像効果を加えない写真を同時に記録する
(フィルターなし同時記録) 128
設定を自動的に変えながら撮る(ブラケット撮影) 129
露出ブラケット 131
絞りブラケット 131
フォーカスブラケット 132
ホワイトバランスブラケット 132
一定の間隔で自動的に撮影する(インターバル撮影) 133
ストップモーション動画の作成(コマ撮りアニメ) 136

7. 手ブレ補正・ズーム・フラッシュ

手ブレを補正する 139
ズームを使って撮る 141
ズームの種類と用途 141
タッチ操作でズームを使う(タッチズーム) 145
フラッシュライト(付属)を使って撮る 146
フラッシュを取り付ける 146
フラッシュの機能を設定する 148
発光モードを切り換える 148
フラッシュモードを切り換える 149
後幕シンクロに設定する 150
フラッシュの発光量を調整する 151
露出補正時にフラッシュ発光量を連動させる 151

8. 動画を撮影する

動画を撮る 152
解像度とフレームレートを設定する 154
動画撮影時のピントの合わせ方(AF連続動作) 155
動画撮影中に写真を撮影する 156
音声の入力レベルを表示する/設定する 157

9. 画像の再生・編集

写真を見る..... 158
動画を見る..... 159
動画から写真を作成する..... 160
再生方法を切り換える..... 161
再生画面を拡大する(再生ズーム)..... 161
複数の画像を一覧表示する(マルチ再生)..... 162
画像を撮影日ごとに表示する(カレンダー再生)..... 162
グループ画像を見る..... 163
画像を消去する..... 165

10. メニュー機能を使う

メニュー一覧..... 166
スナップショットモードメニュー..... 166
撮影メニュー..... 166
動画メニュー..... 179
カスタムメニュー..... 180
セットアップメニュー..... 195
マイメニュー..... 204
再生メニュー..... 205

11. Wi-Fi/Bluetooth 機能を使う

Wi-Fi®/Bluetooth® 機能でできること..... 222
Wi-Fi/Bluetooth 機能について..... 223
スマートフォンと接続する..... 225
スマートフォン / タブレットアプリ「Leica FOTOS」を
インストールする..... 225
Bluetooth low energy 対応のスマートフォンと接続する..... 226
Bluetooth low energy に対応していないスマートフォンと接続する..... 228
Wi-Fi 接続方法を変える..... 231
Wi-Fi 接続を終了する..... 232
スマートフォンとつないで使う..... 233
スマートフォンでカメラの電源を操作する..... 233
スマートフォンで撮影する(リモート撮影)..... 234
Bluetooth 接続だけで、
スマートフォンからシャッターボタンを操作する..... 236
カメラの画像を再生 / 保存する、SNSへ送信する..... 238
撮影した画像をスマートフォンに自動転送する..... 239
撮影する画像にスマートフォンの位置情報を記録する..... 241
カメラの時刻をスマートフォンに合わせる..... 242
画像を送る..... 243

Wi-Fi 接続について 247
無線アクセスポイントを使って接続する([ネットワーク経由]) 248
カメラと機器を直接接続する([直接接続]) 250
以前と同じ設定で素早く接続する
([履歴から接続する]/[お気に入りから接続する]) 251
Wi-Fi 設定メニュー 253

12. 他の機器との接続

4K 動画を他機器で見る / 残す 254
4K 動画を見る 254
4K 動画を残す 254
テレビで見る 255
HDTV リンク(HDMI)を使う 256
撮影した画像データをパソコンにコピーする 257
パソコンに画像を取り込む 258
写真や動画をレコーダーに残す 260
プリントする 261
写真に日付や文字を入れる 263

13. その他・Q&A

モニター/ファインダーの表示 264
メッセージ表示 270
Q&A　故障かな？と思ったら 272
使用上のお願い 281
ライカサービスアドレス 289

機能別目次

撮影

撮影

撮影モード P37
プレビュー P69
マクロ撮影 P86
ブラケット撮影 P129
インターバル撮影 P133
コマ撮りアニメ P136
サイレントモード P175
多重露出 P178

4K フォト

4Kフォト P100
ポストフォーカス撮影 P110

ピント(AF/MF)

オートフォーカス P72
オートフォーカスモード P75
AF エリアの位置移動 P81
マニュアルフォーカス P87
AF/AE ロック P89

ドライブ

ドライブモード P97
連写 P98
セルフタイマー P115
パノラマ P117

画質・色合い

ISO 感度 P92
ホワイトバランス P94
フィルター設定 P122
記録画素数 P167
クオリティ P168
フォトスタイル P169
色空間 P171
ハイライトシャドウ P172
iD レンジコントロール P173
超解像 P173
長秒ノイズ除去 P174
回折補正 P175
HDR P177

露出

タッチ AE P44
AF/AE ロック P89
露出補正 P90
露出ブラケット P131
測光モード P171

フラッシュ

フラッシュモード P149
後幕シンクロ P150
フラッシュ光量調整 P151

動画

動画

画質設定 P154
動画撮影中の写真撮影 P156

音声

録音レベル設定 P157
風音キャンセラー P179

画面設定

録音レベル表示 P157
モノクロライブビュー P187
センターマーカー表示 P189
ゼブラパターン表示 P190

セットアップ / カスタム

基本設定

フォーマット P28
時計設定 P31
視度調整 P34
クイックメニュー P47
電子音 P197
エコモード P198
リセット（初期化） P203

カスタマイズ

ファンクションボタン P49
カスタムセット P70
カスタムメニュー P180

再生

再生

写真の再生 P158
動画の再生 P159
再生ズーム P161
マルチ再生 P162
消去 P165
オートレビュー P186
スライドショー P206
画像回転 / 縦位置自動回転 ..... P219、220

編集

ポストフォーカス P112
フォーカススタッキング P113
タイトル入力 P209
RAW 現像 P210
4K フォト一括保存 P212
比較明合成 P213
軌跡合成 P214
クリアレタッチ P215
文字焼き込み P216
リサイズ P217
トリミング P218

画像設定

プロテクト P208
レーティング P208

Wi-Fi/Bluetooth

スマートフォン / タブレットアプリ “Leica FOTOS”

アプリ “Leica FOTOS” P225
リモート起動 P233
リモート撮影 P234
自動画像転送 P239

他機器接続

パソコン

撮影した画像データを
パソコンにコピーする P257

テレビ

テレビで見る P255
HDTV リンク P256

レコーダー

ダビング P260

プリンター

PictBridge（ピクトブリッジ）.....P261

1. はじめに

ご使用の前に

■ 本機の取り扱いについて

本機に、強い振動や衝撃、圧力をかけないでください。

下記のような状態で使用すると、レンズやモニター、ファインダー、外装ケースが破損するおそれがあります。
また、誤動作や、画像が記録できなくなることもあります。

- 本機を落とす、またはぶつける
- 本機をズボンのポケットに入れたまま座る、またはいっぱいになったかばんなどに無理に入れる
- レンズ部やモニターを強く押さえつける

本機は、防じん・防滴・防水仕様ではありません。
ほこり・水・砂などの多い場所でのご使用を避けてください。

- 下記のような場所で使用すると、レンズやボタンの隙間から液体や砂、異物などが入ります。
  故障などの原因になるだけでなく、修理できなくなることがありますので、特にお気をつけください。
  - 砂やほこりの多いところ
  - 雨の日や浜辺など水がかかるところ

■ 露付きについて（レンズやファインダー、モニターが曇るとき）

- 露付きは、温度差や湿度差があると起こります。レンズやファインダー、モニターの汚れ、かび、故障の発生原因になりますのでお気をつけください。
- 露付きが起こった場合、電源スイッチを[OFF]にし、2時間ほどそのままにしてください。周囲の温度になじむと、曇りが自然に取れます。

■ 事前に必ず試し撮りをしてください

大切な撮影(結婚式など)は、必ず事前に試し撮りをし、正常に撮影、録音されていることを確かめてください。

■ 撮影内容の補償はできません

本機およびカードの不具合で撮影、録音されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

■ 著作権にお気をつけください

あなたが撮影、録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断では使用できません。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気をつけください。

■ 「使用上のお願い」も、併せてお読みください(P281)

付属品

	オーダー番号
バッテリーパック BP-DC15-E BP-DC15-U BP-DC15-TK	 423-109.001-008 423-109.002-008 423-109.003-008
バッテリーチャージャー/AC アダプター ACA-DC16-E ACA-DC16-C ACA-DC16-K ACA-DC16-B ACA-DC16-N ACA-DC16-A ACA-DC16-U	 423-118.001-005 423-118.001-006 423-118.001-007 423-118.001-008 423-118.001-009 423-118.001-010 423-106.001-012
USB ケーブル Micro-B	423-118.001-014
ショルダーストラップ	423-109.001-020
レンズキャップ※	423-109.001-018
レンズキャップひも	423-109.001-019
ホットシューカバー※	423-110.001-015
フラッシュ CF D	423-109.001-030
ボタン表示シール	19542
取扱説明書	（仕向け地により異なります）
保証書	439-399.100-026

※ お買い上げ時はカメラ本体に装着されています。

別売品のご紹介

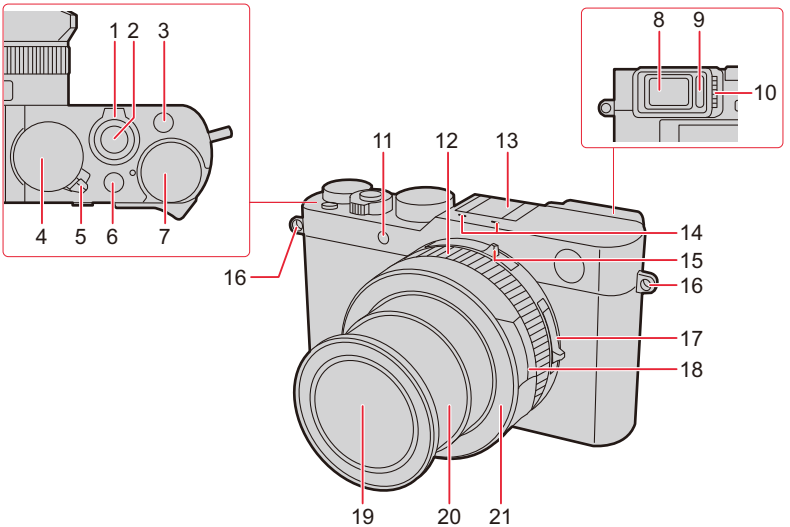
Leica D-Lux 7 の別売品について詳しくは、「Leica Camera AG」のサイトをご覧ください。

www.leica-camera.com

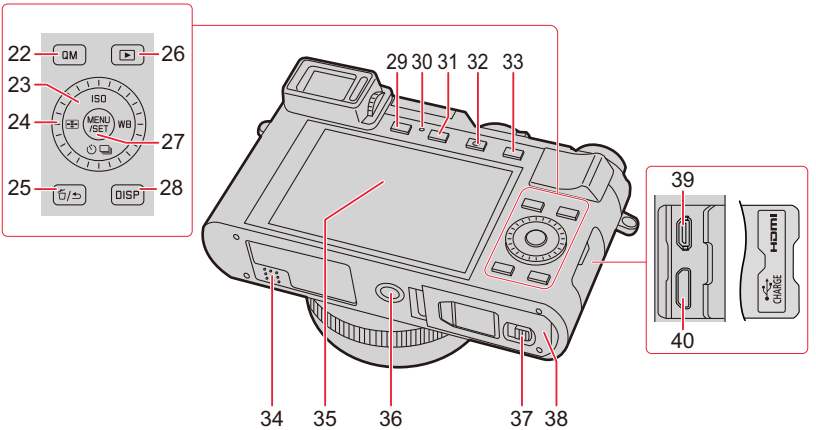
おしらせ

- メモリーカードは別売です。
- 本書では、バッテリーパックを「バッテリー」と表記します。
- 本書では SD/SDHC/SDXC メモリーカードを「メモリーカード」あるいは「カード」と表記します。
- お使いの前に、付属品をご確認ください。
- 付属品の種類や形状は、購入された国や地域によって異なる場合があります。
- レンズキャップひも、ホットシューカバーは、誤って飲み込むのを防ぐため、乳幼児の手の届くところに置かないでください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。
- 包装材料などは、商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。

各部の名前と働き



1	ズームレバー(P35)
2	シャッターボタン(P36)
3	[4K] ボタン(P100)/ [Fn1] ボタン(P49)
4	シャッタースピードダイヤル(P37、63)
5	電源スイッチ(P31)
6	[A] ボタン(P38、56)
7	露出補正ダイヤル(P90)
8	ファインダー(P34)
9	アイセンサー(P34)
10	視度調整ダイヤル(P34)
11	セルフタイマーランプ(P115)/ AF補助光ランプ(P33、182)
12	コントロールリング(P53)
13	ホットシュー(ホットシューカバーはお買い上げ時、カメラ本体に装着されています)(P146)
14	ステレオマイク(P33、157) ● マイクを指で塞がないようお気をつけください。音が記録されにくくなります。
15	アスペクト切換スイッチ(P121)
16	ショルダーストラップ取り付け部(P18)
17	フォーカス切換スイッチ(P72、86、87)
18	絞りリング(P37、63)
19	レンズ部 (フィルター径　Φ43mm)
20	レンズ鏡筒
21	レンズフロントリング ● 自動開閉レンズキャップ(別売)を装着するときに取り外します。



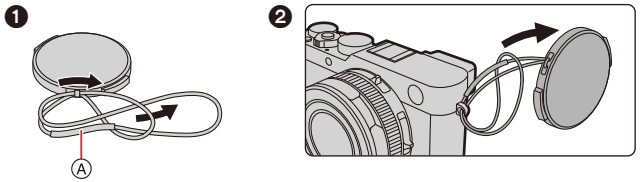
22	[QM]ボタン(P47)/[Fn2]ボタン(P49)
23	カーソルボタン(P39) ▲:[ISO](ISO感度)(P92) ▶:[WB](ホワイトバランス)(P94) ▼:[ ](ドライブモード)(P97) ◀:[ ](オートフォーカスモード)(P72)
24	コントロールダイヤル(P39)
25	[/](消去/戻る)ボタン(P46、165)/[Fn3]ボタン(P49、69)
26	[▶](再生)ボタン(P158)
27	[MENU/SET]ボタン(P39、45)
28	[DISP]ボタン(P39)
29	[EVF]ボタン(P34)/[Fn5]ボタン(P49)
30	充電ランプ(P22)/ WIRELESS接続ランプ(P223)
31	[PF]ボタン(P110)/ [Fn4]ボタン(P49)
32	[●](動画)ボタン(P152)
33	[AE/AF]ボタン(P89)
34	スピーカー(P33、197)
35	タッチパネル(P42)/モニター(P264)
36	三脚取り付け部(P284) ● ねじの長さが5.5mm以上の三脚を取り付けると、しっかり固定できなかったり、本機を傷つけたりする場合があります。
37	開閉レバー(P21、26)
38	カード/バッテリー扉(P21、26)
39	[HDMI]端子(P255)
40	[USB/CHARGE]端子(P258、261)

● **ファンクションボタン[Fn6]～[Fn10]は、タッチアイコンです。**
撮影画面の[Fn]タブをタッチすると表示されます。

レンズキャップ/ショルダーストラップを付ける

本機を使用しない場合は、レンズ保護のためレンズキャップを取り付けてください。
- レンズキャップの紛失防止のため、レンズキャップひもの取り付けをお勧めします。
- 落下防止のため、ショルダーストラップを取り付けてご使用ください。

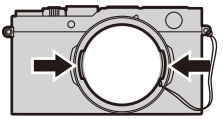
1 レンズキャップと本機をレンズキャップひもでつなぐ



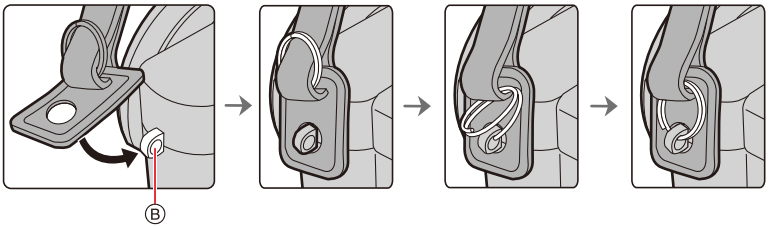
Ⓐ: ひもの太い部分がレンズキャップやショルダーストラップ取り付け部にかからないようにしてください。

2 レンズキャップを付ける

- レンズキャップを付け外しするときは、図の矢印部分をつまんでください。



3 ショルダーストラップを取り付ける



Ⓑ: ショルダーストラップ取り付け部

- 同様に、もう片方のショルダーストラップも取り付けてください。
- ショルダーストラップが抜けないことを確認してください。

- ショルダーストラップは肩に掛けてお使いください。
  - 首に掛けての使用はしないでください。
    けがや事故の原因になります。
- ショルダーストラップを乳幼児の手の届くところに置かないでください。
  - 誤ってショルダーストラップを首に巻きつけ、事故につながるおそれがあります。
  - レンズキャップひもは、誤って飲み込むのを防ぐため、乳幼児の手の届くところに置かないでください。

バッテリーを充電する

- 本機専用の AC アダプター、USB 接続ケーブル、バッテリーを使ってください。
- お買い上げ時、バッテリーは充電されていませんので、充電してからお使いください。
- 本機にバッテリーを入れた状態で充電してください。

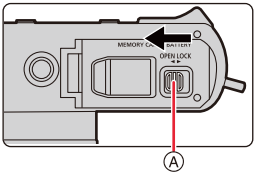
本機の状態	充電
電源オフ	できます
電源オン	できません

■ 本機で使えるバッテリー

ライカカメラ AG 純正品に非常によく似た外観をした模造品のバッテリーが一部国内外で流通していることが判明しております。このようなバッテリーの模造品の中には、一定の品質基準を満たした保護装置を備えていないものも存在しており、そのようなバッテリーを使用した場合には、発火・破裂等を伴う事故や故障につながる可能性があります。安全に商品をご使用いただくために、バッテリーを使用するライカカメラ AG 製の機器には、弊社が品質管理を実施して発売しておりますライカ純正バッテリーBP-DC15 (P14) のご使用をお勧めいたします。
なお、弊社では模造品のバッテリーが原因で発生した事故・故障につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

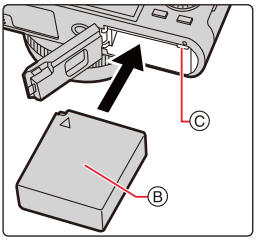
バッテリーを入れる

1 開閉レバー(Ⓐ) を [OPEN] 側にスライドし、
カード / バッテリー扉を開ける



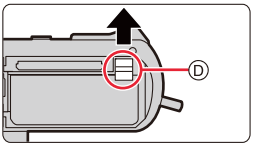
2 バッテリー(Ⓑ) をロック音がするまで確実に奥まで挿入し、
バッテリーにレバー(Ⓒ) がかかっていることを確認する
- バッテリーの向きを確認してください。

3 カード / バッテリー扉を閉め、開閉レバーを
[LOCK] 側にスライドする



■ 取り出す

レバー(Ⓓ) を矢印の方向に引いて取り出す

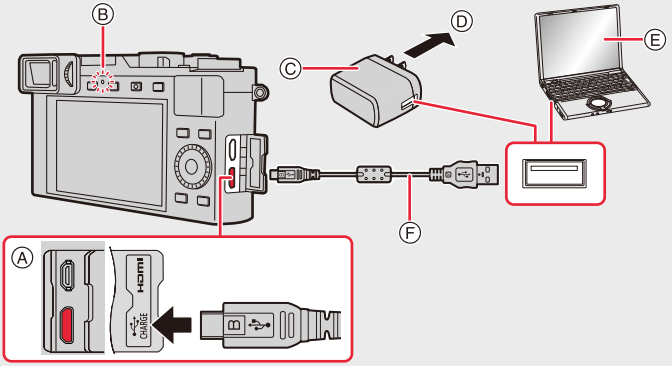


- ライカ純正バッテリーBP-DC15 をご使用ください。(P14)
- ライカカメラ AG では、他社製バッテリーの品質については一切保証できません。
- バッテリーの取り出しは、電源を切り、画面の Leica 表示が消えてから行ってください。
（本機が正常に動作しなくなったり、カードや撮影内容が壊れる場合があります）
- 使用後は、バッテリーを取り出してください。

充電する

周囲の温度が10 ℃～30 ℃(バッテリーの温度も同様)のところで充電することをお勧めします。

本機にバッテリーを入れてください。(P21)
電源スイッチが[OFF]になっていることを確認してください。



Ⓐ [USB/CHARGE] 端子に接続する
- カメラを立てたときに下側にある端子です。

Ⓑ 充電ランプ
Ⓒ チャージャー/AC アダプター
Ⓓ 電源コンセントへ
Ⓔ パソコン(電源を入れる)
Ⓕ USB 接続ケーブル

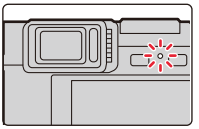
- 端子の向きを確認して、プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。(斜めに差したり、向きを逆にしたりすると、端子が変形して故障の原因になります)
  また、誤った端子には接続しないでください。故障の原因になります。

(電源コンセントから充電する)
チャージャー/ACアダプターと本機をUSB接続ケーブル でつなぎ、チャージャー/ACアダプターを電源コンセントに差し込む

(パソコンから充電する)
パソコンと本機をUSB接続ケーブルでつなぐ

- 充電中にパソコンが休止状態になると、充電が中止される場合があります。
- 電源を接続していないノートパソコンと本機を接続した場合は、ノートパソコンの電池が消耗します。そのまま長時間放置しないでください。
- 必ずパソコンのUSB端子に接続してください。モニターやキーボード、プリンターのUSB端子およびUSBハブには接続しないでください。

■ 充電ランプの表示



赤色点灯：充電中
消灯：　充電完了（充電完了後は、電源コンセントまたはパソコンとの接続を解除してください）

- **点滅するときは**
  - 温度が極端に高い、または低いところで充電しているときの現象です。
    周囲の温度が10℃～30℃（バッテリーの温度も同様）のところでUSB接続ケーブル（付属）をつなぎ直し、再度充電をお試しください。
  - パソコンの給電能力が低い場合は、充電できません。

■ 充電時間

チャージャー/AC アダプター使用時

充電時間	約 190分

- **充電時間はバッテリーを使い切ってから充電した場合の時間です。バッテリーの使用状況によって充電時間は変わります。高温/低温時や長時間使用していないバッテリーは充電時間が長くなります。**
- パソコンからの充電時間は、パソコンの給電能力によって異なります。

■ バッテリー残量表示

	75% 以上
	74% ～ 50%
	49% ～ 25%
	24% 以下
赤色点滅	残量不足 ● バッテリーを充電、または満充電されたバッテリーと交換してください。

- 表示される残量は目安です。周囲の環境や使用条件によって異なります。

- **電源プラグの接点部周辺に金属類(クリップなど)を放置しないでください。ショートや発熱による火災や感電の原因になります。**
- 付属のUSB接続ケーブル以外は使用しないでください。故障の原因になります。
- 付属のACアダプター以外は使わないでください。故障の原因になります。
- USB延長ケーブルは使用しないでください。
- ACアダプターとUSB接続ケーブルは他の機器に使用しないでください。故障の原因になります。
- 使用後は、バッテリーを取り出してください。(長時間放置すると、バッテリーは消耗します)
- **使用後や充電中、充電直後などはバッテリーが温かくなっています。また、使用中は本機も温かくなりますが、異常ではありません。**
- バッテリー残量が残っていても、そのまま充電できますが、満充電時の頻繁な継ぎ足し充電はお勧めできません。(バッテリーが膨らむ特性があります)
- 停電時など電源コンセントに異常が発生した場合は、充電が正常に終了しないことがあります。USB接続ケーブルを抜き、接続し直してください。

使用時間と撮影枚数の目安

- 写真の記録可能枚数は、CIPA（カメラ映像機器工業会）規格による。
- SDHCメモリーカード使用、付属バッテリー使用。

■ 写真記録（モニター使用時）

付属のフラッシュライト	使用しない場合	使用する場合
記録可能枚数	約 340 枚	約 300 枚
撮影使用時間	約 170 分	約 150 分

■ 写真記録（ファインダー使用時）

（　）内は[EVF 表示速度]を[ECO30fps]に設定時の数値です。

付属のフラッシュライト	使用しない場合	使用する場合
記録可能枚数	約 270 枚（約 320 枚）	約 240 枚（約 280 枚）
撮影使用時間	約 135 分	約 120 分

■ 動画撮影（モニター使用時）

画質設定	FHD/28M/60p	4K/100M/30p
撮影可能時間	約 80 分	約 70 分
実撮影可能時間	約 40 分	約 35 分

- 実撮影可能時間とは、電源の[ON]/[OFF]切り換え、撮影の開始/終了などを繰り返したときに撮影できる時間です。

■ 再生（モニター使用時）

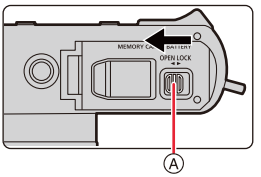
再生使用時間	約 240 分

- **使用時間と撮影枚数は、周囲の環境や使用条件によって変わります。**
  例えば以下の場合は、使用時間と撮影枚数が減少します。
  – スキー場などの低温下
  – フラッシュ発光やズーム操作などを繰り返したとき
- 充電直後でも、バッテリーの使用時間が大幅に短くなったら、バッテリーの寿命です。
  新しいものをお買い求めください。

カード(別売)を入れる / 取り出す

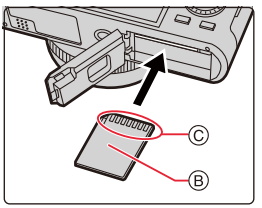
● 電源スイッチが[OFF]になっていることを確認してください。

1 開閉レバー(Ⓐ) を [OPEN] 側にスライドし、カード / バッテリー扉を開ける



2 カード (Ⓑ) を「カチッ」と音がするまで確実に奥まで入れる

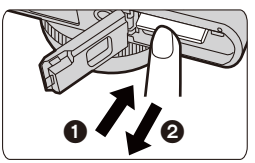
● カードの向きを確認してください。
● カードの端子部 (Ⓒ) には触れないでください。



3 カード / バッテリー扉を閉め、開閉レバーを [LOCK] 側にスライドする

■ 取り出す

「カチッ」と音がするまで押し、まっすぐ引き抜く



● カードは乳幼児が誤って飲み込まないよう手の届かないところに保管してください。
● カードの取り出しは、電源を切り、画面の Leica 表示が消えてから行ってください。
（本機が正常に動作しなくなったり、カードや撮影内容が壊れる場合があります）

カードについて

本機では、SD規格に準拠した以下のカードを使うことができます。(本書では、これらを**カード**と記載しています)

SDメモリーカード(512 MB～2 GB)	● 本機はUHS-I UHS Speed Class 3規格のSDHC/SDXC メモリーカードに対応しています。
SDHCメモリーカード(4 GB～32 GB)	
SDXCメモリーカード(48 GB～128 GB)	

■ 動画撮影時や 4K フォト撮影時のスピードクラスについて

以下の SD スピードクラスや UHS スピードクラスに対応したカードをお使いください。

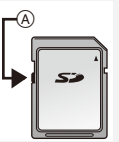
● SDスピードクラスやUHSスピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。カードのラベル面などでご確認ください。

[画質設定]	スピードクラス	表示の例
FHD/HD	Class 4 以上	CLASS 4　4
4K	UHS Speed Class 3	3
4K フォト / ポストフォーカス撮影時	UHS Speed Class 3	3

カードアクセス中は・・・
カードに画像を記録しているときは、アクセス表示が赤く表示されます。

- **アクセス中(画像の書き込みや読み出し、消去、フォーマット中など)は、以下の操作をしないでください。カードや撮影データが壊れることや、本機が正常に動作しなくなることがあります。**
  - 電源を切る
  - バッテリーやカード、AC アダプターを取り外す
  - 本機に振動、衝撃や静電気を与える
- **振動、衝撃や静電気により動作が停止した場合は、再度操作してください。**

- 書き込み禁止スイッチ Ⓐ を「LOCK」側にすると、データの書き込みや消去、フォーマット、撮影日時順の表示などができなくなる場合があります。
- カードに記録されたデータは、電磁波、静電気および本機やカードの故障などにより壊れたり消失したりすることがあります。大切なデータはパソコンなどに保存することをお勧めします。



カードをフォーマット(初期化)する

本機で撮影する前に、カードをフォーマットしてください。
フォーマットすると、カードに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことはできません。必要なデータはパソコンなどに保存してからフォーマットしてください。

MENU ボタン → [セットアップ] → [フォーマット]

- フォーマットするときは、十分に充電したバッテリーか、AC アダプターをお使いください。
- フォーマット中は、電源を切ったり、他の操作をしたりしないでください。
- 必ず本機でフォーマットしてください。パソコンやその他の機器でフォーマットした場合、もう一度本機でフォーマットしてください。

記録可能枚数・時間の目安

■ 記録可能枚数

● 画像横縦比 [4:3]、クオリティ [▪▪▪] の場合

記録画素数	カードの容量			
	16 GB	32 GB	64 GB	128 GB
L(17M)	1710	3430	6860	13580
EX M(8.5M)	3120	6260	12350	24460
EX S(4M)	5350	10730	20590	40760

● 画像横縦比 [4:3]、クオリティ [RAW▪▪▪] の場合

記録画素数	カードの容量			
	16 GB	32 GB	64 GB	128 GB
L(17M)	530	1070	2150	4270
EX M(8.5M)	620	1250	2500	4960
EX S(4M)	680	1360	2720	5400

■ 記録可能時間(動画撮影時)(h: 時間、m: 分、s: 秒)

● 記録可能時間は複数の動画を記録したときの合計時間です。

画質設定	カードの容量			
	16 GB	32 GB	64 GB	128 GB
4K/100M/30p 4K/100M/24p	20m00s	41m00s	1h25m	2h50m
FHD/28M/60p	1h10m	2h25m	5h00m	9h55m
FHD/20M/30p	1h35m	3h15m	6h40m	13h15m
HD/10M/30p	3h05m	6h20m	12h45m	25h20m

●動画の連続撮影時間

以下の連続撮影時間を経過すると、動画の記録を停止します。

画質設定	連続撮影時間	ファイル分割
4K/100M/30p	15 分	**SDHCメモリーカード使用時**： 4 GBを超える場合は、ファイルは分かれて保存・再生されます。※ **SDXCメモリーカード使用時**： ファイルが分割保存されることはありません。
4K/100M/24p		
FHD/28M/60p	29 分	4 GBを超える場合は、ファイルは分かれて保存・再生されます。※
FHD/20M/30p		
HD/10M/30p		

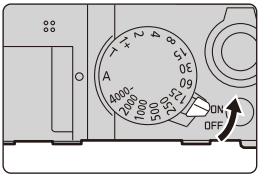
※ 撮影は中断することなく続けることができます。

- 撮影条件、カードの種類により記録可能枚数・時間は変動します。
- **画面には、連続して記録できる時間が表示されます。**
- 記録可能枚数の残り枚数が10000枚以上の場合、撮影画面では[9999＋]と表示されます。

時計を設定する

● お買い上げ時は、時計は設定されていません。

1 電源スイッチを[ON]にする



2 メッセージが表示されているときに[MENU/SET]ボタンを押す

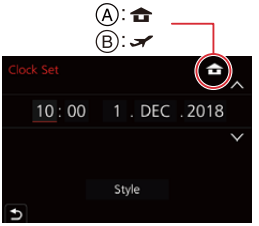
3 ▲/▼ で表示言語を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

● [時計を設定してください]と表示されます。

4 [MENU/SET]ボタンを押す

5 ◀/▶ボタンで合わせたい項目(年・月・日・時・分)を選び、▲/▼ボタンで設定する

Ⓐ: ホームの時間
Ⓑ: 旅行先の時間



表示順・時刻表示形式を設定する場合

● [表示形式]を選び、[MENU/SET]ボタンを押すと、表示順・時刻表示形式の設定画面が表示されます。

6 [MENU/SET]ボタンを押して決定する

7 [時計を設定しました]と表示されたら、[MENU/SET]ボタンを押す

8 [ホームエリアを設定してください]と表示されたら、[MENU/SET]ボタンを押す

9 ◀/▶ ボタンでお住まいの地域を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

■ 時計を合わせ直す

MENU ボタン→ [セットアップ]→ [時計設定]

- 31 ページの手順**5**と同じ画面が表示されます。

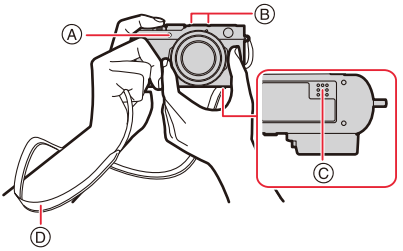
- **バッテリーなしでも約3か月間、時計用内蔵電池を使って時計の設定を記憶できます。(内蔵電池を充電するには、満充電されたバッテリーを本機に約24時間入れたままにしてください)**
- 正しい日付をプリントするには、撮影前に時計を設定してください。

基本の操作

本機の構え方について

両手で本機を軽く持ち、脇を締め、肩幅くらいに足を開いて構える

- **落下防止のため、ショルダーストラップ(Ⓓ)の使用をお勧めします。**
- **フラッシュ撮影時(P146)のフラッシュ発光部、AF補助光ランプ (Ⓐ)、マイク (Ⓑ) および スピーカー(Ⓒ) を指などで塞がないでください。**
- シャッターボタンを押す瞬間に、カメラが動かないように気をつけてください。
- 足場が安定しているか確認し、周囲の人や物などにぶつからないよう気をつけて撮影してください。



■ 構えた向きを検出する(縦位置検出機能)

本機を縦に構えて撮影したとき、構えた向きを検出します。
再生時に自動で縦向きに表示できます。([縦位置自動回転]を[ON]に設定した場合)

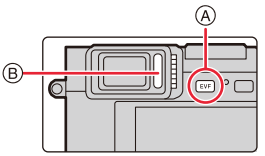
- 本機を縦に構えた状態で、本機を大きく上や下に向けて撮影すると、縦位置検出機能が正しく働かない場合があります。
- 動画、4K連写ファイルおよびポストフォーカス撮影した画像は、縦向きに表示できません。

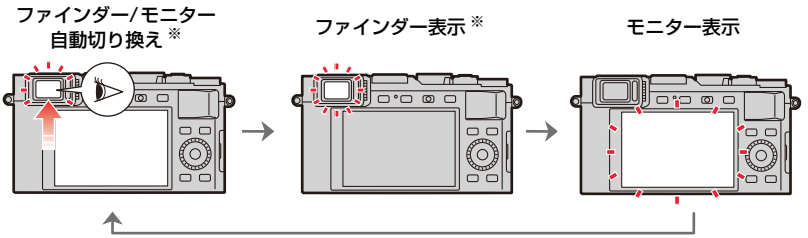
ファインダー撮影について

モニターとファインダーの切り換え

[EVF] ボタンを押す

Ⓐ [EVF] ボタン
Ⓑ アイセンサー





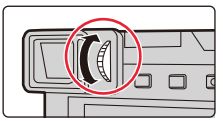
※ カスタムメニュー(フォーカス/レリーズ)の[アイセンサーAF]を[ON]に設定しているときは、アイセンサーが働くとカメラが自動的にピントを合わせます。[アイセンサーAF]でピントが合っても電子音は鳴りません。

■ ファインダー/モニター自動切り換え

ファインダーに目や物を近づけると、アイセンサーにより自動的にファインダー表示に切り換わります。

視度調整

ファインダー内に表示される文字がはっきり見えるように、
視度調整ダイヤルを回してください。

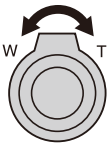
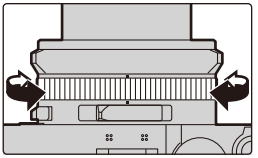


- **ファインダー使用時は、[EVF表示速度] を [ECO30fps] に設定すると、バッテリーの消耗を抑えるため使用時間が長くなります。**
- 眼鏡の形状やカメラの構え方、接眼部付近への強い光により、アイセンサーが正しく働かない場合があります。
- 動画再生中およびスライドショー中は、ファインダー/ モニター自動切り換えが働きません。

ズーム操作

ズームレバーまたはコントロールリングを操作して、写す範囲を調整できます。

- タッチパネルを操作して、ズームを使うこともできます。(P145)
- ズームの種類と用途について詳しくは、141 ページをお読みください。

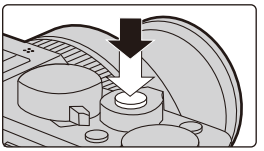
ズームレバー	コントロールリング
ズームレバーを回す  ● 本書ではズームレバーの操作を次のように説明しています。 **ズームレバーを回す:**	**コントロールリングを回す** ※  ※ コントロールリングに割り当てる設定を[ズーム]にすると、ズーム操作ができます。(P54)
T 側: 望遠、大きく撮る **W 側:** 広角、広く撮る	**時計回りに回す:** 望遠、大きく撮る **反時計回りに回す:** 広角、広く撮る

- ズーム中、レンズ鏡筒には触れないでください。
- ピントは、ズームしたあとに合わせてください。
- ズームレバーまたはコントロールリングを操作すると、多少音がしたり振動したりしますが、故障ではありません。

写真の撮影

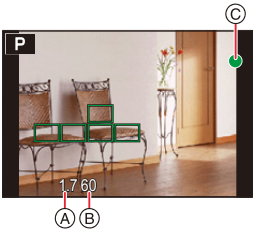
シャッターボタンは 2段式になっています。

1 シャッターボタンを半押し(軽く押す)してピントを合わせる

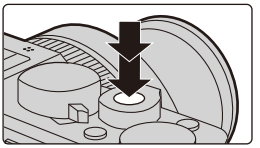


Ⓐ 絞り値
Ⓑ シャッタースピード
Ⓒ フォーカス表示

- 絞り値とシャッタースピードが表示されます。
  (適正露出でないときは、赤くなり点滅します)
- ピントが合うとフォーカス表示が点灯します。
  (ピントが合わないときは点滅します)



2 シャッターボタンを全押し(さらに押し込む)して撮影する



- **[フォーカス/レリーズ優先]を[フォーカス]に設定した場合は、ピントが合うまで撮影できません。**
- **[モニター表示速度]と[EVF表示速度]のどちらか(または両方)を[ECO30fps]に設定した場合は、デジタルズームが使用できません。**
- メニュー操作中や画像の再生中に、シャッターボタンを半押しすると、すぐに撮影できる状態になります。

■ ピントの合う範囲

ズーム操作時に撮影可能範囲(ピントの合う範囲)が表示されます。
撮影可能範囲はズーム位置によって段階的に変化する場合があります。
Ⓓ 撮影可能範囲表示

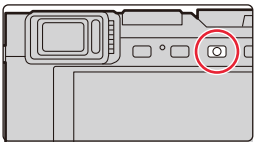
- シャッターボタン半押し時に、ピントが合っていない場合は、撮影可能範囲表示が赤く表示されます。

動画の撮影

1 動画ボタンを押して撮影を開始する

- すぐに動画ボタンを離してください。

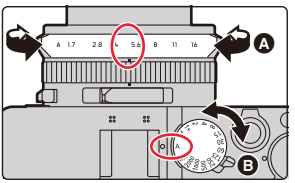
2 もう一度動画ボタンを押して撮影を終了する



撮影モードを選ぶ

絞りリング(Ⓐ)およびシャッタースピードダイヤル(Ⓑ)を回す

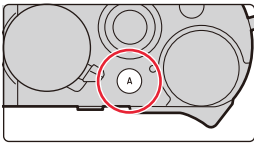
- 「カチッ」と音がする位置に確実に合わせてください。
- 絞りリングとシャッタースピードダイヤルの組み合わせにより、撮影モードが変わります。



撮影モード	絞りリング	シャッタースピードダイヤル
P プログラムAEモード	[A](AUTO)	[A](AUTO)
A 絞り優先AEモード	お好みの設定値	
S シャッター優先AEモード	[A](AUTO)	お好みの設定値
M マニュアル露出モード	お好みの設定値	

スナップショットモードに切り換えるには

[A] ボタンを押す



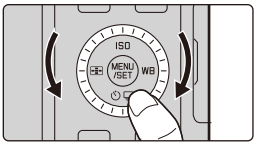
- スナップショットモードになり、撮影モードアイコンが[A+]または[A]に変わります。
- もう一度[A]ボタンを押すと、絞りリングとシャッタースピードダイヤルで設定できる撮影モードに切り換わります。

A	スナップショットモード(P56)	被写体や撮影状況に合わせてカメラが最適な設定にします。カメラにおまかせで気軽に撮りたいときにお勧めです。
A+	スナップショットプラスモード(P57)	

P	プログラムAEモード(P61)	被写体の明るさに応じて、シャッタースピードと絞り値をカメラが自動的に設定します。
A	絞り優先AEモード(P64)	絞り値を設定すると、被写体の明るさに応じたシャッタースピードをカメラが自動的に設定します。
S	シャッター優先AEモード(P65)	シャッタースピードを設定すると、被写体の明るさに応じた絞り値をカメラが自動的に設定します。
M	マニュアル露出モード(P66)	絞り値とシャッタースピードを手動で設定して、露出を決定します。

コントロールダイヤル

回す：項目の選択や、数値の設定などをします。

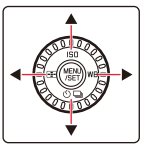


- 本書ではコントロールダイヤルを回す操作を次のように説明しています。

カーソルボタン / [MENU/SET] ボタン

カーソルボタンを押す：項目の選択や、数値の設定などをします。

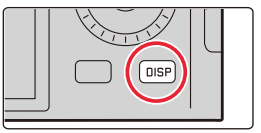
- 本書ではカーソルボタンの上下左右を ▲/▼/◀/▶ で説明しています。



[MENU/SET] ボタンを押す： 設定内容の決定などをします。

[DISP] ボタン

[DISP] ボタンを押す



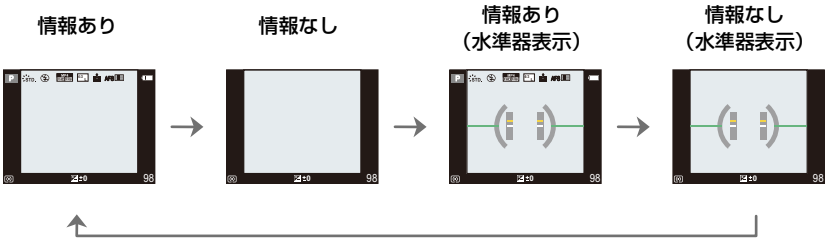
撮影時

ファインダー/ モニターの表示方法を切り換えることができます。

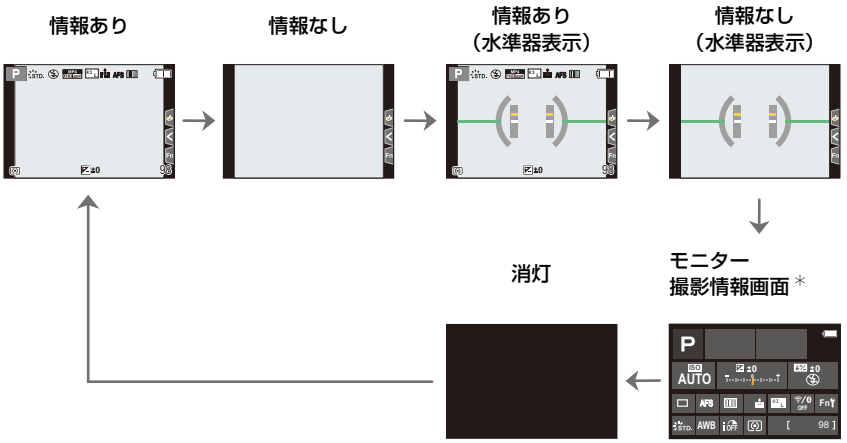
MENU ボタン→ [カスタム]→ [モニター/ 表示]→[EVF/ モニター表示設定]→[EVF 表示設定]、[モニター表示設定]

[ ](ファインダースタイル)	適度な視野で像を表示し、画角全体を見渡せます。
[ ](モニタースタイル)	画面いっぱいに像を表示し、画面の細部まで確認できます。

● [ ] ファインダースタイル(ファインダー表示の場合)



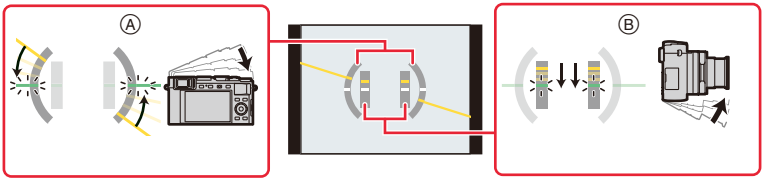
● [ ] モニタースタイル(モニター表示の場合)



※ カスタムメニュー(モニター/表示)の[モニター撮影情報画面]を[ON]にした場合に表示されます。各項目をタッチすると、設定を直接変更できます。

■ 水準器表示について

水準器を表示すると、カメラの傾きを補正したい場合などに便利です。



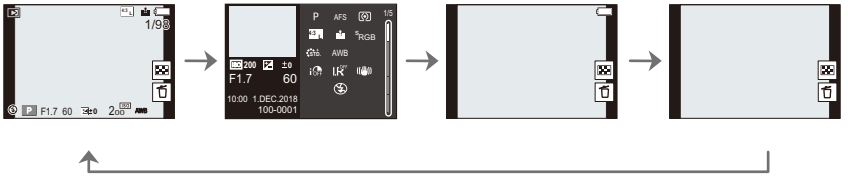
Ⓐ **水平方向：** 左に傾いているのを補正する場合
Ⓑ **上下方向：** 下に傾いているのを補正する場合

- カメラの傾きがほぼない状態では、水準器が緑色に変わります。

- 傾きが補正された状態でも、± 1° 程度の誤差が生じることがあります。
- 本機を大きく上や下に向けて撮影すると、水準器が正しく働かない場合があります。

再生時

情報あり → **詳細情報表示** ※1 → **情報なし（ハイライト表示）** ※2 → **情報なし**



※1 ▲/▼ボタンを押すと、次の表示内容に切り換わります。
-詳細情報表示
-ヒストグラム表示
-フォトスタイル、ハイライトシャドウ表示
-ホワイトバランス表示
-レンズ情報表示

※2 カスタムメニュー（モニター / 表示）の[ハイライト表示]を[ON]に設定した場合に表示されます。

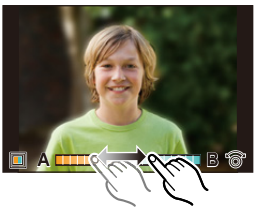
タッチパネル(タッチ操作)

■ タッチする

タッチパネルに触れて離す操作です。

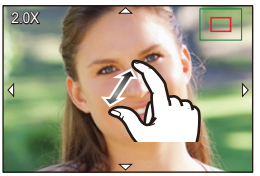
■ ドラッグする

タッチパネルに触れたまま動かす操作です。



■ ピンチする(広げる・縮める)

タッチパネル上で2本の指を広げる(ピンチアウト)と拡大し、縮める(ピンチイン)と縮小します。



- タッチパネルは、清潔で乾燥している指でタッチしてください。
- 市販のモニター保護シートを使う場合は、その注意書きに従ってください。
  (モニター保護シートの種類によっては、視認性や操作性を損なう場合があります)

こんなときは使えません

- 以下の場合、タッチパネルが正常に動作しないことがあります。
  - 手袋を着用している
  - タッチパネルがぬれている

タッチ機能を使って撮る

タッチ AF/ タッチシャッター

使えるモード：[A] [A+] [P] [A] [S] [M]

1 [ ] をタッチする

2 アイコンをタッチする

- タッチするごとにアイコンが切り換わります。

[AF]（タッチ AF）	タッチした位置にピントを合わせます。※
[ ]（タッチシャッター）	タッチした位置にピントを合わせて撮影します。※
[×]（OFF）	タッチ AF、タッチシャッターは働きません。

※ カスタムメニュー（操作）で[タッチ設定]の[タッチAF]を[AF+AE]に設定した場合は、タッチした位置にピントと明るさを合わせます。（P85）

3 （OFF以外に設定した場合）
被写体をタッチする

- [AF] 設定時に AF エリアの位置や大きさを変更する操作については、81 ページをお読みください。

- タッチシャッターに失敗した場合、AFエリアが赤く点灯したあとに消えます。

タッチ AE

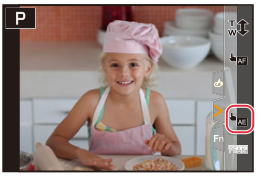
使えるモード： P A S M

タッチした位置に、簡単に明るさを合わせることができます。人物の顔が暗く写るときに、顔に合わせて画面を明るくすることなどができます。

1 [ ] をタッチする

2 [AE] をタッチする

- 明るさを合わせる位置の設定画面が表示されます。
- [測光モード] がタッチ AE 専用の [AE] に切り換わります。



3 明るさを合わせたい被写体をタッチする

- 明るさを合わせる位置を中央に戻すには、[リセット] をタッチしてください。

4 [決定] をタッチする

■ タッチ AE 機能を解除するには

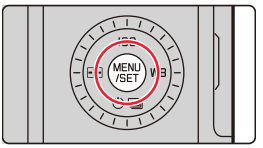
[OFF AE] をタッチする

こんなときは使えません

– デジタルズーム使用時
– カスタムメニュー（操作）の [タッチ設定] で、[タッチ AF] を [AF+AE] に設定したとき

メニューの設定方法

メニューは、ボタン操作またはタッチ操作で設定できます。



1 [MENU/SET] ボタンを押して
メニューを表示する

2 ◀ボタンを押す

3 ▲/▼ボタンで［ ］などのメニュー切り換えアイコンを選ぶ

A/A+ スナップショットモード(P59)	スナップショットモードで使える機能を設定します。
撮影(P166)	写真撮影時の設定ができます。
動画(P179)	動画撮影時の設定ができます。
カスタム(P180)	画面の表示方法やボタンの働きなど、本機の操作をお好みに応じて設定できます。
セットアップ(P195)	時計の設定や電子音の切り換えなど、使いやすさの設定ができます。 Wi-Fi、Bluetooth 機能に関する設定もできます。
マイメニュー(P204)	よく使うメニューを登録できます。
再生(P205)	画像の再生や編集の設定ができます。

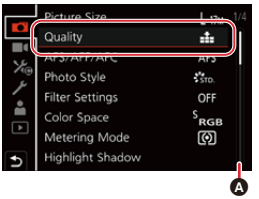
- 「セットアップメニュー」は、本機の時計や電源に関する大切な設定です。ご使用の前に、設定を確認してください。

4 [MENU/SET] ボタンを押す

タッチ操作

［ ］などのメニュー切り換えアイコンをタッチする

5 ▲/▼ボタンでメニュー項目を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

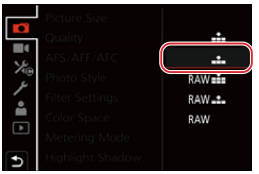


タッチ操作

メニュー項目をタッチする

- ページを切り換えるには、画面右のバー(Ⓐ)をタッチしてください。

6 ▲/▼ボタンで設定内容を選び、[MENU/SET]ボタンを押す



- メニュー項目によっては、設定が表示されなかったり、表示のしかたが異なったりする場合があります。

タッチ操作

設定内容をタッチして決定する

- コントロールダイヤルを回しても、メニュー切り換えアイコンやメニュー項目、設定内容を選択できます。

■ メニューを終了する

[⮌]ボタンを押す、またはシャッターボタンを半押しする

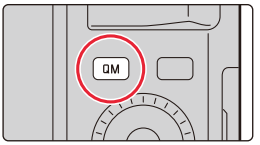
タッチ操作

[⮌]をタッチする

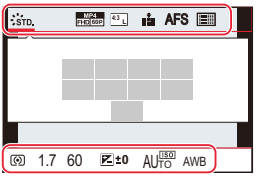
- メニューの説明を表示するには、[DISP] ボタンを押してください。
- 設定できないメニュー項目は、グレーで表示されます。
  一部の設定状況では、グレーの項目を選択しているときに[MENU/SET]ボタンを押すと、設定できない理由が表示されます。

クイックメニュー

1 [QM] ボタンを押して、クイックメニューを表示する

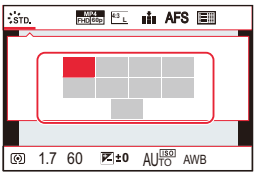


2 コントロールダイヤルを回して項目を選び、▼ボタンまたは ▲ ボタンを押す



3 コントロールダイヤルを回して設定内容を選ぶ

4 設定が終了したら、[QM] ボタンを押してクイックメニューを終了する



- ◀/▶ ボタンを押しても、項目や設定内容を選択できます。

- モードや表示画面によっては、設定の変更ができない場合があります。

モニター撮影情報画面（P40）の場合

❶ [QM] ボタンを押す
❷ コントロールダイヤルを回して項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
❸ コントロールダイヤルを回して設定内容を選ぶ
❹ [QM] ボタンを押して終了する

- ▲/▼/◀/▶ ボタンと [MENU/SET] ボタンでも設定できます。

クイックメニューをお好みの項目に変更する

- 最大 15 項目まで設定できます。

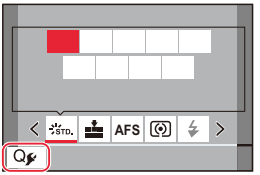
1 メニューを設定する

MENU ボタン → [カスタム] → [操作] → [Q.MENU] → [カスタム]

2 シャッターボタンを半押しし、メニューを終了する

3 [QM] ボタンを押して、クイックメニューを表示する

4 ▼ボタンで [Q] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

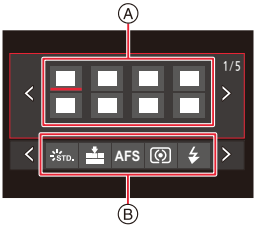


5 ▲/▼/◀/▶ ボタンで上段のメニュー項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 上段の設定済みの項目は、薄いグレーで表示されます。

6 ◀/▶ ボタンで下段の空き項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

Ⓐ 設定できる項目
Ⓑ 設定済みの項目



- 上段から下段へ項目をドラッグしても、同じ操作ができます。
- 下段に空き項目がない場合は、設定済みの項目を選ぶと入れ替えることができます。
- 以下の操作で設定を解除できます。
  ❶ ▼ ボタンを押して、下段に移動する
  ❷ ◀/▶ ボタンで解除する項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

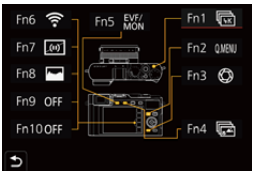
7 [↩] ボタンを押す

- 上記手順**4**の画面に戻ります。
  撮影画面にするには [MENU/SET] ボタンを押してください。

よく使う機能をボタンに割り当てる
（ファンクションボタン）

1 メニューを設定する

MENU ボタン→ [カスタム]→ [操作]→[Fnボタン設定]→
[撮影時設定] または [再生時設定]



2 ▲/▼ボタンで機能を割り当てたいファンクションボタンを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

3 ▲/▼ボタンで割り当てる機能を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- [撮影時設定] で割り当てができる機能については（P50）
- [再生時設定] で割り当てができる機能については（P52）
- ファンクションボタンの設定をお買い上げ時の状態に戻すには、[デフォルトに戻す] を選んでください。

■ モニター撮影情報画面からファンクションボタンを設定する

モニター撮影情報画面（P40）で [Fn] をタッチしても、手順**2**の画面を表示できます。

■ 素早く機能を割り当てる

ファンクションボタン（[Fn1]～[Fn5]）を長押し（2秒）すると、手順**3**の画面を表示できます。

- モードや表示している画面によっては、使用できない機能もあります。
- ファンクションボタンによっては、割り当てができない機能があります。

撮影時にファンクションボタンを使う

ファンクションボタンを押すと、割り当てた機能を使うことができます。

■ タッチ操作でファンクションボタンを使う

1 [Fn] をタッチする

2 [Fn6] ～ [Fn10] のいずれかをタッチする

■ [撮影時設定] で割り当てができる機能

– 4K フォトモード(P100) – ポストフォーカス(P110) – 露出補正(P90) – Wi-Fi(P223) – Q.MENU(P47) – 動画撮影(P152) – EVF/モニター切換(P34) – EVF/モニター表示スタイル(P40) – AF/AE LOCK(P89) – AF-ON(P89) – プレビュー(P69) – タッチ AE(P44) – 水準器表示(P41) – フォーカスエリア選択 – 操作ロック – フォトスタイル(P169) – フィルター効果(P122) – 記録画素数(P167)	– クオリティ(P168) – AFS/AFF/AFC(P74) – 測光モード(P171) – ブラケット(P129) – ハイライトシャドウ(P172) – iD レンジコントロール(P173) – 超解像(P173) – 下限シャッター速度(P174) – HDR(P177) – シャッター方式(P176) – フラッシュモード(P149) – フラッシュ光量調整(P151) – iA ズーム(P142) – デジタルズーム(P143) – 手ブレ補正(P139) – 動画画質設定(P154) – 動画撮影中の写真撮影(P156) – 録音レベル設定(P157)	– カスタムセット呼出(P70) – サイレントモード(P175) – ピーキング(P188) – ヒストグラム表示(P188) – ガイドライン表示(P189) – ゼブラパターン表示(P190) – モノクロライブビュー(P187) – 常時プレビュー(M モード)(P187) – ライブビューブースト(P187) – 記録枠表示(P191) – ズームレバー(P186) – ISO 感度(P92) – ホワイトバランス(P94) – AF モード /MF(P75) – ドライブモード(P97) – 撮影/再生切換 – デフォルトに戻す

● お買い上げ時のファンクションボタン設定

Fn1	4K フォトモード
Fn2	Q.MENU
Fn3	プレビュー
Fn4	ポストフォーカス
Fn5	EVF/ モニター切換

Fn6	Wi-Fi
Fn7	水準器表示
Fn8	ヒストグラム表示
Fn9	お買い上げ時は、機能が設定されていません。
Fn10	

- [動画撮影]設定時、動画ボタンと同様に動画記録の開始/停止を操作できます。
- [フォーカスエリア選択]設定時、AFエリアまたはMFアシストの位置設定画面を表示できます。
- [操作ロック]設定時、特定の操作を無効にします。無効にする操作は、カスタムメニュー(操作)の[操作ロック設定]で設定します。(P185)
- [撮影/再生切換]設定時、撮影状態と再生状態の切り換えができます。
- 画面にⒶのように表示された場合は、[Fnボタン設定]で割り当てた機能ではなく、表示された操作が実行されます。

再生時にファンクションボタンを使う

ファンクションボタンを押すと、割り当てた機能を使うことができます。
● 機能によっては、再生している画像に直接設定できます。

例)[レーティング★3]を[Fn2]に設定した場合

1 **◀/▶ ボタンで画像を選ぶ**

2 **[QM] / ([Fn2]) ボタンを押し、画像に[レーティング★3]を設定する**

■ [再生時設定]で割り当てができる機能

● [Fn1]、[Fn2]、[Fn4]、[Fn5] のボタンに以下の機能が割り当てられます。

- Wi-Fi(P223) - EVF/モニター切換(P34) - 撮影/再生切換 - 4K フォト再生 - 1枚消去(P165) - プロテクト(P208) - レーティング★1(P208) - レーティング★2(P208)	- レーティング★3(P208) - レーティング★4(P208) - レーティング★5(P208) - RAW 現像(P210) - 4K フォト一括保存(P212) - デフォルトに戻す

● お買い上げ時のファンクションボタン設定

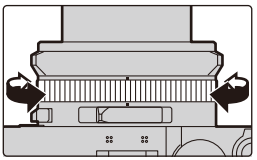
Fn1	Wi-Fi
Fn2	レーティング★3

Fn4	お買い上げ時は、機能が設定されていません。
Fn5	EVF/モニター切換

● [4K フォト再生]設定時、4K 連写ファイルから保存する写真の選択画面を表示します。

コントロールリングで設定を変更する

コントロールリングを回して設定を変更できます。



コントロールリングで設定できる機能は撮影モードによって異なります。
以下はお買い上げ時([標準])の設定です。

撮影モード	設定
スナップショットモード	ステップズーム(P144)
スナップショットプラスモード	
P プログラムAEモード	
A 絞り優先AEモード	
S シャッター優先AEモード	シャッタースピード調整※(P65、66)
M マニュアル露出モード	

※ シャッタースピードダイヤルに記載のないシャッタースピードに設定できます。(P67)

- パノラマ撮影時は、コントロールリングを回すと画像効果(フィルター)の選択を切り換えます。(P118)
- マニュアルフォーカス時、コントロールリングを回すとピントを調整します。(P87)
- コントロールリングは、お好みの設定に変更できます。(P54)

コントロールリングに割り当てる機能を変更する

1 メニューを設定する

MENU ボタン→ [カスタム]→ [操作]→[コントロールリング]

2 ▲/▼ ボタンで設定を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 以下の機能を割り当てることができます。

- 標準(P53) - ズーム(P35) - ステップズーム(P144) - 露出補正(P90) - ISO 感度(P92) - ホワイトバランス(P94) - オートフォーカスモード(P72) - ドライブモード(P97)	- フォトスタイル(P169) - フィルター効果(P122) - ハイライトシャドウ(P172) - iD レンジコントロール(P173) - 超解像(P173) - フラッシュモード(P149) - フラッシュ光量調整(P151)

- お買い上げ時の設定に戻すには、[標準]を選びます。
- コントロールリングを使わない場合は、[OFF](未設定)を選んでください。

- 割り当てた機能は、撮影モードに関係なく共通で設定されます。
- モードや表示している画面によっては、使用できない機能もあります。

文字を入力する

文字入力画面が表示されたら、以下のように操作してください。

1 ▲/▼/◀/▶ ボタンで文字を選び、[MENU/SET] ボタンを押して入力する

- 続けて同じ文字を入力するには、以下の操作でカーソルを移動してください。
  - コントロールダイヤルを右側に回す
  - ズームレバーを T 側に回す
- 以下の項目を選択したときの動作
  - [切換]: かな(ひらがな)、カナ(カタカナ)、A/a(アルファベット)、1(数字)、&(記号)に文字を切り換え ※1
  - [␣]: 空白を入力
  - [消去]: 文字を消去
  - [<]: 入力位置を左に移動 ※2
  - [>]: 入力位置を右に移動 ※2

  ※1 [DISP] ボタンでも文字を切り換えることができます。
  ※2 ズームレバーまたはコントロールダイヤルでも入力位置を移動できます。
- 入力できる文字数
  - かな/カナ:最大15文字([個人認証]の名前は最大6文字)
  - A/a/1/& ※3:最大30文字([個人認証]の名前は最大9文字)

  ※3 [\]、[「]、[」]、[・]、[ー] は最大15文字 ([個人認証]の名前設定時は最大6文字) です。

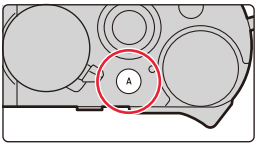
2 ▲/▼/◀/▶ ボタンで [決定] を選び、[MENU/SET] ボタンを押して入力を終了する

スナップショットモード

撮影モード： A A+

被写体や撮影状況に合わせてカメラが最適な設定にします。カメラにおまかせで気軽に撮りたいときにお勧めです。

1 [A] ボタンを押す



- スナップショットモードに切り換わります。
- もう一度押すと、絞りリングとシャッタースピードダイヤルによって設定されている撮影モードに切り換わります。
- お買い上げ時は、スナップショットプラスモードに設定されています。

2 被写体に向けてカメラを構える

- カメラが最適なシーンを判別すると、各シーンのアイコンが変わります。（自動シーン判別）

カメラが自動でシーンを判別します（自動シーン判別）（ 写真撮影時、 動画撮影時）

i 人物

i 風景

i マクロ

i 夜景&人物 ※1

i 夜景

i 手持ち夜景 ※2

i 料理

i 赤ちゃん ※3

i 夕焼け

i ローライト

A

※1　外部フラッシュ使用時に表示されます。
※2　[i手持ち夜景]を[ON]に設定した場合に表示されます。
※3　個人認証機能で登録した、3 歳未満の人物を認識したときに表示されます。

- どのシーンにも当てはまらない場合は[A]になり、標準的な設定にします。
- 4Kフォト撮影時またはポストフォーカス撮影時は、動画撮影時と同じシーン判別になります。

■ スナップショットモードとスナップショットプラスモードを切り換える

1　メニューを設定する

MENU ボタン → A A+ [スナップショットモード]→[スナップショットモード]

2　▲/▼ ボタンで[A+]または[A]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

撮影画面の撮影モードアイコンをタッチして、選択画面を表示することもできます。

スナップショットモードの設定に加えて、スナップショットプラスモードは、下記の設定を変更できます。

	スナップショットプラスモード	スナップショットモード
明るさ設定	○	×
色合い設定	○	×
ボケ味コントロール	○	×
設定できるメニュー	多い	少ない

■ オートフォーカス/顔・瞳認識/個人認証

オートフォーカスモードは自動で[ ]に設定されます。被写体をタッチすると追尾AF機能が働きます。

- [ ]ボタンを押し、シャッターボタンを半押ししても追尾 AF 機能が働きます。
- [個人認証]を[ON]に設定した場合、登録した顔に近い顔を認識すると、[ ]、[ ]、[ ]の右上に[R]が表示されます。

■ フラッシュ

フラッシュ撮影時は、被写体の種類や明るさに合わせて、カメラが自動で[ ]、[ ]、[ ]または[ ]に設定します。

- **外部フラッシュについて詳しくは、146ページをお読みください。**
- [ ]、[ ]のときは、デジタル赤目補正が働きます。
- [ ]、[ ]のときは、シャッタースピードが遅くなります。

■ 自動シーン判別について

- [ ]と判別された場合は、三脚などを使用してください。ブレの量が少ないとカメラが判断したとき、シャッタースピードは通常より遅くなります。撮影中はそのままカメラを動かさないようにお気をつけください。
- 撮影条件によっては、同じ被写体でも異なるシーンになることがあります。

逆光補正について

カメラが自動で画像を明るくすることで、逆光時に被写体が暗く写らないように補正します。
スナップショットプラスモードまたはスナップショットモード時は、逆光補正が自動で働きます。

スナップショットモードメニュー

手持ちで夜景を撮る(i手持ち夜景)

手持ち撮影で夜景を撮影中に[ ]と判別された場合、夜景を高速連写で撮影して1枚の写真に合成します。

MENU ボタン→ [スナップショットモード]→[i手持ち夜景]→[ON]/[OFF]

- 画角が僅かに狭くなります。
- シャッターボタンを押したあと、連写中は本機を動かさないでください。
- フラッシュは[ ](発光禁止)に固定されます。

階調豊かな写真に合成する(iHDR)

背景と被写体の明暗差が大きい場合などに、露出の異なる写真を複数枚撮影して1枚の階調豊かな写真に合成します。
[iHDR]は必要に応じて働きます。働くときは、画面に[HDR]が表示されます。

MENU ボタン→ [スナップショットモード]→[iHDR]→[ON]/[OFF]

- 画角が僅かに狭くなります。
- シャッターボタンを押したあと、連写中は本機を動かさないでください。
- 撮影後、連写した写真を合成するため、しばらくの間、次の撮影ができません。
- 動いている被写体を撮影すると、被写体の動きが残像のように不自然に写る場合があります。

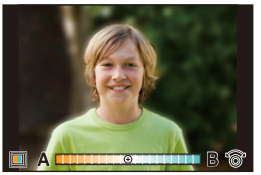
こんなときは使えません

- 動画撮影中の写真記録では、[i手持ち夜景]、[iHDR]が働きません。
- 以下の場合、[i手持ち夜景]、[iHDR]が使用できません。
  - 連写撮影時
  - 4Kフォト撮影時
  - ポストフォーカス撮影時
  - ブラケット撮影時
  - [クオリティ]を[RAW]、[RAW]、[RAW]に設定したとき
  - インターバル撮影時
  - コマ撮りアニメ撮影時([自動撮影]設定時)
- 以下の場合、[iHDR]が使用できません。
  - フラッシュ撮影時

色合い・ボケ具合・明るさを変えて撮る

撮影モード：

■ 色合いを設定する

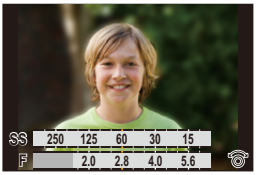


1 [WB] ボタン（▶）を押す

2 コントロールダイヤルを回して色合いを調整する

- 撮影画面に戻るには、[MENU/SET] ボタンを押してください。
- 設定した色合いを標準（中心点）に戻すには、電源スイッチを [OFF] にする、または他の撮影モードに変更してください。

■ 背景をぼかして撮る（ボケ味コントロール）



1 [🗑/↩] / ([Fn3]) ボタンを押して設定画面を表示する

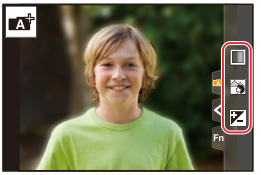
2 コントロールダイヤルを回してボケ具合を設定する

- 撮影画面に戻るには、[MENU/SET] ボタンを押してください。
- 設定を解除するには、[🗑/↩] / ([Fn3]) ボタンを押してください。
- オートフォーカスモードは [■] になります。AF エリアの位置を設定するには、画面をタッチしてください。（大きさは変更できません）

■ 明るさを設定する

- 露出補正ダイヤルを回して、明るさを設定できます。（P90）

タッチパネルで設定を変える



❶ [ ] をタッチする

❷ 設定する項目をタッチする

[ ]：色合い

[ ]：ボケ具合

[ ]：明るさ ※

※ ファンクションボタンに [露出補正] を設定した場合に表示されます。（P49）

❸ スライドバーをドラッグして設定する

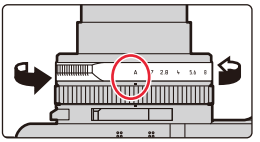
- 撮影画面に戻るには、[MENU/SET] ボタンを押してください。

プログラム AE モード

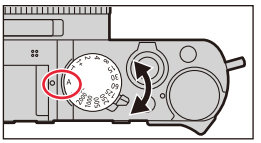
撮影モード： P

被写体の明るさに応じて、シャッタースピードと絞り値をカメラが自動的に設定します。撮影メニューで多彩な設定をすることで、自由度の高い撮影ができます。

1 絞りリングを [A]（AUTO）に設定する

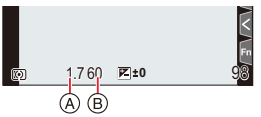


2 シャッタースピードダイヤルを [A]（AUTO）に設定する



- プログラムAEモードに設定され、撮影モードアイコンが [P] に変わります。

3 シャッターボタンを半押しして、画面に絞り値とシャッタースピードの数値を表示させる



Ⓐ絞り値
Ⓑ シャッタースピード

- 適正露出でない場合は、絞り値とシャッタースピードが赤色で表示され、点滅します。

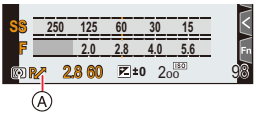
絞り値とシャッタースピードの組み合わせを変更する

■ プログラムシフトについて

プログラム AE モードで、同じ露出(明るさ)のままで絞り値とシャッタースピードの組み合わせを変更する機能を「プログラムシフト」といいます。
より背景をぼかしたい(絞り値を小さくする)、動きを表現したい(シャッタースピードを遅くする)などの設定が可能です。

1 数値が表示されている間(約10秒間)に、コントロールダイヤルを回してプログラムシフトする

Ⓐ プログラムシフト表示



- プログラムシフトを解除するには、以下の操作をしてください。
  - 電源スイッチを[OFF] にする
  - プログラムシフト表示が消えるまで、コントロールダイヤルを回す
- 露出を補正する場合は、露出補正ダイヤルで調整してください。(P90)

こんなときは使えません

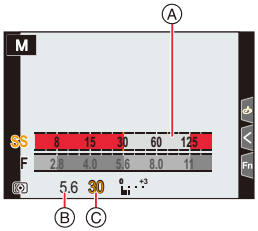
- 以下の場合、プログラムシフトできません。
  - フラッシュ撮影時
  - 4Kフォト撮影時
  - ポストフォーカス撮影時
  - ISO感度を[ISO]に設定したとき

絞り値/シャッタースピードを決めて撮る

撮影モード： A S M

絞りリングとシャッタースピードダイヤルの設定によって、露出を設定できます。

（例：マニュアル露出モード）



Ⓐ 露出メーター
Ⓑ 絞り値
Ⓒ シャッタースピード

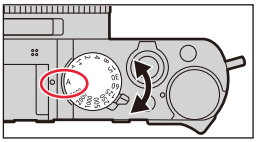
絞り値	**小さい** 背景をぼかしやすくなります。	**大きい** 背景までピントが合った状態にしやすくなります。
シャッタースピード	**遅い** 動きを表現しやすくなります。	**速い** 動きを止めやすくなります。

- 設定した絞り値とシャッタースピードの効果は、撮影画面に反映されません。撮影画面で確認するには、プレビューモードをお使いください。（P69）
- 画面の明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。再生画面で確認してください。
- 絞りリングまたはシャッタースピードダイヤルを回すと、露出メーターが表示されます。
  適正でない範囲が赤色で表示されます。
- シャッターボタンを半押しして、適正露出でないときは、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色になり点滅します。
- 動画撮影時は、設定したシャッタースピードより高速のシャッタースピードになる場合があります。

絞り優先AE モード

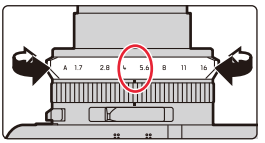
絞り値を設定すると、被写体の明るさに応じたシャッタースピードをカメラが自動的に設定します。

1 シャッタースピードダイヤルを [A]（AUTO）に設定する



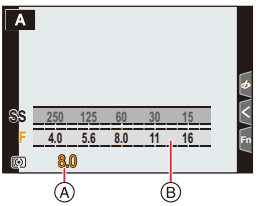
2 絞りリングを回して絞り値を選ぶ

- 絞り優先 AE モードに設定され、撮影モードアイコンが [A] に変わります。
- 露出を補正する場合は、露出補正ダイヤルで調整してください。（P90）



設定可能な絞り値 ※	設定されるシャッタースピード（秒）
F1.7 ～ F16	60 ～ 1/4000（メカシャッター使用時） 1 ～ 1/16000（電子シャッター使用時）

※ ズーム位置によっては選べない値があります。

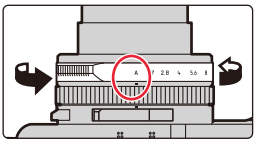


Ⓐ 絞り値
Ⓑ 露出メーター

シャッター優先AE モード

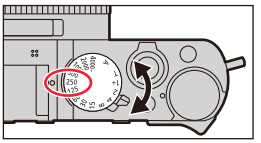
シャッタースピードを設定すると、被写体の明るさに応じた絞り値をカメラが自動的に設定します。

1 絞りリングを [A]（AUTO）に設定する

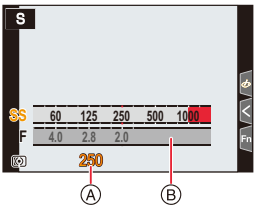


2 シャッタースピードダイヤルを回して、シャッタースピードを選ぶ

- シャッター優先 AE モードに設定され、撮影モードアイコンが [S] に変わります。
- 露出を補正する場合は、露出補正ダイヤルで調整してください。（P90）



設定可能なシャッタースピード	設定される絞り値
60 秒～ 1/4000 秒 （メカシャッター使用時） 1 秒～ 1/16000 秒 （電子シャッター使用時）	F1.7 ～F16

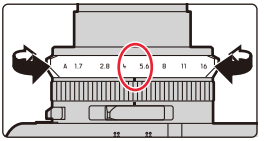


Ⓐ シャッタースピード
Ⓑ 露出メーター

マニュアル露出モード

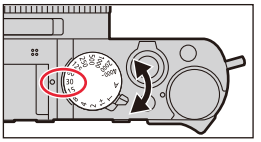
絞り値とシャッタースピードを手動で設定して、露出を決定します。

1　絞りリングを回して絞り値を選ぶ



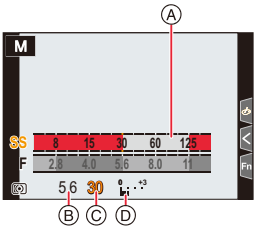
2　シャッタースピードダイヤルを回して、シャッタースピードを選ぶ

- マニュアル露出モードに設定され、撮影モードアイコンが [M] に変わります。



設定可能な絞り値 ※1	設定されるシャッタースピード(秒)※2
F1.7 ～ F16	T(タイム) 60 ～ 1/4000(メカシャッター使用時) 1 ～ 1/16000(電子シャッター使用時)

※1　ズーム位置によっては選べない値があります。
※2　絞り値によっては選べない値があります。



Ⓐ 露出メーター
Ⓑ 絞り値
Ⓒ シャッタースピード
Ⓓ マニュアル露出アシスト

シャッタースピードダイヤルに記載のないシャッタースピードに設定するには

次のシャッタースピードは、コントロールリングまたはコントロールダイヤルを回して設定してください。シャッタースピードは、画面で確認してください。
[シャッター方式]の設定によって、設定可能なシャッタースピードが変わります。
設定方法は 176 ページをお読みください。

1/4000秒より高速、または1秒より低速のシャッタースピード

❶ 撮影メニューの[シャッター方式]を設定する(P176)
❷ シャッタースピードダイヤルを [4000–] または [1+] に設定する
❸ コントロールリングまたはコントロールダイヤルを回してシャッタースピードを選ぶ

1/3 EVステップ刻みのシャッタースピード

● シャッタースピードダイヤルの設定値から ±2/3 ステップの範囲で設定できます。

例:シャッタースピードを 1/400 秒に設定する場合
❶ シャッタースピードダイヤルを回して[500]を選ぶ
❷ コントロールリングまたはコントロールダイヤルを回して[400]を選ぶ

シャッタースピードと絞り値にISO感度を合わせる

[ISO] 感度を[AUTO]に設定した場合、シャッタースピードと絞り値で適正露出になるように、ISO 感度をカメラが自動的に設定します。
撮影条件により、適正露出にならなかったり、ISO 感度が高くなったりする場合があります。

マニュアル露出アシストについて

±0	適正露出になります。
0 +3	シャッタースピードを速くするか、絞り値を大きくしてください。
-3 0	シャッタースピードを遅くするか、絞り値を小さくしてください。

● マニュアル露出アシストは目安です。撮影画像を再生画面で確認しながら撮影することをお勧めします。

■ T(タイム)について

シャッタースピードをT(タイム)に設定し、シャッターボタンを全押しすると、シャッターが開いた状態になります。(最大約 29 分間)
シャッターボタンをもう一度押すと、シャッターが閉じます。
花火や夜景撮影などで、長時間シャッターを開けたいときに使います。

- マニュアル露出モード時に使うことができます。

- タイム撮影時は、手ブレ防止のために三脚を使用し、スマートフォンとWi-Fi接続してリモート撮影することをお勧めします。Bluetooth接続時は、バルブ撮影もできます。(P234、236)
- タイム撮影をすると、ノイズが目立つことがあります。ノイズが気になるときは、撮影メニューの [長秒ノイズ除去]を[ON]にして撮影することをお勧めします。(P174)

こんなときは使えません

- フラッシュ撮影時([フラッシュシンクロ]を[後幕]に設定したとき)
- 4K フォト撮影時
- ポストフォーカス撮影時
- ブラケット撮影時
- [サイレントモード]を[ON]に設定したとき
- 電子シャッター使用時
- [HDR]を[ON]に設定したとき
- インターバル撮影時
- コマ撮りアニメ撮影時([自動撮影]設定時)

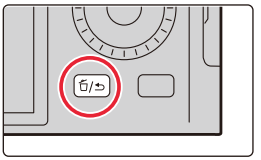
絞り効果 / シャッタースピード効果を確認する(プレビューモード)

使えるモード: P A S M

- **絞り効果の確認**:実際に撮影される絞り値までレンズの絞り羽根を物理的に絞り込むことにより、被写界深度(ピントの合っている範囲)を確認できます。
- **シャッタースピード効果の確認**:実際に撮影されるシャッタースピードで画面を表示し、動きを確認できます。

[🗑/↩] / [Fn3] ボタンを押して確認画面を切り換える

- お買い上げ時の設定では、[Fn3] ボタンに[プレビュー]が設定されています。(P49)



通常撮影画面

→

絞り効果確認画面
絞り効果:ON
シャッタースピード効果:OFF

→

シャッタースピード効果確認画面
絞り効果:ON
シャッタースピード効果:ON

被写界深度の性質

撮影条件	絞り値	小さい	大きい
	焦点距離	望遠	広角
	被写体までの距離	近い	遠い
被写界深度 (ピントの合っている範囲)		浅い(狭い) 例:背景をぼかして撮りたいときなど	深い(広い) 例:背景までピントを合わせて撮りたいときなど

- プレビューモード中でも撮影できます。
- シャッタースピード効果を確認できる範囲は、8秒～1/16000秒です。

こんなときは使えません

- [4Kプリ連写]撮影時は、プレビューモードが使用できません。

お好みの設定を登録して撮る(カスタムセット)

使えるモード: P A S M

お好みのメニュー設定を登録する(カスタムセット登録)

お好みのメニュー設定を組み合わせて、カスタムセットに登録できます。(3 つまで)

準備: 撮影メニューや動画メニュー、カスタムメニューなどをお好みの設定にする

MENU ボタン→ [セットアップ]→[カスタムセット登録]→登録したいカスタムセット

- 以下のメニュー項目はカスタムセット登録できません。

カスタムメニュー	セットアップメニュー	再生メニュー
– [個人認証] で登録されたデータ – [プロフィール設定] の設定内容	– すべてのメニュー	– [縦位置自動回転] – [画像表示順] – [消去確認画面]

登録したカスタムセットを呼び出す

1 メニューを設定する

MENU ボタン→ [セットアップ] →[カスタムセット呼出]

2 ▲/▼ ボタンで使いたいカスタムセットを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 選択したカスタムセットの設定に切り換わります。

撮影画面の撮影モードアイコンをタッチして、選択画面を表示することもできます。

■ 登録内容を変更する

カスタムセットのいずれかを選択した状態で、一時的にメニューの設定を変更しても、登録内容は変更されません。登録内容を変更する場合は、セットアップメニューの［カスタムセット登録］で登録内容を上書きしてください。

素早くカスタムセットを呼び出す

ファンクションボタンを［カスタムセット呼出］に設定すると、ファンクションボタンを押すことで、すぐにお好みの設定に切り換えることができます。

❶ カスタムメニュー（操作）の［Fnボタン設定］で、お好みのファンクションボタンに［カスタムセット呼出］を設定する（P49）
❷ ファンクションボタンを押す
❸ ◀/▶ ボタンでカスタムセットを選び、［MENU/SET］ボタンを押す

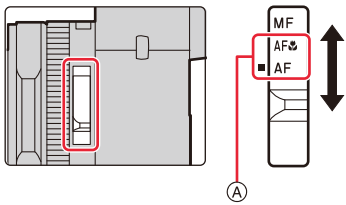
自動でピントを合わせる(オートフォーカス)

使えるモード: [A] [A] P A S M

1 フォーカス切換スイッチを[AF]または[AF]に切り換える

- フォーカスモードを設定します。(P74)

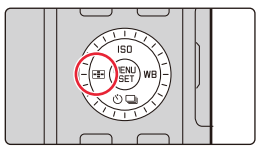
Ⓐ 指標に合わせる



2 [ ]ボタン(◀)を押す

3 ◀/▶ ボタンでオートフォーカスモードを選び、[MENU/SET]ボタンを押す

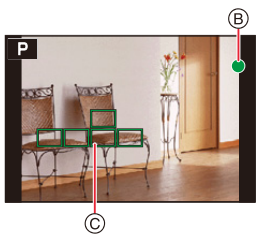
- オートフォーカスモードを設定します。(P75)



4 シャッターボタンを半押しする

- オートフォーカスが働きます。

ピント	合っている	合っていない
フォーカス表示 Ⓑ	点灯	点滅
AFエリア Ⓒ	緑	―
電子音	ピピッ	ピピピピッ



- 暗い環境ではフォーカス表示が[LOW]と表示され、通常よりピント合わせに時間がかかることがあります。
- [LOW]を表示後に夜空の星などを検知した場合、星空 AF が働きます。ピントが合うと、フォーカス表示が[STAR]と表示され、ピントを合わせたAFエリアが表示されます。
(画面の端では、星空 AF で検知ができません)

- スナップショットモード時は、フォーカス切換スイッチを[AF]に切り換えても、[AF🌷](AFマクロ)と同じ動作になります。
- ピントを合わせたあとズーム操作をした場合は、ピントに誤差が生じることがあります。ピントを合わせ直してください。
- 低照度時にオートフォーカスでピントが合いにくい場合、[モニター表示速度]または[EVF表示速度]を[60fps]に設定してください。

ピントが合いにくい被写体や撮影環境

- 動きの速い被写体、非常に明るい、または濃淡のないもの
- ガラス越しや光るものの近くにある被写体を撮影するとき
- 暗いときや手ブレしているとき
- 被写体に近すぎるとき、または遠くと近くを同時に撮るとき

シャッター半押し時の構図づくりについて

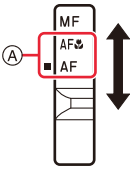
[■] で撮影するときに、被写体の位置が撮りたい構図の中央にない場合は、以下の手順で撮影してください。([AFS/AFF/AFC] を [AFS] に設定した場合)

❶ 被写体に AF エリアを合わせる
❷ シャッターボタンを半押しする
- ピントと露出を固定します。

❸ シャッターボタンを半押ししたまま、撮りたい構図に本機を動かす
❹ シャッターボタンを押して撮影する

フォーカスモードを設定する（AFS、AFF、AFC）

使えるモード： [A] [A+] [P] [A] [S] [M]



シャッターボタン半押し時のピント合わせ動作を設定します。

準備：　フォーカス切換スイッチを[AF]または[AF]に合わせる

MENU ボタン→ [撮影]/ [動画]→[AFS/AFF/AFC]

Ⓐ: 目標に合わせる

設定	お勧めの撮影シーン	
AFS （Auto Focus Single）	**静止している（風景、記念撮影など）**	シャッターボタンを半押ししている間、ピントが固定され、構図を変えて撮影できます。
AFF （Auto Focus Flexible）	**動きが予測できない（子ども、ペットなど）**	シャッターボタンを半押ししている間に被写体が動いても、動きに合わせて自動でピントを合わせ直します。
AFC （Auto Focus Continuous）	**動いている（スポーツ、鉄道など）**	シャッターボタンを半押ししている間、被写体の動きに合わせて常にピントを合わせ続けます。

[AFF]、[AFC] で撮影する場合は

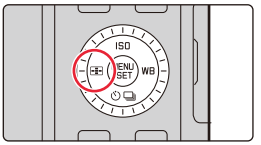
- 動いている被写体の場合は、撮影時に予測してピント合わせをします。（動体予測）
- W端からT端にズームしたり、急に被写体を遠くから近くに変えたりした場合、ピントが合うまで時間がかかることがあります。
- 撮影中、ピントが合いにくいときは、再度シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ直してください。
- シャッターボタンを半押ししている間、画面に揺れが見える場合があります。

- 以下の場合、[AFF]または[AFC]は、[AFS]と同じ動作をします。
  - [4K 連写（S/S）]で撮影時
  - 低照度時
- パノラマモード設定時は、[AFS]に固定されます。
- 4Kフォト撮影時は、[AFF]に設定できません。撮影時に AF 連続動作が働きます。
- ポストフォーカス撮影時は設定できません。

オートフォーカスモードを設定する

使えるモード： P A S M

被写体の位置や数に応じて、ピントの合わせ方を選択できます。



[ ] ボタン（◀）を押す

（顔・瞳認識）	人の顔や目を自動的に検知します。ピントは本機に近い側の目に、露出は顔に合わせます。（[測光モード]を [ ] に設定したとき）（P76）	
（追尾）	指定した被写体が動いても、自動でピントと露出を合わせ続けます。（動体追尾）（[測光モード]を [ ] に設定したとき）（P77）	
（49点）	最大49点のAFエリアでピントを合わせることができます。被写体が中央にない場合に有効です。	
など（カスタムマルチ）	49点のAFエリアから、被写体に合わせて、自由にAFエリアの形状を設定できます。（P78）	
（1点）	AFエリア内にピントを合わせます。	
（ピンポイント）	[ ] より小さな点で繊細なピント合わせができます。シャッターボタンを半押しすると、ピントを確認するための画面が拡大表示されます。	

- スナップショットモードおよびスナップショットプラスモード時は、[ ] または [ ] に切り換えることができます。

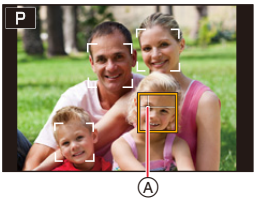
(顔・瞳認識)について

カメラが顔を認識するとAFエリアとピントを合わせる目が表示されます。

Ⓐ ピントを合わせる目

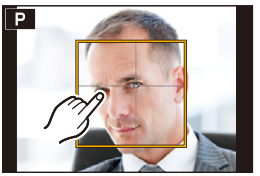
黄色：シャッターボタンを半押しし、ピントが合うと緑色に変わります。

白色：複数の顔を認識すると表示されます。黄色のAFエリア内の顔と同じ距離にある顔にはピントが合います。



- カメラが認識できる人の顔は、最大15人までです。認識できる目は、ピントを合わせる顔の目だけです。

■ ピントを合わせる目を変更する

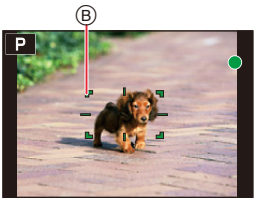


ピントを合わせる目をタッチする

- [ ]をタッチする、または[MENU/SET]ボタンを押すと、ピントを合わせる目の設定が解除されます。

追尾する被写体をロックする（追尾）

ボタン操作



被写体を追尾AFエリア（Ⓑ）に合わせ、シャッターボタンを半押しする

- 被写体を認識すると、AFエリアが緑色になります。
- シャッターボタンを離すとAFエリアが黄色に変わります。
- [MENU/SET] ボタンを押すと、ロックは解除されます。

タッチ操作

被写体をタッチする

- タッチシャッター機能は解除してください。
- ロック中は追尾 AFエリアが黄色になります。
- [AF OFF] をタッチすると、ロックは解除されます。

- ピントが合う範囲は、[AF🌷]（AF マクロ）と同じです。（P86）
- ロックが失敗すると、追尾AFエリアが赤く点滅したあとに消えます。

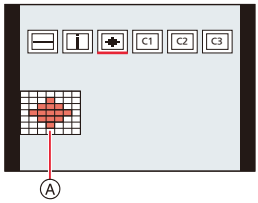
AFエリアの形状を設定する（カスタムマルチ）

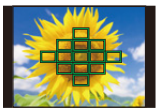
1 [ ] ボタン（◀）を押す

2 カスタムマルチアイコン（[ ] など）を選び、▲ボタンを押す

3 ◀/▶ボタンで設定項目を選び、▼ボタンを押す

Ⓐ 現在の AF エリアの形状



（横）	流し撮りなどの撮影に便利な形状です。	
（縦）	建築物の撮影などに便利な形状です。	
（中央）	中央周辺にピントを合わせたい場合に便利な形状です。	
C1/C2/C3（カスタム）	カスタム登録した内容を設定できます。	

● AF エリア設定画面が表示されます。

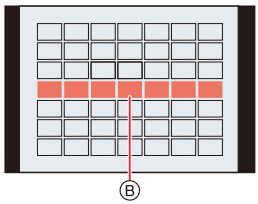
4 AF エリアを選ぶ

Ⓑ 選択されている AF エリア

[ ]/[ ]/[ ] 選択時

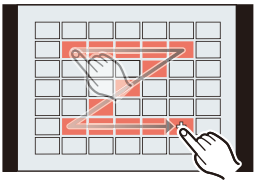
❶ AF エリアを変更する

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲/▼/◀/▶	タッチ	位置の移動
( )	ピンチアウト / ピンチイン	大きさの変更
[DISP]	[リセット]	1 回目：位置を中央に戻す 2 回目：大きさを初期設定に戻す



❷ [MENU/SET] ボタンを押して、決定する

[C1]/[C2]/[C3] 選択時



❶ AF エリアを変更する

ボタン操作

▲/▼/◀/▶ ボタンで AF エリアを選び、[MENU/SET] ボタンで設定する（繰り返す）

- 選択した AF エリアを解除するには、もう一度 [MENU/SET] ボタンを押してください。
- すべての選択を解除するには、[DISP] ボタンを押してください。

タッチ操作

タッチまたはドラッグして、AF エリアを選ぶ

- 選択した AF エリアを解除するには、もう一度タッチしてください。

❷ [QM] / ([Fn2]) ボタンを押して、決定する

■ 設定した AF エリアを [C1]、[C2]、[C3]（カスタム）に登録する

❶ 78ページの手順**3**の画面で、▲ボタンを押す

❷ ▲/▼ ボタンで登録先を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- [ ]/[ ]/[ ] で調整した設定は、電源スイッチを [OFF] にするとお買い上げ時の設定に戻ります。

オートフォーカスモードの制限事項

- 以下の場合、オートフォーカスモードは設定できません。
  - ポストフォーカス撮影時
- 以下の場合、オートフォーカスモードは[■]に固定されます。
  - デジタルズーム使用時
  - [フィルター設定]の[ジオラマ]

（顔・瞳認識）

- 被写体の動きが速いときなど、状況によって顔を認識できない場合は、[▦]の動作になります。

（追尾）

- 被写体が小さいときや暗いときなど、撮影状況によって追尾AFが正しく動作しない場合は、[■]の動作になります。
- インターバル撮影時は[ ]が使用できません。
- 以下の場合、[ ]は[■]の動作になります。
  - [フィルター設定]の[セピア]/[モノクローム]/[ダイナミックモノクローム]/[ラフモノクローム]/[シルキーモノクローム]/[ソフトフォーカス]/[クロスフィルター]/[サンシャイン]
  - [フォトスタイル]の[モノクローム]/[モノクローム HC]/[モノクローム HC+]

など（カスタムマルチ）

- 4Kフォト撮影中や[AF連続動作]で動画撮影中は、AF エリアの中央でピントを合わせます。

[+]（ピンポイント）

- 動画撮影時や 4K フォト撮影時は、[+] は [■] に切り換わります。
- 以下の場合、[+] に設定できません。
  - 撮影メニューの [AFS/AFF/AFC]を[AFF]または[AFC]に設定したとき

AFエリアの位置や大きさを変更する

使えるモード： P A S M

オートフォーカスモードの[ ]、[ ]、[■]、[+]では、AFエリアの位置や大きさを設定できます。[ ]では、ロック開始位置を設定できます。

- タッチシャッター機能は解除してください。
- 撮影画面をタッチしても、AF エリア設定画面を表示できます。

MENU ボタン→ [カスタム]→ [操作]→[タッチ設定]→[タッチAF]→[AF]

- カスタムメニュー（フォーカス／レリーズ）で、AFエリアの表示方法などをお好みに応じて設定できます。（P180）

- [測光モード]が[ ]のときは、測光ターゲットもAFエリアに合わせて移動します。

こんなときは使えません

– デジタルズーム使用時

[ ]、[ ]、[■] 選択時

1 **[ ] ボタン（◀）を押す**

2 **[ ]、[ ] または [■] を選び、▼ ボタンを押す**

- AFエリア設定画面が表示されます。

3 **AF エリアの位置と大きさを変更する**

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲/▼/◀/▶	タッチ	位置の移動
–	ピンチアウト/ピンチイン	大きさの変更（細かく）※
( )	–	大きさの変更 ※
[DISP]	[リセット]	1 回目：位置を中央に戻す 2 回目：大きさを初期設定に戻す ※

※ [ ]の場合は操作できません。

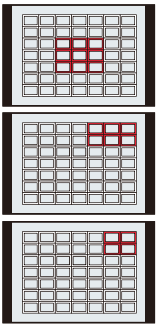
4 **[MENU/SET] ボタンを押して決定する**

- [ ]選択時は、設定した場所に[■]と同じ働きのAFエリアが設定されます。
  [MENU/SET]ボタンを押す、または[ ]をタッチすると AFエリアの設定を解除できます。

[▦] 選択時

AFエリアのグループを選ぶことで、ピントを合わせる位置を設定できます。49点のAFエリアは9点（画面の端では6点または4点）ごとのグループに分けられています。

グループの例



1 **[⊞] ボタン（◀）を押す**

2 **[▦] を選び、▼ ボタンを押す**

- AFエリア設定画面が表示されます。

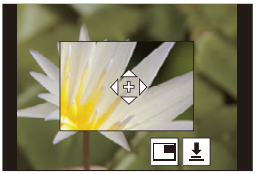
3 **▲/▼/◀/▶ ボタンで、AFエリアのグループを選択する**

4 **[MENU/SET] ボタンを押して決定する**

- [MENU/SET] ボタンを押す、または [AF OFF] をタッチすると AFエリアの設定が解除されます。

[⊞] 選択時

画面を拡大して、ピント位置を細かく設定できます。



1 [⊞] ボタン（◀）を押す

2 [⊞] を選び、▼ ボタンを押す

3 ▲/▼/◀/▶ ボタンでピントを合わせる位置を決め、[MENU/SET] ボタンを押す

- 拡大表示が表示されます。

4 [+] をピントを合わせる位置に移動する

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲/▼/◀/▶	タッチ	[+] の移動
–	ピンチアウト/ピンチイン	画面を細かく拡大 / 縮小
(◎)	–	画面を拡大 / 縮小
–	⊡	拡大表示の切り換え（画面の一部 / 画面全体）
[DISP]	[リセット]	手順 **3** の画面に戻す

- 画面の一部のときは約 3 倍～ 6 倍、画面全体のときは約 3 倍～ 10 倍に拡大できます。
- [⬇] をタッチしても、写真を撮影できます。

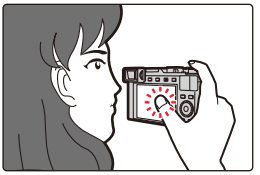
5 [MENU/SET] ボタンを押して決定する

- ピントを合わせる位置は、画面の端に設定できません。

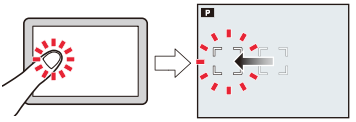
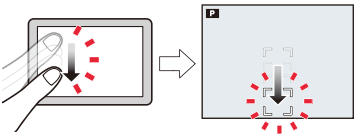
タッチパッドを使ってAFエリアの位置を選ぶ

使えるモード： P A S M

ファインダー表示中にモニターをタッチして AFエリアを移動できます。



MENU ボタン→ [カスタム]→ [操作]→[タッチ設定] →[タッチパッド AF]

絶対位置	タッチパッドをタッチした位置に、ファインダーの AF エリアが移動します。	
相対位置	タッチパッドをドラッグした移動量に応じて、ファインダーの AF エリアが移動します。	
OFF	—	

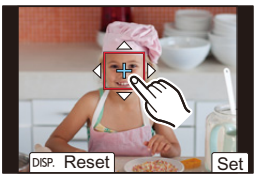
- シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせる位置を決定してください。
  また、ピントを合わせる位置を中央に戻すには、決定前に[DISP]ボタンを押してください。
- [ ]、[ ]、[ ]選択時に、AFエリア枠の設定を解除するには、[MENU/SET] ボタンを押してください。

タッチ機能を使って AF エリアの位置を選ぶ

使えるモード： P A S M

MENU ボタン→ [カスタム]→ [操作]→[タッチ設定]→[タッチAF] →[AF+AE]

1 明るさを合わせたい被写体をタッチする



- AF エリア設定画面が表示されます。(P81)
- 明るさを合わせる位置がAFエリアの中央に表示され、AFエリアに合わせて移動します。
- [測光モード]はタッチAE専用の[ ]に変わります。

2 [決定]をタッチする

- タッチした場所に[■]と同じ働きのAFエリアが設定されます。
- [AF+AE] の設定を解除するには、[ ]([■]設定時は[ ])をタッチしてください。

背景が明るくなりすぎた場合などは、露出補正をすることで、背景との明るさのバランスを調整できます。

- タッチシャッター撮影時は、タッチした位置でピントと明るさを合わせて撮影します。
- 画面の端では、タッチした場所の周辺の明るさの影響を受ける場合があります。

こんなときは使えません

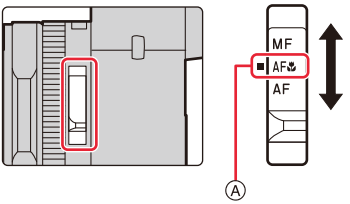
- 以下の場合、[AF+AE]が働きません。
  - デジタルズーム使用時

近づいて撮る（マクロ撮影）

使えるモード： P A S M

花などの被写体に近づいて撮りたいときに設定します。

フォーカス切換スイッチを[AF]に切り換える



- ズームを最も広角（W端）にすると、レンズから3 cmまで接近して撮影できます。
- ピントの合う範囲は、ズーム操作をしたときなどに表示されます。（P36）

Ⓐ 指標に合わせる

- スナップショットモードでは、フォーカス切換スイッチの設定にかかわらず、最短撮影距離が[AF]と同じになります。
- 近距離で撮影する場合、下記にお気をつけください。
  - 撮影可能範囲外で使用しているときは、フォーカス表示が点灯していても、ピントが合っていない場合があります。
  - 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。
  - フラッシュを使用しないことをお勧めします。
  - ピントの合う範囲が非常に狭くなります。ピントを合わせたあとにカメラと被写体の距離が変わると、ピントが合いにくくなります。
  - 画像の周辺部の解像度が少し低下する場合がありますが、故障ではありません。

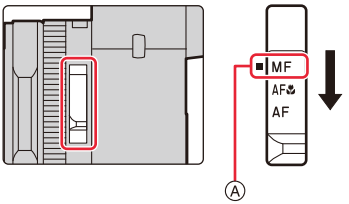
手動でピントを合わせる（マニュアルフォーカス）

使えるモード： P A S M

ピントを固定したい場合、または被写体との距離が固定されていて、オートフォーカスを働かせたくない場合などに使います。

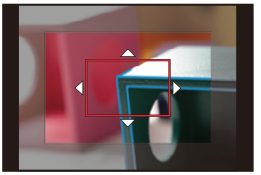
1 フォーカス切換スイッチを[MF]に切り換える

Ⓐ 指標に合わせる



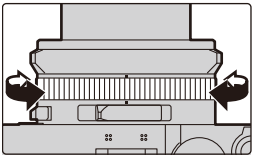
2 [⊞] ボタン（◀）を押す

3 ▲/▼/◀/▶ ボタンでピントを合わせる位置を選び、[MENU/SET] ボタンを押す



- アシスト画面に切り換わり、拡大表示されます。（MFアシスト）
- 画面をドラッグしても、ピントを合わせる位置を選択できます。
- 画面をピンチアウトするか2 回タッチしても、拡大表示できます。

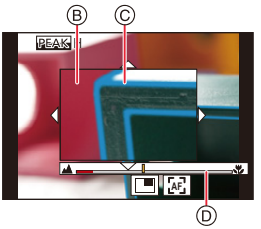
4 コントロールリングを回してピントを調整する



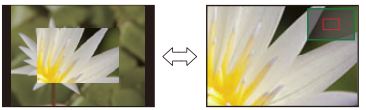
時計回りに回す　：近くにピントを合わせる
反時計回りに回す：遠くにピントを合わせる

Ⓑ MF アシスト（拡大画面）
Ⓒ ピーキング
Ⓓ MF ガイド

- ピントが合っている部分に色が付いて表示されます。（ピーキング）
- 近距離側、遠距離側へピントを合わせる方向を確認できます。（MFガイド）



以下の操作ができます。

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲/▼/◀/▶	ドラッグ	拡大表示位置の移動
–	ピンチアウト / ピンチイン	画面を細かく拡大 / 縮小
(◎)	–	画面を拡大 / 縮小
–	※	拡大表示の切り換え（画面の一部 / 画面全体） 
[DISP]	[リセット]	拡大表示する位置を中央に戻す

※スナップショットモード時は設定できません。

- 画面の一部のときは約 3 倍～6 倍、画面全体のときは約 3 倍～20 倍に拡大できます。

5 シャッターボタンを半押しする

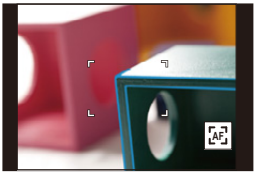
- 撮影画面が表示されます。
- [MENU/SET] ボタンを押しても、同じ操作ができます。

- カスタムメニュー（フォーカス/レリーズ）の [縦/横位置フォーカス切換] 設定時は、カメラの向きごとに MF アシストの拡大表示位置を設定できます。

オートフォーカスを使って素早くピントを合わせる

マニュアルフォーカス時にオートフォーカスでピントを合わせることができます。

[AF] をタッチする



- 枠の中心でオートフォーカスが働きます。
- 以下の操作でもオートフォーカスが働きます。
  - [AF-ON] を設定した [AE/AF] ボタンを押す（P89）
  - [AF-ON] を設定したファンクションボタンを押す（P49）
  - モニターをドラッグしてピントを合わせたい位置で指を離す

ピントや露出を固定して撮る（AF/AEロック）

使えるモード： P A S M

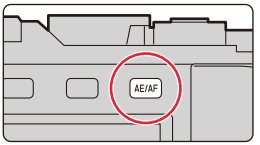
撮影前にピントや露出を固定し、そのまま構図を変えて撮影します。
画面の端にピントを合わせたいときや逆光時などに便利です。

1 **被写体に向けてカメラを構える**

2 **[AE/AF] ボタンを押したまま、ピントや露出を固定する**

- [AE/AF] ボタンを離すと、ロックは解除されます。

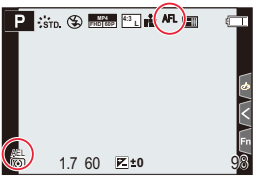
3 **[AE/AF] ボタンを押したまま、撮りたい構図に本機を動かし、シャッターボタンを全押しする**



■ [AF/AE LOCK] の機能を設定する

MENU ボタン→ [カスタム]→ [フォーカス/レリーズ]→ [AF/AEロック切換]

AE LOCK	露出だけを固定します。 ● 露出が合うと、[AEL] が表示されます。
AF LOCK	ピントだけを固定します。 ● ピントが合うと、[AFL] が表示されます。
AF/AE LOCK	ピントと露出を固定します。 ● ピントと露出が合うと、[AFL] と [AEL] が表示されます。
AF-ON	オートフォーカスが作動します。



- マニュアル露出モード時は、AFロックだけ働きます。
- マニュアルフォーカス時は、AEロックだけ働きます。
- AEロック時でも、プログラムシフトを設定できます。

露出を補正して撮る

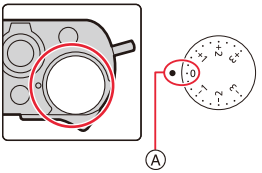
使えるモード： P A S M

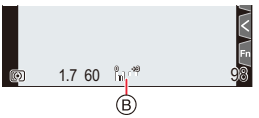
被写体と背景の明るさに大きく差がある場合など、適正な露出が得られないときに補正します。

露出補正ダイヤルを回して露出を補正する

- 露出補正ダイヤルでは −3 EV ～ +3 EV の範囲で補正できます。

Ⓐ 指標に合わせる
Ⓑ 露出補正値





露出アンダー	適正露出	露出オーバー
露出をプラス方向に補正してください。		露出をマイナス方向に補正してください。

■ 広い範囲で露出補正をする

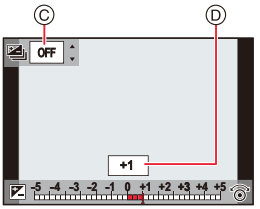
1 メニューを設定して、ファンクションボタンに［露出補正］を割り当てる（P49）

2 撮影画面でファンクションボタンを押す

3 コントロールダイヤルを回して露出を補正する

Ⓒ 露出ブラケット
Ⓓ 露出補正値

- ファンクションボタンで設定した場合は、−5 EV～+5 EVの範囲で補正できます。
- ▲/▼ボタンを押すと、露出ブラケットの設定ができます。（P131）



4 [MENU/SET] ボタンを押して決定する

- シャッターボタンを半押ししても決定できます。

- マニュアル露出モード時は、ISO感度を[AUTO]に設定した場合に、露出補正できます。
- 明るさによっては補正できない場合があります。
- 撮影メニューの[フラッシュ設定]の[露出補正連動]を[ON]に設定した場合は、露出補正値に応じてフラッシュの発光量も自動的に調整されます。

（ファンクションボタンで設定した場合）

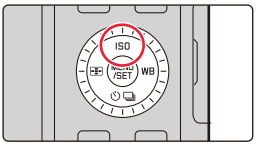
- ファンクションボタンに[露出補正]を設定すると、露出補正ダイヤルが無効になります。
- 動画撮影時、4Kフォト撮影時およびポストフォーカス撮影時は、–3 EV～+3 EVの範囲で設定できます。
- 露出補正値が–3 EVから+3 EVの範囲を超える場合、撮影画面の明るさはそれ以上変化しません。
  撮影画像の実際の明るさは、オートレビューや再生画面で確認しながら撮影することをお勧めします。
- ファンクションボタンで設定した露出補正値は、電源スイッチを[OFF]にしても記憶しています。
  （[露出補正リセット]を[OFF] に設定した場合）

ISO感度を設定する

使えるモード： P A S M

光に対する感度（ISO感度）を設定できます。

1 [ISO]ボタン（▲）を押す



2 コントロールダイヤルを回してISO感度を選ぶ

Ⓐ ISO 感度

AUTO	明るさに応じて、自動的にISO感度を調整します。 ● 最大[ISO3200]※1
ISO（インテリジェントISO）	被写体の動きと明るさに応じて、カメラが最適なISO感度とシャッタースピードを自動的に設定し、被写体のブレを抑えます。 ● 最大[ISO3200]※1 ● シャッタースピードはシャッターボタン半押し時に固定されません。全押しするまで常に被写体の動きに合わせて変化します。
L.100※2、200～25000	それぞれのISO感度に固定します。

※1 撮影メニューの[ISOオート上限設定（写真）]を[AUTO]に設定した場合
※2 カスタムメニュー（露出）の[拡張ISO感度]を[ON]に設定した場合

3 [MENU/SET]ボタンを押して決定する

● シャッターボタンを半押ししても決定できます。

ISO感度の性質

	200 ⟷ 25000	
撮影場所	明るいとき（屋外）	暗いとき
シャッタースピード	遅くなる	速くなる
ノイズ	少ない	多い
被写体ブレ	多い	少ない

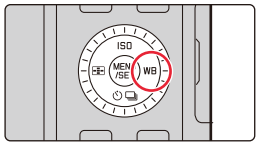
- [AUTO] 設定時のフラッシュ撮影可能範囲については、147 ページをお読みください。
- シャッター優先AEモードやマニュアル露出モードでは、[ISO] が使用できません。
- [ダイレクトフォーカス移動]（P182）を[ON]に設定した場合は、カーソルボタンで AF エリアを移動するため、クイックメニュー（P47）で設定してください。
- [多重露出]設定時のISO感度の上限は[ISO3200]になります。
- 動画撮影時、4K フォト撮影時およびポストフォーカス撮影時は、以下の設定項目になります。
  - [AUTO]、200 ～6400（[拡張ISO感度]を[ON]に設定した場合は、L.100 ～ 6400）

ホワイトバランスを調整する

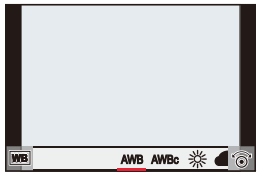
使えるモード： P A S M

デジタル写真では、ホワイトバランスを調整することで、あらゆる光源下で自然な色を再現できます。
ホワイトバランスとは、特定の色を白色として再現するようカメラに設定することで、AWBなどの各種設定、手動設定、色温度設定から選ぶことができます。

1 [WB] ボタン（▶）を押す



2 コントロールダイヤルを回してホワイトバランスを選ぶ



AWB、AWBc	自動調整 ● 白熱電球下など赤みがかる光源下では、 －[AWB]は見た目の印象を優先し、赤みを残します。 －[AWBc]は被写体本来の色を優先し、赤みを抑えます。 明るい環境下では、[AWB]と同じ色に調整される場合があります。 ● 赤みがかる光源下以外では、[AWB]と[AWBc]は同じ色に調整します。
☼	晴天の屋外での撮影時
☁	曇りの屋外での撮影時
🏠	屋外の晴天下の日陰での撮影時
💡	白熱灯下での撮影時
⚡WB ※	フラッシュ光だけでの撮影時

※ 動画撮影時、4Kフォト撮影時およびポストフォーカス撮影時は、[AWB]の動作になります。

1、2、3、4	白いものを撮影してホワイトバランスを設定します。複数の光源下で撮影するときに便利です。 ❶ ▲ ボタンを押す ❷ 画面中央の枠内に紙など白いものを映し、[MENU/SET]ボタンを押す ● ホワイトバランスが設定され、撮影画面に戻ります。 ● 被写体が明るすぎたり、暗すぎたりすると、ホワイトバランスを設定できない場合があります。そのときは適切な明るさに調整して再度設定してください。
K	光源に合わせてホワイトバランスの色温度を設定します。 ❶ ▲ ボタンを押す ❷ ▲/▼ ボタンで色温度を選び、[MENU/SET]ボタンを押す ● [2500K]～[10000K]まで設定できます。

3 [MENU/SET] ボタンを押して決定する

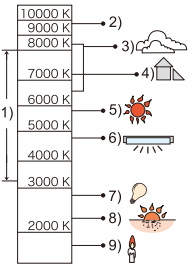
● シャッターボタンを半押ししても決定できます。

蛍光灯やLEDなどの照明下では、その種類によって最適なホワイトバランスは異なります。[AWB]、[AWBc]、[1]、[2]、[3]、[4]をお使いください。

● フラッシュ撮影時は、フラッシュ撮影可能範囲外で撮影すると、ホワイトバランスが合わない場合があります。

■ オートホワイトバランスについて

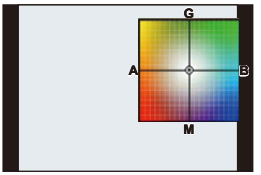
撮影時の状況によっては、画像が赤っぽくなったり、青っぽくなったりします。
また、以下の場合は、オートホワイトバランスが正常に働かないことがあります。ホワイトバランスを[AWB]、[AWBc]以外にして調整してください。
– 光源が複数あるとき
– 白に近い色がないとき



1　[AWB] が働く範囲
2　青空
3　曇り空
4　日陰
5　太陽光
6　白色蛍光灯
7　白熱電球
8　日の出･日の入り前
9　ろうそく
K= ケルビン色温度

ホワイトバランス微調整

ホワイトバランスを設定しても思いどおりの色合いにならないときに、微調整できます。



1 ホワイトバランスを選び、▼ ボタンを押す

2 ▲/▼/◀/▶ ボタンを押してホワイトバランスを微調整する

◀：A（アンバー：オレンジ系）　▲：G（グリーン：緑系）
▶：B（ブルー：青系）　▼：M（マゼンタ：赤系）

- ホワイトバランスのグラフをタッチしても微調整できます。
- 中心点に戻すには、[DISP]ボタンを押してください。
- ホワイトバランスブラケットを設定するには、コントロールダイヤルを回してください。（P132）

3 [MENU/SET] ボタンを押す

- シャッターボタンを半押しして、撮影画面に戻ります。

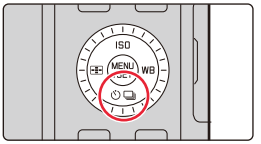
- ホワイトバランスをA（アンバー）またはB（ブルー）方向に微調整すると、画面に表示されるホワイトバランスアイコンが微調整した色に変わります。
- ホワイトバランスをG（グリーン）またはM（マゼンタ）方向に微調整すると、画面に表示されるホワイトバランスアイコンに[+] または[−] が表示されます。

ドライブモードを選ぶ

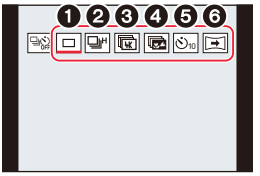
使えるモード： A A P A S M

シャッターボタンを押したときの動作を切り換えることができます。

1 [ ] ボタン（▼）を押す



2 ◀/▶ ボタンでドライブモードを選び、[MENU/SET] ボタンを押す



❶	単写	シャッターボタンを押すと1枚だけ撮影します。
❷	連写(P98)	シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。
❸	4Kフォト(P100)	シャッターボタンを押すと 4Kフォトの撮影をします。
❹	ポストフォーカス(P110)	シャッターボタンを押すとポストフォーカス撮影をします。
❺	セルフタイマー(P115)	シャッターボタンを押すと、設定した時間後に撮影します。
❻	パノラマ(P117)	シャッターボタンを押し、本機を左右または上下に動かしている間に連続撮影をして、1 枚のパノラマ写真に合成します。

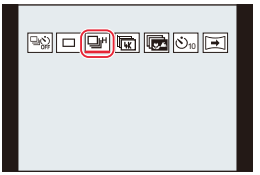
- [ ] を選ぶと、単写（お買い上げ時の設定）に戻ります。

連写する

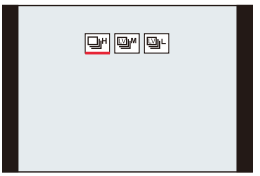
使えるモード： P A S M

シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。

1 [ ] ボタン（▼）を押す



2 ◀/▶ ボタンで連写アイコン（[ ] など）を選び、▲ ボタンを押す



3 ◀/▶ ボタンで連写速度を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

H	高速の連写撮影をします。
M	中速の連写撮影をします。
L	低速の連写撮影をします。

4 ピントを合わせて撮影する

- シャッターボタンを押したままにすると連続撮影されます。

■ 連写を解除するには

ドライブモードから [ ]（単写）、または [ ] を選ぶ（P97）

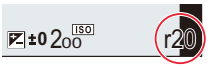
■ 連写設定について

		[H]（高速）	[M]（中速）	[L]（低速）
連写速度	AFS/MF	11 コマ/秒	7 コマ/秒	2 コマ/秒
	AFF/AFC	5.5 コマ/秒	5.5 コマ/秒	
連写中のライブビュー	AFS/MF	なし	あり	あり
	AFF/AFC	あり		
連写コマ数 ※	RAWファイルあり	32 コマ以上		
	RAW ファイルなし	100 コマ以上		

※ 当社測定条件による撮影時。
カードの空き容量がいっぱいになるまで撮影されますが、途中から連写速度が遅くなります。
撮影条件やカードの種類またはカードの状態などによって制限されます。

■ 連続撮影可能枚数について

シャッターボタンを半押しすると、連続撮影可能枚数が表示されます。
例）20 枚のとき：[r20]



- 撮影を始めると連続撮影可能枚数は減少します。
  [r0] と表示されると、撮影速度が低下します。
- [r99+] と表示されているときは、100枚以上の連続撮影ができます。

■ 連写時のピントについて

ピント合わせは、フォーカスモードとカスタムメニュー（フォーカス/レリーズ）の[フォーカス/レリーズ優先]の設定によって異なります。

フォーカスの設定	フォーカス/レリーズ優先	[H]	[M]/[L]
AFS	フォーカス	1 コマ目	
	バランス		
	レリーズ		
AFF/AFC※1	フォーカス	予測ピント ※2	常時ピント ※3
	バランス	予測ピント ※2	
	レリーズ		
MF	ー	マニュアルで設定したフォーカス	

※1 被写体が暗い場合は、ピントは 1 コマ目に固定されます。
※2 連写速度を優先し、可能な範囲でピントを予測します。
※3 連写速度は遅くなることがあります。

- 連写速度は、以下の設定によって低下することがあります。
  – ISO感度/[記録画素数]/[クオリティ]/[AFS/AFF/AFC]/[フォーカス / レリーズ優先]
- 連写速度を [H]（フォーカスの設定が [AFS] または [MF] の場合）に設定したときは、1 コマ目の露出に固定されます。その他の場合は、1 コマごとに露出を調整します。
- **連写した写真の保存には時間がかかる場合があります。保存中に引き続き連写した場合は、連写コマ数が減少します。連写時は、高速タイプのカードのご使用をお勧めします。**

こんなときは使えません

– [フィルター設定]の[ラフモノクローム]/[シルキーモノクローム]/[ジオラマ]/[ソフトフォーカス]/[クロスフィルター]/[サンシャイン]
– [多重露出]設定時
– フラッシュ撮影時
– インターバル撮影時
– コマ撮りアニメ撮影時（[自動撮影]設定時）

4K フォトを撮る

使えるモード： P A S M

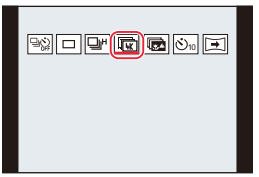
約800万画素の写真を30コマ/ 秒で連写撮影します。撮影後に連写ファイルから一瞬を選んで保存できます。

- 撮影時は UHS Speed Class 3 のカードをお使いください。

1 [ ] ボタン(▼)を押す

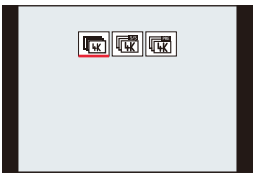
2 ◀/▶ ボタンで 4Kフォトアイコン([ ]など)を選び、▲ボタンを押す

- お買い上げ時の設定では、[4K] / ([Fn1]) ボタンを押しても手順 **1** 、**2** と同じ操作ができます。



3 ◀/▶ ボタンで撮影方法を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 撮影方法は、撮影メニューの[4K フォト] でも設定できます。



4K 連写	**動きの速い被写体のベストな一瞬をとらえたいとき** (スポーツ、飛行機、鉄道など) 音声記録:なし
4K連写(S/S) S/S とは「Start/Stop」の略を表します。	**いつ起こるかわからないシャッターチャンスをとらえたいとき**(植物、動物、子どもなど) 音声記録:あり ※
4Kプリ連写	**シャッターチャンスの瞬間に合わせて撮りたいとき** (ボールを投げる瞬間など) 音声記録:なし

※ 本機で再生する場合、音声は再生されません。

4 4K フォトを撮影する

- オートフォーカスで撮影中は、撮影中はAF連続動作が働き、ピントを合わせ続けます。

4K 連写	**1 シャッターボタンを半押しする** **2 撮影したい間、シャッターボタンを全押ししたままにする** Ⓐ 押したまま Ⓑ 記録される範囲 ● 全押しから約0.5秒後に撮影が開始されるので、早めに全押ししてください。 ● 撮影開始後すぐにシャッターボタンを離すと、最大約1.5秒後まで記録される場合があります。
4K連写(S/S)	**1 シャッターボタンを全押しする** **2 もう一度、シャッターボタンを全押しし、撮影を終了する** Ⓒ 開始(1 回目) Ⓓ 終了(2 回目) Ⓔ 記録される範囲 **手動でマーカーを設定する** 撮影中に [QM] / ([Fn2]) ボタンを押すと、マーカーを付けることができます。(1回の撮影に最大40個まで) 4K連写ファイルから写真を選び保存するときに、マーカーを付けた位置へスキップできます。
4Kプリ連写	**シャッターボタンを全押しする** Ⓕ 約 1 秒 Ⓖ 記録される範囲 ● オートフォーカス時、ピントを合わせ続けます。マニュアル露出モード以外では、露出も合わせ続けます。 ● 通常の撮影画面と比べて滑らかさが劣る場合があります。 **撮影のテクニック** 被写体が中央にないときなどに、ピントや露出を固定したい場合は、AF/AEロックをお使いください。(P89)

● 4Kフォトを連写撮影し、MP4 形式の 4K 連写ファイルが記録されます。
● オートレビューを設定している場合、写真を選ぶ画面が自動で表示されます。続けて撮影する場合は、シャッターボタンを半押しして、撮影画面を表示してください。
● 撮影した4K連写ファイルから写真を選び保存する方法は:(P105)

■ 4Kフォトを解除するには

手順 2 で [▭](単写)または [ ] を選ぶ(P100)

本機の温度やバッテリーの消耗について

- 周囲の温度が高い場合や、連続で4Kフォトの撮影をした場合は、[ ]が表示されたあと、撮影が停止することがあります。本機の温度が下がるまでお待ちください。
- **[ ](4Kプリ連写)に設定しているときは、バッテリーの消耗が早くなり、本機の温度も上昇します。(本機の保護のため、[ ](4K連写)に切り換わる場合があります)**
  撮影するときだけ [ ](4Kプリ連写)に設定してください。

4K フォトについてのお知らせ

■ 横縦比を変更するには

アスペクト切換スイッチを切り換えて、4K フォトの横縦比を設定できます。

■ 被写体ブレを抑えて撮るには

シャッタースピードを速くすることで、被写体ブレを抑えることができます。

1 撮影モードを [S](シャッター優先AE モード)に変更する(P65)

2 シャッタースピードダイヤルを回してシャッタースピードを設定する

- 晴天の屋外でのシャッタースピードの目安 : 1/1000秒以上
- シャッタースピードを速くすると、ISO感度が高くなり、画面にノイズが増えることがあります。

■ 手ブレを抑えて撮る

[比較明合成]や[軌跡合成]をする場合、カメラのブレを抑えるために、三脚を使用し、スマートフォンと接続してリモート撮影することをお勧めします。(P234)

■ 撮影時のシャッター音について

- [4K連写]や[4Kプリ連写]で撮影するときは、[シャッター音音量]と[シャッター音音色]で、電子シャッター音を設定できます。(P197)
- [4K連写(S/S)]で撮影するときは、[電子音音量]で開始音/終了音の音量を設定できます。
- サイレントモードと組み合わせて撮影すると、静かに高速連写撮影ができます。

■ 苦手な撮影シーン

極端に明るい場所や室内での撮影

極端に明るい場所、または蛍光灯やLEDなどの照明下で撮影すると、色合いや明るさが変わったり、画面に横しまが現れたりすることがあります。
シャッタースピードを遅くすると横しまが軽減される場合があります。

速く動く被写体

速く動く被写体を撮影すると、被写体が曲がって撮影される場合があります。

■ 4Kフォト撮影時のカメラの設定について

4K フォト撮影時は、自動で最適な設定に切り換わります。

- 以下の撮影メニューは固定されます。

記録画素数※	[4K](8M) [4:3]: 3328×2496 [1:1]: 2880×2880 [16:9]: 3840×2160 [3:2]: 3504×2336

クオリティ	[⛰]
シャッター方式	[電子シャッター]

※ 横縦比に合わせて切り換わります。

- 4K 連写ファイルは以下の設定で撮影されます。
  動画メニューの設定は、4K 連写ファイルに反映されません。

画質設定	[4K/100M/30p]

AF 連続動作	[ON]

- 4K フォト撮影時は、以下の機能を設定できる範囲が写真撮影時と異なります。
- シャッタースピード:1/30 秒～1/16000 秒
- [下限シャッター速度]:[1/1000]～[1/30]
- 露出補正:－3 EV～＋3 EV
- ISO 感度:[AUTO]、200～6400（拡張 ISO 感度設定時は L.100～ 6400）

- 4K フォト撮影時は、以下の機能は使用できません。
  - フラッシュ撮影
  - ブラケット撮影
  - プログラムシフト
  - オートフォーカスモード（[+]）
  - MF アシスト（[4Kプリ連写] 設定時）
  - ホワイトバランス（⚡WB）

● 以下のメニューは設定できません。

スナップショットモード	[i手持ち夜景]/[iHDR]
撮影	[記録画素数]/[クオリティ]/[色空間]/[フラッシュ設定]/[長秒ノイズ除去]/[シャッター方式]/[ブラケット]/[HDR]
カスタム	[記録枠表示]/[個人認証]/[プロフィール設定]
セットアップ	[エコモード]([4Kプリ連写]設定時)/[モニター表示速度]/[EVF表示速度]

● 連続記録時間が15分を超えると記録を停止します。
SDHCメモリーカード使用時は、ファイルサイズが4 GBを超える場合、一時中断することなく4Kフォトの撮影を続けることができます。連写ファイルは分かれて保存・再生されます。
SDXCメモリーカードを使用すると、連写ファイルサイズが4 GBを超えても1つのファイルとして記録できます。
● 4Kフォト撮影時は、以下のようになります。
– 画角が狭くなります
– [トラベル日付]の[旅行先]は記録できません
– [AFS/AFF/AFC]の[AFF]は設定できません
– [フィルター設定]の[フィルターなし同時記録]は設定できません
– [4Kプリ連写]撮影時は、[ステップズーム]が働きません
● スナップショットモードのシーン判別は、動画撮影時と同じです。
● ドライブモードを4Kフォトに設定した場合、動画撮影中に写真を撮影できません。
([(写真優先)]設定時)

こんなときは使えません

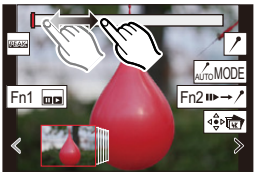
● 以下の場合、4Kフォトは無効になります。
– [フィルター設定]の[ラフモノクローム]/[シルキーモノクローム]/[ジオラマ]/[ソフトフォーカス]/[クロスフィルター]/[サンシャイン]
– 動画撮影時
– [多重露出]設定時
– インターバル撮影時
– コマ撮りアニメ撮影時

4K 連写ファイルから写真を選び保存する

1 再生画面で [▲] アイコンが付いた画像を選び、▲ボタンを押す

- アイコン [▲] をタッチしても同じ操作ができます。
- [4K プリ連写] で撮影した場合は、手順**3**へ進んでください。

スライドフォトセレクト画面



2 スライドバーをドラッグし、おおまかにシーンを選ぶ

- スライドフォトセレクト画面での操作方法は、106 ページをお読みください。
- [ ]([4K] / ([Fn1])) をタッチすると4K連写再生画面でシーンを選ぶこともできます。(P107)

3 ドラッグし、写真として保存するコマを選ぶ

- ◀/▶ を押しても、同じ操作ができます。

4 [ ] をタッチし、写真を保存する

- 写真は JPEG 形式で保存されます。

再生メニューの[4Kフォト一括保存]を使うと、5秒分の写真を一括で保存できます。(P212)

- 保存する写真には、シャッタースピード、絞り、ISO感度などの撮影情報(Exif 情報)が記録されます。
- パソコンに 4K 連写ファイルを保存した場合、MP4 動画として扱われます。

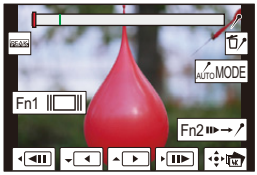
写真を選ぶときの操作

■ スライドフォトセレクト画面

表示中のコマの位置

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
◀/▶/(◎)	ドラッグ / < / >	コマの選択 ● スライドフォトセレクトを切り換えるには、端のコマを選択し、[<]または[>]をタッチしてください。
◀/▶ 長押し	< / > タッチし続ける	連続してコマ戻し/コマ送り
–	タッチ/ドラッグ	表示するコマの選択 ● 前後のコマをスライドフォトで表示します。
	ピンチアウト/ピンチイン	表示の拡大/縮小
▲/▼/◀/▶	ドラッグ	拡大表示位置の移動(拡大表示中)
–	AUTO MODE	表示するマーカーの切り換え(P108)
[4K] / ([Fn1])		4K連写再生画面を表示
[QM] / ([Fn2])		マーカー操作への切り換え(P108)
–	/	マーカーの追加/削除
–	PEAK	ピントが合っている部分に色を付けて表示(ピーキング) ● [PEAK OFF] → [PEAK L](低)→ [PEAK H](高)の順に切り換わります。
[MENU/SET]		写真の保存

■ 4K 連写再生画面



一時停止中

連続再生中

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲	▶/❚❚	連続再生 / 一時停止(連続再生中)
▼	◀/❚❚	連続戻し再生 / 一時停止(連続戻し再生中)
▶/◎	▶▶/❚❚▶	早送り再生 / コマ送り(一時停止中)
◀/◎	◀◀/◀❚❚	早戻し再生 / コマ戻し(一時停止中)
–	タッチ/ドラッグ	表示するコマの選択(一時停止中)
	ピンチアウト/ピンチイン	表示の拡大/縮小(一時停止中)
▲/▼/◀/▶	ドラッグ	拡大表示位置の移動(拡大表示中)
[4K] / ([Fn1])		スライドフォトセレクト画面を表示(一時停止中)
[QM] / ([Fn2])		マーカー操作への切り換え
–	/	マーカーの追加/削除
–	PEAK	ピントが合っている部分に色を付けて表示(ピーキング) ● [PEAK OFF]→[PEAK L](低)→[PEAK H](高)の順に切り換わります。
[MENU/SET]		写真の保存(一時停止中)

● 画面を2回タッチするごとに、拡大表示 / 通常表示が切り換わります。

テレビの画面で写真を選び保存する

- [HDMI 出力解像度 (再生時)] を [AUTO] または [4K/30p] の解像度に設定してください。
  4K動画に対応していないテレビに接続する場合は、[AUTO] に設定してください。
- テレビに接続して表示する場合、4K連写再生画面が表示されます。

マーカー

4K連写ファイルから写真を選んで保存するときに、マーカーの位置へスキップすると、写真が選びやすくなります。
マーカーには 2 種類あります。

白色: 撮影時や再生時に手動で設定したマーカー
緑色: 撮影時にカメラが自動で設定したマーカー
（オートマーキング機能）

マーカー操作画面

■ マーカーの位置へスキップする

スライドフォトセレクト画面、または 4K連写再生画面で [▮▮▶→📍] をタッチすると、マーカー操作画面に切り換わり、マーカーの位置にスキップできます。
[📍→▮▮▶] をタッチすると、元の操作に戻ります。

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
◀/▶	⏮ / ⏭	前 / 次のマーカーへ移動

オートマーキング機能

カメラが被写体の動きや顔を検出したシーンに、自動でマーカーを設定します。
（例：乗り物が横切るシーン、風船が割れるシーン、人が振り向くシーン）

- 1 ファイルにつき最大 10 個まで表示されます。
- 以下の場合は撮影条件や被写体の状態によって、オートマーキング機能によるマーカーが設定されないことがあります。
  - 流し撮りや手ブレなどでカメラが動いている
  - 被写体の動きが遅い / 小さい
  - 被写体が小さい
  - 顔が正面を向いていない

■ 表示するマーカーを切り換える

スライドフォトセレクト画面、4K連写再生画面、またはマーカー操作画面で [AUTO MODE] をタッチする

オート	顔を検出したシーンや、動きを検出したシーンのマーカーを表示します。
顔優先	顔を検出したシーンのマーカーを優先して表示します。
動き優先	動きを検出したシーンのマーカーを優先して表示します。
OFF	手動で設定したマーカーだけを表示します。

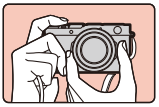
- オートマーキング機能によるマーカーは削除できません。
- 4K連写ファイルを他の機器で動画分割して再び本機で再生すると、オートマーキング機能によるマーカーは、正しく表示されない場合があります。
- 以下の場合、オートマーキング機能によるマーカーは表示されません。
  - [4Kプリ連写] で撮影した4K連写ファイル

撮影後にピントを操作する

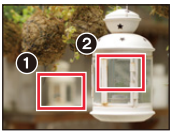
（ポストフォーカス / フォーカススタッキング）

使えるモード： P A S M

4K連写でピント位置を変えながら撮影し、撮影後にピント位置を選ぶことができます。
動きのない被写体に適した機能です。



自動でピントをずらしながら
4K フォト連写



合わせたいピント位置を
タッチ

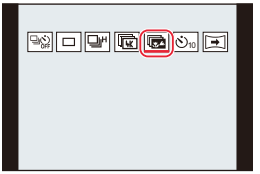
お好みのピント位置の写真が
完成

- 撮影時は UHS Speed Class 3 のカードをお使いください。
- フォーカススタッキングする場合は、三脚の使用をお勧めします。

1 [ ] ボタン（▼）を押す

2 ◀/▶ ボタンでポストフォーカスアイコン（[ ]）を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- お買い上げ時の設定では、[PF] / ([Fn4]) ボタンを押して、[ON] を選んでも手順 **1** 、**2** と同じ操作ができます。

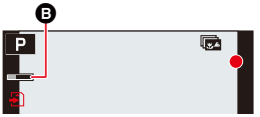


3 構図を決めて、シャッターボタンを半押しする

- オートフォーカスが働き、画面内のピント位置を検出します。（画面の端を除く）
- 画面内にピントが合う位置がない場合、フォーカス表示（A）が点滅し、撮影できません。

シャッターボタン半押しから撮影終了までは
- 被写体との距離や構図が変わらないようにしてください。

4 シャッターボタンを全押しして、撮影を開始する



- ピント位置を自動で変えながら撮影します。アイコン(B)が消えると、撮影は自動で終了します。
- 記録方式[MP4]の動画で記録されます。(音声は記録されません)
- オートレビューを設定している場合、ピントを合わせる位置を選ぶ画面が表示されます。(P112)

■ ポストフォーカス撮影を解除するには

手順2で[ ](単写)または[ ]を選ぶ**(P110)**

本機の温度について

- 周囲の温度が高い場合や、連続でポストフォーカス撮影をした場合は、[ ]が表示されたあと、撮影が停止することがあります。本機の温度が下がるまでお待ちください。

■ ポストフォーカス撮影の制限事項

- 4K フォトと同様の画質で撮影するため、撮影機能やメニュー設定に制限があります。
  詳しくは、103 ページの「4Kフォト撮影時のカメラの設定について」をお読みください。
- ポストフォーカス撮影時は、4Kフォトの制限事項に加え、以下が制限されます。
  - マニュアルフォーカス操作はできません
  - オートフォーカスモードと[AFS/AFF/AFC]の設定はできません
  - 動画撮影はできません
  - [デジタルズーム]は使用できません
  - 以下のカスタムメニューは設定できません
    [シャッター半押し AF]

こんなときは使えません

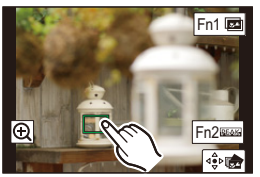
- 以下の場合、ポストフォーカス撮影は無効になります。
  - [フィルター設定]の[ラフモノクローム]/[シルキーモノクローム]/[ジオラマ]/[ソフトフォーカス]/[クロスフィルター]/[サンシャイン]
  - [多重露出]設定時
  - インターバル撮影時
  - コマ撮りアニメ撮影時

ピントを合わせる位置を選び、写真を保存する（ポストフォーカス）

1 再生画面で［▲］アイコンが付いた画像を選び、▲ボタンを押す

- アイコン［▲］をタッチしても同じ操作ができます。

2 ピントを合わせる位置をタッチする



- 選んだ位置にピントが合う写真がない場合は、赤い枠が表示されます。写真を保存できません。
- 画面の端は選択できません。

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲/▼/◀/▶/（◎）	タッチ	ピントの位置の選択 ● 拡大表示中は選択できません。
		表示の拡大
		表示の縮小（拡大表示中）
[4K] / ([Fn1])		フォーカススタッキング操作への切り換え（P113）
[QM] / ([Fn2])	PEAK	ピントが合っている部分に色を付けて表示（ピーキング） ● [PEAK OFF]→[PEAK L]（低）→[PEAK H]（高）の順に切り換わります。
[MENU/SET]		写真の保存

- 拡大表示中は、スライドバーをドラッグして、ピントを微調整できます。（◀/▶ ボタンでも同じ操作ができます）

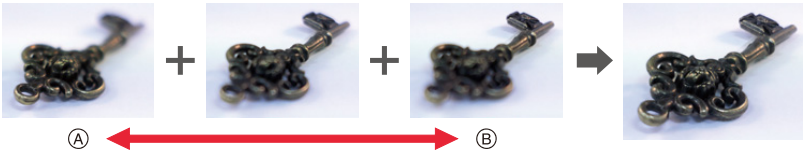
3 [ ]をタッチし、写真を保存する

- 写真はJPEG形式で保存されます。

こんなときは使えません

- 本機とテレビをHDMIマイクロケーブルで接続した場合、ポストフォーカスを設定できません。

複数の写真を合成し、ピントが合う範囲を広げる（フォーカススタッキング）



Ⓐ ピント：近い
Ⓑ ピント：遠い

1 「ピントを合わせる位置を選び、写真を保存する」(P112)の手順2のピントを合わせる位置を選ぶ画面で、[ ]をタッチする

- [4K] / ([Fn1]) ボタンを押しても、同じ操作ができます。

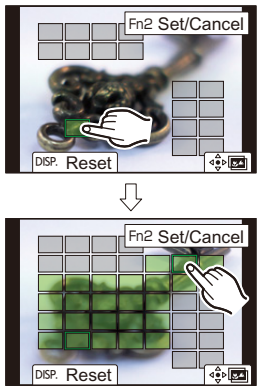
2 合成方法をタッチする

自動合成	合成に適した写真を自動で選び、1枚の写真に合成します。 ● 近距離側の写真を優先して選びます。 ● 合成が実行され写真が保存されます。
指定範囲合成	選択したピント位置の写真を1枚の写真に合成します。

（[指定範囲合成] 選択時）

3 ピントを合わせる位置をタッチする

- 2点以上の位置を選択してください。
- 選択した2点の間で、ピントの合う範囲が表示されます。
- 選択できない範囲がグレーで表示されます。



- 選択を解除するには、もう一度タッチしてください。
- 位置を続けて選択するには、画面をドラッグしてください。

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲/▼/◀/▶/	タッチ	位置の選択
[QM] / ([Fn2])	[設定/解除]	位置の設定/解除
[DISP]	[全範囲]	すべての位置を選択 （位置の選択前）
	[リセット]	すべての選択を解除 （位置の選択後）
[MENU/SET]		写真の合成・保存

4 [ ]をタッチし、写真を合成して保存する

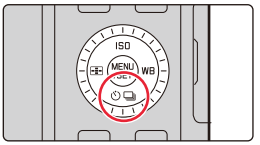
- 写真はJPEG形式で保存され、最も近い位置の写真のシャッタースピード、絞り、ISO感度などの撮影情報（Exif 情報）も記録されます。

- 手ブレによる画像のずれを自動で調整します。その場合、合成時に画角が僅かに狭くなります。
- 以下の場合は、不自然な写真に合成されることがあります。
  - 撮影中に被写体が動いたとき
  - 被写体間の距離の差が大きいとき
  - ボケ具合が大きいとき（絞り値を大きくして撮影すると、不自然さが軽減することがあります）
- 他の機器で撮影した画像は、フォーカススタッキングできない場合があります。

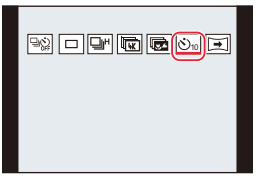
セルフタイマーを使って撮る

使えるモード：[A] [A] P A S M

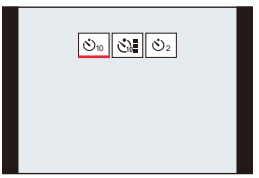
1 [⧉⏲] ボタン（▼）を押す



2 ◀/▶ ボタンでセルフタイマーアイコン（[⏲10] など）を選び、▲ ボタンを押す



3 ◀/▶ ボタンで動作設定を選び、[MENU/SET] ボタンを押す



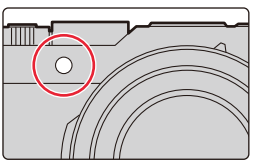
⏲10	10秒後に撮影します。
⏲10	10秒後に約2秒間隔で3枚撮影します。
⏲2	2秒後に撮影します。 ● 三脚使用時などシャッターボタンを押したときのカメラブレを防ぐのに便利です。

● セルフタイマーの時間は、撮影メニューの[セルフタイマー]でも設定できます。

4 シャッターボタンを半押しして ピントを合わせ、全押しして撮影する

● フォーカスと露出はシャッターボタン半押し時に固定されます。

● セルフタイマーランプが点滅後、撮影が始まります。



■ セルフタイマーを解除するには

ドライブモードから[□](単写)、または[OFF]を選ぶ(P97)

- セルフタイマーは電源を切っても解除されます。([セルフタイマー自動解除](P191)を[ON]に設定した場合)

- セルフタイマー撮影時は、三脚の使用をお勧めします。

こんなときは使えません

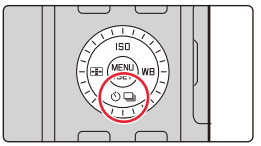
- 以下の場合、[10]に設定できません。
  - [フィルター設定]の[フィルターなし同時記録]を[ON]に設定したとき
  - ブラケット撮影時
  - [多重露出]設定時
- 以下の場合、セルフタイマーは無効になります。
  - 動画撮影時
  - インターバル撮影時
  - コマ撮りアニメ撮影時([自動撮影]設定時)

パノラマ写真を撮る

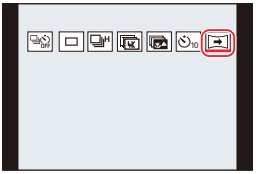
使えるモード： P A S M

カメラを動かしている間に連続撮影し、画像を合成することでパノラマ画像を撮影できます。

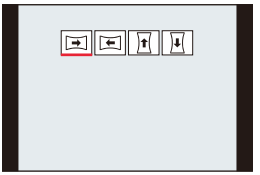
1 [ ] ボタン（▼）を押す



2 ◀/▶ ボタンでパノラマアイコン（[ ] など）を選び、▲ボタンを押す



3 ◀/▶ ボタンで撮影方向を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

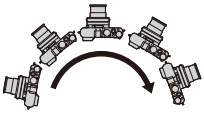


左→右	水平のガイドラインが表示されます。
右→左	
下→上	垂直のガイドラインが表示されます。
上→下	

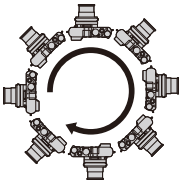
4 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせる

5 シャッターボタンを全押しし、画面上の矢印の方向へ小さな円を描くように本機を動かす

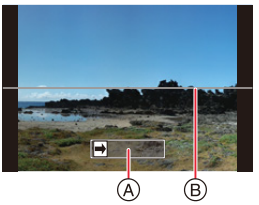
左から右へ撮影する場合



画像サイズ:標準の場合



画像サイズ:ワイドの場合



Ⓐ 撮影の方向と進み具合(目安)
Ⓑ 水平 / 垂直ガイド

- 一定の速度で本機を動かしてください。速すぎても遅すぎても、うまく撮影できない場合があります。

6 もう一度シャッターボタンを押して撮影を終了する

- 撮影中に途中でカメラの動きを止めても撮影を終了できます。
- ガイドの終わりまでカメラを動かしても撮影を終了できます。

画像効果(フィルター)を加えるには

お買い上げ時の設定では、コントロールリングを回して画像効果を設定できます。

❶ コントロールリングを回して、画像効果を選ぶ
❷ [MENU/SET] ボタンを押す

- 撮影メニューの [フィルター設定](P122)、またはタッチパネルの (P128)をタッチしても設定できます。
- 画像効果の調整や制限について詳しくは、122 ～ 128 ページをお読みください。

■ パノラマ写真の設定を変更する

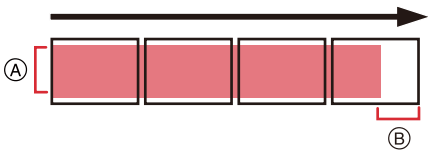
MENU ボタン→ [撮影]→[パノラマ設定]

撮影方向	撮影する向きを設定します。
画像サイズ	画角(画像サイズ)を設定します。 **[標準]、[ワイド]**

- パノラマ写真の横縦の記録画素数は、画像サイズや撮影方向、合成した写真の枚数により異なります。最大記録画素数は以下のとおりです。

画像サイズ	撮影方向	横	縦
標準	水平方向	8176 画素	1920 画素
	垂直方向	2560 画素	7680 画素
ワイド	水平方向	8176 画素	960 画素
	垂直方向	1280 画素	7680 画素

■ 撮影のテクニック



Ⓐ 揺れないように、撮影方向へカメラを動かす。(揺れが大きいと撮影できなかったり、出来上がりのパノラマ写真が細く(小さく)なったりします)

Ⓑ 撮影したい範囲の少し先までカメラを動かす。(最後の 1 コマは端まで記録されません)

■ 再生について

▲ ボタンを押すと、撮影時と同じ方向に自動でスクロール再生されます。

● スクロール再生中は、以下の操作ができます。

▶/❚❚	▲	パノラマ再生開始 / 一時停止※
■	▼	停止

※ 一時停止中は、画面をドラッグしてスクロールを進めたり戻したりすることができます。
スクロールバーをタッチすると、タッチした位置まで再生位置をジャンプします。

■ パノラマを解除するには

ドライブモードから [□]（単写）、または [OFF] を選ぶ（P97）

● ズーム位置は W 端に固定されます。
● シャッター方式は、電子シャッターに固定されます。
● パノラマ撮影時、絞り値とシャッタースピードをカメラが自動的に設定します。絞りリングやシャッタースピードダイヤルの設定は無効になります。
● ピント、ホワイトバランス、露出は、1コマ目の写真に最適な値で固定されます。このため、撮影の途中でピントや明るさが極端に変わる場合は、パノラマ写真全体で適切なピントや明るさにならないことがあります。
● 複数の写真から1枚のパノラマ写真に合成するため、被写体がゆがんだり、つなぎ目が目立ったりする場合があります。

こんなときは使えません

● 以下の場合、パノラマは無効になります。
- [多重露出] 設定時
- インターバル撮影時
- コマ撮りアニメ撮影時

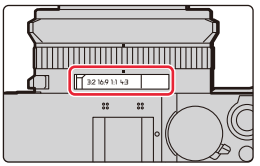
● 以下の被写体や撮影状況などでは、パノラマ写真が作成できなかったり、適切に合成されなかったりする場合があります。
- 単調な色や模様が続く被写体（空や砂浜など）
- 動いている被写体（人やペット、自動車、波、風に揺れる花など）
- 短時間で色や模様が変化する被写体（ディスプレイに映った画像など）
- 暗い場所
- 蛍光灯やろうそくなど、光源がちらついている場所

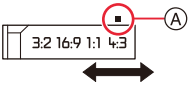
画像横縦比を切り換える

使えるモード：A A+ P A S M

アスペクト切換スイッチで写真の横縦比を簡単に切り換えることができます。

アスペクト切換スイッチを操作して、画像横縦比を切り換える





Ⓐ 指標に合わせる

4:3	4:3テレビの横縦比
1:1	正方形横縦比
16:9	ハイビジョンテレビなどの横縦比
3:2	一般のフィルムカメラの横縦比

こんなときは使えません

- パノラマ撮影時は、アスペクト切換スイッチの設定が無効になります。

画像効果を変えて撮る(フィルター)

使えるモード: P A S M

画像に効果を加えて撮影することができます。
パノラマ撮影時にも画像効果を加えることができます。

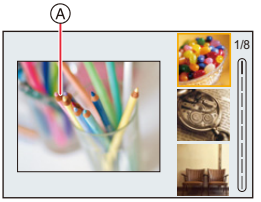
1 メニューを設定する

MENU ボタン → [撮影]/[動画] → [フィルター設定] → [フィルター効果] → [設定]

2 ▲/▼ボタンで画像効果(フィルター)を選ぶ

Ⓐ プレビュー表示

- 作例写真をタッチして選ぶこともできます。



3 [MENU/SET] ボタンを押す

画像効果の説明を表示する

画像効果選択画面で [DISP] ボタンを押す

- ガイド表示では、各画像効果の説明が表示されます。

- 画像効果を設定すると、以下の設定は固定されます。
  - ホワイトバランス: [AWB]
  - フォトスタイル: [スタンダード]
  - 色空間: [sRGB]
  - ハイライトシャドウ: [スタンダード]
  - iD レンジコントロール: [OFF]
  - HDR: [OFF]
- 画像効果によっては撮影画面がコマ落としのように表示されます。
- 以下の場合、[ラフモノクローム]/[シルキーモノクローム]/[ソフトフォーカス]/[クロスフィルター]/[サンシャイン] が使用できません。
  - 動画撮影時
- ISO感度の上限は[ISO3200]になります。
- [ハイダイナミック]設定時は、ISO感度が[AUTO]に固定されます。
- パノラマモードに設定した場合は、以下の制限があります。
  - [トイフォト]/[トイポップ]/[ジオラマ]/[サンシャイン]は使用できません。
  - [ラフモノクローム]/[シルキーモノクローム]/[ソフトフォーカス]/[クロスフィルター]の画像効果は、撮影中の画面に反映されません。
  - [ハイキー]設定時は、明るさが不十分な場面で効果が現れにくいことがあります。

画像効果の種類

ポップ	レトロ	オールドデイズ
ハイキー	ローキー	セピア
モノクローム	ダイナミック モノクローム	ラフモノクローム
シルキー モノクローム	インプレッシブ アート	ハイダイナミック
クロスプロセス	トイフォト	トイポップ
ブリーチバイパス	ジオラマ	ソフトフォーカス
ファンタジー	クロスフィルター	ワンポイント カラー
サンシャイン		

■ [ジオラマ] でぼかし方を設定する

1 [ ] をタッチし、[ ] を選ぶ

2 ▲/▼ ボタンまたは ◀/▶ ボタンでぼかさない部分を移動する

- 撮影画面で画面をタッチしても、ぼかさない部分を移動できます。
- 撮影する向き(ぼかす向き)を設定するには、[ ] をタッチしてください。

3 コントロールダイヤルを回してぼかさない部分の大きさを変更する

- 画面をピンチアウト/ピンチインしても、拡大 / 縮小できます。
- ぼかさない部分の設定を初期設定に戻すには、[DISP] ボタンを押してください。

4 [MENU/SET] ボタンを押して決定する

- 動画に音声は録音されません。
- 動画は約 1/10の時間で記録されます。(10 分間撮影した場合、動画記録時間は約 1 分になります)表示される記録可能時間は約 10倍になります。
- 動画撮影を短い時間で終了すると、一定の時間まで撮影を続けることがあります。

■ [ワンポイントカラー] で残したい色を設定する

1 [ ] をタッチし、[ ] を選ぶ

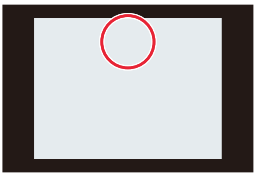
2 ▲/▼/◀/▶ ボタンで枠を移動し、残す色を選ぶ

- 画面をタッチしても、残す色を選択できます。
- 枠を中央に戻すには、[DISP] ボタンを押してください。

3 [MENU/SET] ボタンを押して決定する

- 被写体によっては、設定した色が残らない場合があります。

■ [サンシャイン] で光源の位置と大きさを設定する



1 [ ] をタッチし、[ ] を選ぶ

2 ▲/▼/◀/▶ ボタンで光源の中心の位置を移動する

- 画面をタッチして光源の位置を移動することもできます。

光源の中心を置くときのポイント

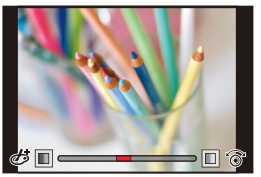
より自然な仕上がりにするには、画像の外に光源の中心を置いてください。

3 コントロールダイヤルを回して光源の大きさを調整する

- ピンチアウト/ピンチインしても拡大/縮小できます。
- 光源の設定を初期設定に戻すには、[DISP] ボタンを押してください。

4 [MENU/SET] ボタンを押す

画像効果を好みに合わせて調整する



1 ▶ ボタンを押す

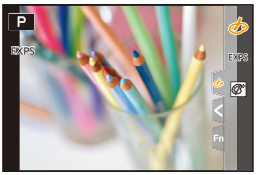
2 コントロールダイヤルを回して設定する

- [MENU/SET] ボタンを押すと撮影画面に戻ります。

画像効果	調整できる項目			
ポップ	鮮やかさ	落ち着いた色合い	⟺	派手な色合い
レトロ	色合い	黄色っぽい色	⟺	赤っぽい色
オールドデイズ	コントラスト	明暗差が小さい	⟺	明暗差が大きい
ハイキー	色合い	ピンクっぽい色	⟺	水色っぽい色
ローキー	色合い	赤っぽい色	⟺	青っぽい色
セピア	コントラスト	明暗差が小さい	⟺	明暗差が大きい

画像効果	調整できる項目			
モノクローム	色合い	黄色っぽい色	⟺	青っぽい色
ダイナミックモノクローム	コントラスト	明暗差が小さい	⟺	明暗差が大きい
ラフモノクローム	粒子感	粒子感が弱い	⟺	粒子感が強い
シルキーモノクローム	ボケ具合	ボケ具合が小さい	⟺	ボケ具合が大きい
インプレッシブアート	鮮やかさ	白黒	⟺	派手な色合い
ハイダイナミック	鮮やかさ	白黒	⟺	派手な色合い
クロスプロセス	色合い	緑っぽい色 / 青っぽい色 / 黄色っぽい色 / 赤っぽい色		
トイフォト	色合い	オレンジっぽい色	⟺	青っぽい色
トイポップ	周辺光量が落ちる範囲	小さい	⟺	大きい
ブリーチバイパス	コントラスト	明暗差が小さい	⟺	明暗差が大きい
ジオラマ	鮮やかさ	落ち着いた色合い	⟺	派手な色合い
ソフトフォーカス	ボケ具合	ボケ具合が小さい	⟺	ボケ具合が大きい
ファンタジー	鮮やかさ	落ち着いた色合い	⟺	派手な色合い
クロスフィルター	× - ✕	輝きが短い	⟺	輝きが長い
	✕ - ✹	輝きが少ない	⟺	輝きが多い
	↓✕↓	輝きを左に回転	⟺	輝きを右に回転
ワンポイントカラー	残す色の量	少し色を残す	⟺	多く色を残す
サンシャイン	色合い	黄色っぽい色 / 赤っぽい色 / 青っぽい色 / 白っぽい色		

タッチパネルで設定を変える



❶ [ ]をタッチする

❷ 設定する項目をタッチする

[ ]:画像効果の入/切

[EXPS]:画像効果(フィルター)

[ ]:画像効果の調整

❸ スライドバーをドラッグして設定する

- [MENU/SET] ボタンを押すと撮影画面に戻ります。

画像効果を加えない写真を同時に記録する(フィルターなし同時記録)

1回シャッターボタンを押すと、画像効果を加えた写真と加えない写真を同時に撮影できます。

MENU ボタン→ [撮影]→[フィルター設定]→[フィルターなし同時記録]

設定:[ON]、[OFF]

- 画像効果あり、画像効果なしの順で撮影されます。
- オートレビュー時は、画像効果を加えた画像が表示されます。

こんなときは使えません

- 以下の場合、[フィルターなし同時記録]が使用できません。
  - 動画撮影中の写真記録
  - 4Kフォト撮影時
  - ポストフォーカス撮影時
  - 連写撮影時
  - パノラマ撮影時
  - [クオリティ]を[RAW]、[RAW]、[RAW]に設定したとき
  - ブラケット撮影時
  - インターバル撮影時
  - コマ撮りアニメ撮影時

設定を自動的に変えながら撮る(ブラケット撮影)

使えるモード： P A S M

シャッターボタンを押すと、自動的に設定を変えて複数枚の画像を撮影できます。

1 メニューを設定する

MENU ボタン → [撮影] → [ブラケット] → [ブラケット種類]

露出ブラケット	シャッターボタンを押すと、露出を変えながら撮影します。 (P131)
絞りブラケット	シャッターボタンを押すと、絞り値を変えながら撮影します。 (P131) ● 絞り優先AEモード時、またはマニュアル露出モードでISO感度を[AUTO]に設定した場合に選択できます。
FOCUS フォーカスブラケット	シャッターボタンを押すと、ピント位置を変えながら撮影します。(P132)
WB ホワイトバランスブラケット	1回シャッターボタンを押すと、ホワイトバランスの調整値を変えた画像を自動的に3枚撮影します。(P132)
アスペクトブラケット	1回シャッターボタンを押すと、4種類の画像横縦比(4:3、3:2、16:9、1:1)の写真を自動的に4枚撮影します。 (シャッター音が1回だけ出ます) ● それぞれの横縦比で写る範囲が表示されます。

2 ▲/▼ ボタンで[詳細設定]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

- [詳細設定]については、各機能のページをお読みください。アスペクトブラケットに[詳細設定]はありません。
- シャッターボタンを半押ししてメニューを終了してください。

3 ピントを合わせて撮影する

- 露出ブラケット設定時は、設定枚数分がすべて撮影されるまでブラケット表示が点滅します。設定枚数分を撮影する前にブラケットの設定を変更したり、電源スイッチを[OFF]にした場合は、1枚目からの撮影になります。

■ ブラケットを解除するには

手順**1**で[OFF]を設定する。

- アスペクトブラケットに設定した場合は、以下のようになります。
  - [記録画素数]を[S]に設定したときは、自動的に[M]に変わります。
  - シャッタースピード、絞り値、ピント、ISO 感度、露出補正、および [ホワイトバランス] の設定は、4枚とも共通です。

こんなときは使えません

- 以下の場合、ブラケット撮影は無効になります。
  - [フィルター設定]の[ラフモノクローム]/[シルキーモノクローム]/[ジオラマ]/[ソフトフォーカス]/[クロスフィルター]/[サンシャイン]
  - 動画撮影時
  - 4Kフォト撮影時
  - ポストフォーカス撮影時
  - パノラマ撮影時
  - [多重露出]設定時
  - インターバル撮影時
  - コマ撮りアニメ撮影時([自動撮影]設定時)
  - フラッシュ撮影時(ホワイトバランスブラケットおよびアスペクトブラケットを除く)
- 以下の場合、ホワイトバランスブラケットは無効になります。
  - スナップショットプラスモード
  - [フィルター設定]設定時
  - 連写撮影時
  - [クオリティ]を[RAW■]、[RAW▲]、[RAW]に設定したとき
- 以下の場合、アスペクトブラケットは無効になります。
  - [フィルター設定]の[トイフォト]/[トイポップ]
  - 連写撮影時
  - [クオリティ]を[RAW■]、[RAW▲]、[RAW]に設定したとき

露出ブラケット

■ 詳細設定（129 ページの手順2）

補正幅	撮影枚数と露出補正幅を設定します。 [3・1/3]（3枚撮影・1/3 EV 幅）～ [7・1]（7枚撮影・1 EV 幅）
ブラケット順序	画像の撮影順を設定します。
単写時撮影方法 ※	[□]：シャッターボタンを押すごとに1枚撮影。 [□↖]：1回シャッターボタンを押すと設定枚数すべてを撮影。

※ 連写設定時は設定できません。シャッターボタンを押し続けると設定枚数まで連続撮影されます。

補正幅：[3・1/3]、ブラケット順序：[0/－/＋] 設定時の例

1枚目

±0 EV

2枚目

－1/3 EV

3枚目

＋1/3 EV

- 露出補正をしてから露出ブラケット撮影をする場合は、補正された露出値を基準にして撮影されます。

絞りブラケット

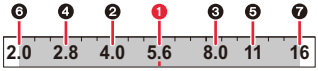
撮影モード： A M

■ 詳細設定（129 ページの手順2）

撮影枚数	[3]、[5]：開始時の絞り値を基準に、前後の絞り値で設定枚数を撮影。 [ALL]：　すべての絞り値で撮影。

- 連写設定時は、シャッターボタンを押し続けると設定枚数まで連続撮影されます。

例



開始位置を F5.6 に設定した場合

❶ 1枚目、❷ 2枚目、❸ 3枚目・・・❼ 7枚目

フォーカスブラケット

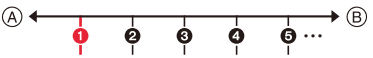
■ 詳細設定(129 ページの手順2)

補正幅	ピント合わせの幅を設定します。
撮影枚数 ※	撮影枚数を設定します。
ブラケット順序	[0/ー/+]: 開始時のピント位置を基準に、前後にピント位置をずらして撮影します。 [0/+]: 開始時のピント位置を基準に、遠距離側へピント位置をずらして撮影します。

※ 連写設定時は設定できません。シャッターボタンを押している間、連続撮影されます。

ブラケット順序:[0/ー/+]設定時の例

ブラケット順序:[0/+]設定時の例



Ⓐ フォーカス:近
Ⓑ フォーカス:遠
❶ 1枚目、❷ 2枚目・・・❺ 5枚目・・・

- フォーカスブラケットで撮影した写真は、グループ画像として表示されます。

ホワイトバランスブラケット

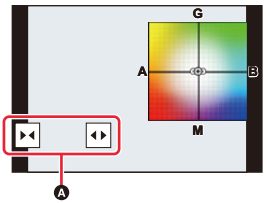
■ 詳細設定(129 ページの手順2)

コントロールダイヤルを回して補正幅を設定し、[MENU/SET]ボタンを押す

:横方向(A～B)

:縦方向(G～M)

- Ⓐ をタッチしても補正幅を設定できます。



一定の間隔で自動的に撮影する(インターバル撮影)

使えるモード: [A] [A] P A S M

時間経過を追って動植物などの被写体を自動的に撮影し、動画を作成できます。

- **あらかじめ時計を設定してください。**(P31)
- 撮影した写真はグループ画像として表示されます。

1 メニューを設定する

MENU ボタン→ [撮影]→[インターバル撮影]

撮影間隔設定	ON: 撮影開始から次の撮影開始までの時間を設定します。 OFF: 撮影終了後、間隔を空けずに次の撮影を開始します。	
開始時刻	**即時開始**	シャッターボタンを全押しすると、撮影を開始します。
	開始時刻設定	最大23時間59 分後まで設定可能です。 **◀/▶ボタンで項目(時・分)を選び、▲/▼ボタンで開始時刻を設定し、[MENU/SET] ボタンを押す**
撮影枚数 **撮影間隔** ※1	撮影枚数と撮影間隔を設定できます。 ◀/▶: 項目(枚・分・秒)選択 ▲/▼: 設定 [MENU/SET]: 決定	

※1 [撮影間隔設定]が[ON]の場合に設定できます。

- 設定画面に、撮影の終了予定時刻が表示されます。
  [撮影間隔設定]を[OFF]に設定した場合は、以下の条件で表示されます。
  - 撮影モード:シャッター優先 AE モードまたはマニュアル露出モード
  - フォーカスモード:[MF]
- 撮影条件によっては、設定した撮影間隔や撮影枚数どおりに撮影できなかったり、終了予定時刻に終了しなかったりする場合があります。

2 ▲/▼ ボタンで [開始] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

3 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせる

4 シャッターボタンを全押しする

- 自動的に撮影が開始されます。
- 撮影待機中に一定時間何も操作をしないと、電源が自動的に切れます。電源が切れてもインターバル撮影は継続され、撮影開始時刻になると自動的に電源が入ります。手動で電源を入れる場合はシャッターボタンを半押ししてください。
- 撮影待機中の操作（電源が入った状態）

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
[4K] / ([Fn1])※2	※3	一時停止または終了の選択画面を表示
		再開または終了の選択画面を表示（一時停止中）

※2 ［撮影間隔設定］を［OFF］に設定して撮影するときは、撮影中でも[4K] / ([Fn1])を押すことができます。
[4K] / ([Fn1]) を押したときの画像の撮影（露光）が終了してから、選択画面を表示します。
※3 ［撮影間隔設定］を［OFF］に設定して撮影するときは、タッチ操作はできません。

5 動画の作成方法を選ぶ

- 記録方式は [MP4] になります。

画質設定	動画の画質を設定します。
フレームレート	1秒当たりのコマ数を設定します。数字が大きいほど滑らかな動画になります。
動画化順番	**[撮影順]**：撮影した順番で画像をつなげます。 **[逆順]**　：撮影したのとは逆の順番で画像をつなげます。

6 ▲/▼ ボタンで［実行］を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 再生メニューの［インターバル動画作成］からも動画を作成できます。（P220）

- システム用途(監視カメラ)の機能ではありません。
- ズームを使うと、レンズ鏡筒が伸びてカメラが傾くおそれがあります。三脚を使用するなどして、カメラを固定してください。
- 以下の場合、インターバル撮影は一時停止します。
  - バッテリー残量がなくなったとき
  - 電源スイッチを[OFF]にしたとき

  ([撮影間隔]の設定が31秒以上の場合)
  設定時間内であれば、一時停止中にバッテリーやカードを交換し、電源を入れて再開できます。
  (ただし、カードを交換してから撮影した画像は、別のグループ画像として記録されます)
  なお、バッテリーやカードを交換するときは、電源スイッチを[OFF]にしてください。
- [撮影間隔]を長く設定し、撮影待機中に電源が自動的に切れる場合は、オートフォーカスでインターバル撮影することをお勧めします。
- 画質設定のサイズを[4K]に設定して動画を作成する場合、記録時間が29分を超える動画は作成できません。
  - SDHCメモリーカード使用時は、ファイルサイズが4 GBを超える場合も動画を作成できません。
  - SDXCメモリーカードを使用すると、ファイルサイズが4 GBを超えても動画を作成できます。
- 画質設定のサイズを[FHD]または[HD] に設定して動画を作成する場合、記録時間が29分を超える、またはファイルサイズが4 GBを超える動画は作成できません。

こんなときは使えません

- 以下の場合、[インターバル撮影]が使用できません。
  - パノラマ撮影時
  - [多重露出]設定時
  - コマ撮りアニメ撮影時

ストップモーション動画の作成(コマ撮りアニメ)

使えるモード: P A S M

写真をつなぎ合わせてストップモーション動画を作成します。

- **あらかじめ時計を設定してください。**(P31)
- 撮影した写真はグループ画像として表示されます。

1 メニューを設定する

MENU ボタン→ [撮影]→[コマ撮りアニメ]

自動撮影	ON	設定した撮影間隔で自動的に写真を撮影します。
	OFF	1コマずつ手動で写真を撮影します。
撮影間隔	([自動撮影]を[ON]に設定した場合) ◀/▶:項目(秒)選択、▲/▼:設定、[MENU/SET]:決定	

2 ▲/▼ボタンで[開始]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

3 ▲/▼ボタンで[新しく撮る]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

4 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせる

5 シャッターボタンを全押しする

6 (2枚目以降を撮影する場合)
被写体を動かし、構図を決めて撮影する

- 同様に撮影を繰り返してください。
- 撮影中に電源を切ると、電源を入れたときに撮影再開のメッセージが表示されます。[はい]を選ぶと続きから撮影できます。
- 最大9999コマまで撮影できます。

素材を上手に撮影するために

- 撮影画面には2つ前までの撮影画像が表示されます。動かす量の参考にしてください。
- 撮影した画像を確認するには、[▶]ボタンを押してください。不要な画像は[🗑]ボタンを押して消去できます。撮影画面に戻るには、もう一度[▶]ボタンを押してください。

7 [ ]をタッチして撮影を終了する

- 撮影メニューから[コマ撮り撮影アニメ]を選び、[MENU/SET] ボタンを押しても終了できます。
- [自動撮影]を[ON]に設定した場合は、確認画面で[終了]を選んでください。([一時停止]を選んだ場合、撮影を再開するにはシャッターボタンを全押ししてください)
- 撮影終了後、続けて動画を作成する確認画面が表示されます。作成する場合は、[はい]を選んでください。

8 動画の作成方法を選ぶ

- 記録方式は[MP4]になります。

画質設定	動画の画質を設定します。
フレームレート	1秒当たりのコマ数を設定します。数字が大きいほど滑らかな動画になります。
動画化順番	**[撮影順]**：撮影した順番で画像をつなげます。 **[逆順]**：　撮影した順番とは逆の順番で画像をつなげます。

9 ▲/▼ボタンで[実行]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

- 再生メニューの[コマ撮りアニメ作成]からも動画を作成できます。(P220)

■ 撮影済みのコマ撮りグループに画像を追加する

手順**3**で[続きから撮る]を選ぶと、[コマ撮りアニメ]で撮影したグループ画像が表示されます。グループ画像を選んで[MENU/SET] ボタンを押してください。

- フラッシュ撮影など、撮影条件によっては撮影に時間がかかる場合があります。このため、設定した撮影間隔どおりに自動撮影できないことがあります。
- 画質設定のサイズを[4K]に設定して動画を作成する場合、記録時間が29 分を超える動画は作成できません。
  - SDHCメモリーカード使用時は、ファイルサイズが4 GBを超える場合も動画を作成できません。
  - SDXCメモリーカードを使用すると、ファイルサイズが4 GBを超えても動画を作成できます。
- 画質設定のサイズを [FHD] または [HD] に設定して動画を作成する場合、記録時間が 29 分 を超える、またはファイルサイズが 4 GB を超える動画は作成できません。
- 1 枚だけ撮影した画像を[続きから撮る]で選ぶことはできません。

こんなときは使えません

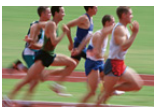
- 以下の場合、[コマ撮りアニメ]が使用できません。
  - パノラマ撮影時
  - [多重露出]設定時
  - インターバル撮影時

手ブレを補正する

使えるモード： P A S M

本機では、手ブレを自動で感知して補正します。

MENU ボタン → [撮影]/ [動画] → [手ブレ補正]

(通常)	上下、左右の動きに対する手ブレを補正します。	
(流し撮り)	上下の動きに対する手ブレを補正します。流し撮り（一定の方向に向かって動いている被写体の動きに合わせて、本機を振りながら撮影する方法）するときに適しています。	
OFF	手ブレ補正が働きません。	

手ブレを防ぐために

手ブレ警告表示[ ]が表示されたときは、手ブレ補正、三脚、セルフタイマーなどをお使いください。

- 特に以下の場合にはシャッタースピードが遅くなります。シャッターを切ったあと、画像が表示されるまで本機を動かさないでください。三脚の使用をお勧めします。
  - スローシンクロ
  - 赤目軽減スローシンクロ
  - シャッタースピードを遅くしたとき

- 三脚を使用するときは、手ブレ補正を[OFF]にすることをお勧めします。
- 以下の場合、手ブレ補正が効きにくくなることがあります。シャッターボタンを押し込む際は、手ブレにお気をつけください。
  - 手ブレが大きいとき
  - ズーム倍率が高いとき
  - デジタルズーム使用時
  - 動きのある被写体を追いながら撮影するとき
  - 室内や薄暗い場所での撮影で、シャッタースピードが遅くなるとき
- 以下の場合、[ ]設定時の流し撮りの効果が出にくくなります。
  - 夏の日中など、明るいところ
  - シャッタースピードが1/100秒より速い場合
  - 被写体の動きが遅く、本機を振る速度があまりにも遅い場合(背景が流れません)
  - 本機が被写体の動きにうまく追いつけていない場合

こんなときは使えません

- パノラマモードでは、[ ](通常)にしていても、[ ](流し撮り)に切り換わります。
- 次の場合は、[ ](流し撮り)にしていても、[ ](通常)に切り換わります。
  - 動画撮影時
  - 4Kフォト撮影時
  - ポストフォーカス撮影時

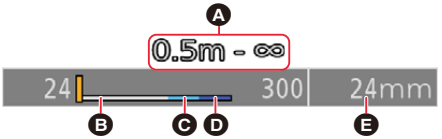
ズームを使って撮る

使えるモード： P A S M

ズームの種類と用途

■ 画面表示

プログラム AE モードで、光学ズーム、iA ズームおよびデジタルズームを併用したときの表示例



Ⓐ 撮影可能範囲表示（ピントの合う範囲）
Ⓑ 光学ズームの範囲
Ⓒ iA ズームの範囲
Ⓓ デジタルズームの範囲
Ⓔ 現在のズーム位置（35 mm フィルムカメラ換算の焦点距離）

光学ズーム

画質を劣化させずに拡大します。

最大倍率：3.1 倍

こんなときは使えません

- パノラマ撮影時はズームが使用できません。

EX 光学ズーム

EX付きの記録画素数(P167)を選ぶと働きます。画質を劣化させずに光学ズームより拡大します。

最大倍率: 6.2 倍(光学ズームの倍率を含みます。また記録画素数により変わります)

こんなときは使えません

- [フィルター設定]の[トイフォト]、[トイポップ]
- 4K フォト撮影時
- ポストフォーカス撮影時
- パノラマ撮影時
- [HDR]を[ON]に設定したとき
- [多重露出]設定時
- [i手持ち夜景]を[ON]に設定したとき
- [iHDR]を[ON]に設定したとき
- [クオリティ]を[RAW]に設定したとき
- [記録枠表示]を[ ]に設定したとき
- 動画撮影時

iA ズーム

画質の劣化を抑えつつ、元のズーム倍率の 2倍までズーム倍率を上げることができます。

MENU ボタン→ [撮影]/ [動画] →[iA ズーム]

設定: [ON]、[OFF]

- スナップショットモード時は自動で働きます。
- [記録画素数]を[S]に設定した場合は、元のズーム倍率の 1.5 倍までズーム倍率を上げることができます。

こんなときは使えません

- [フィルター設定]の[インプレッシブアート]、[トイフォト]、[トイポップ]
- パノラマ撮影時
- [HDR]を[ON]に設定したとき
- [多重露出]設定時
- [i手持ち夜景]を[ON]に設定したとき
- [iHDR]を[ON]に設定したとき
- [クオリティ]を[RAW]、[RAW]、[RAW]に設定したとき

デジタルズーム

使えるモード： P A S M

画質は拡大するたびに劣化しますが、元のズーム倍率の最大４倍まで拡大できます。

MENU ボタン→ [撮影]/[動画]→[デジタルズーム]

設定：[ON]、[OFF]

- iAズーム使用時、デジタルズームの倍率が最大２倍までになります。
- デジタルズーム使用時は三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。
- デジタルズーム領域では、AFエリアが中央で大きく表示されます。

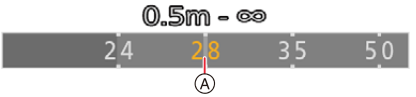
こんなときは使えません

- **[モニター表示速度]を[ECO30fps]に設定したとき（お買い上げ時の設定）**
- [EVF表示速度]を[ECO30fps]に設定したとき
- [フィルター設定]の[インプレッシブアート]、[トイフォト]、[トイポップ]、[ジオラマ]
- [クオリティ]を[RAW]、[RAW]、[RAW]に設定したとき
- ポストフォーカス撮影時
- パノラマ撮影時
- [HDR]を[ON]に設定したとき
- [多重露出]設定時

ステップズーム

一般的な単焦点レンズの焦点距離(35 mmフィルムカメラ換算)の画角(写せる角度)をイメージしやすいように、ズームの動作を設定できます。ステップズームを使うと、カメラのレンズ交換のように、ズーム倍率を操作できます。

- お買い上げ時の設定では、以下の撮影モードでコントロールリングを回すと、ステップズームを使うことができます。
  - スナップショットモード
  - プログラム AEモード
  - 絞り優先 AEモード



Ⓐ 現在のズーム位置(35 mm フィルムカメラ換算の焦点距離)

- カスタムメニュー(操作)の[コントロールリング]を[ステップズーム]に設定すると、他のモードでもステップズームが使えるようになります。(P54)

■ ズームレバーでステップズームを使う

カスタムメニュー(操作)の[ズームレバー]を[ステップズーム]に設定すると、ステップズームを使うことができます。(P186)

こんなときは使えません

- マニュアルフォーカス時は、コントロールリングでステップズームを使用できません。
- 以下の場合、ステップズームが使用できません。
  - 動画撮影時
  - [4Kプリ連写]で撮影時
  - パノラマ撮影時

タッチ操作でズームを使う(タッチズーム)

1 [ ]をタッチする

2 [T/W]をタッチする

- スライドバーが表示されます。

3 スライドバーをドラッグして、ズーム操作する

- タッチする位置により、ズーム速度は変わります。

[▼]/[▲]	ゆっくりズームする
[⏷]/[⏶]	速くズームする

- タッチズーム操作を終了するには、もう一度[T/W]をタッチしてください。

フラッシュライト(付属)を使って撮る

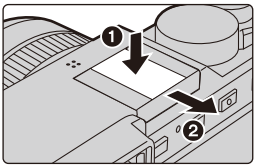
使えるモード： P A S M

- 本項目では、付属のフラッシュライトを使って説明しています。
- 付属以外の外部フラッシュの取り付け方について詳しくは、外部フラッシュの取扱説明書をお読みください。

フラッシュを取り付ける

■ ホットシューカバーを取り外す

お買い上げ時、ホットシューにはホットシューカバーが取り付けられています。



ホットシューカバーを矢印❶の方向に押しながら、矢印❷の方向に引いて取り外す

- ご使用にならないときは、必ずホットシューカバーを取り付けてください。
- ホットシューカバーの紛失にお気をつけください。

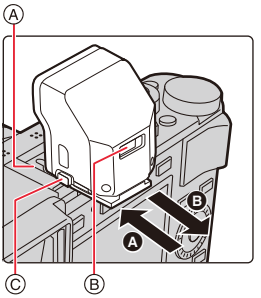
■ フラッシュを取り付ける

1 本機とフラッシュの電源スイッチを [OFF] にする

2 本機のホットシューに、フラッシュを「カチッ」と音がするまで確実に奥まで差し込む(Ⓐ)

- 撮影時は、本機とフラッシュの電源スイッチを [ON] にしてください。

Ⓐ ホットシュー
Ⓑ 電源スイッチ
Ⓒ ロック解除ボタン



■ フラッシュを取り外す

1 本機とフラッシュの電源スイッチを [OFF] にする

2 ロック解除ボタンを押しながら、フラッシュを矢印の方向に引いて取り外す(Ⓑ)

- ゆっくりと丁寧に取り外してください。
- ホットシューカバーを元の位置に取り付けてください。
- 取り外したフラッシュはソフトケースに収納してください。

以下の場合、発光禁止([⊛])に固定されます

- 動画撮影時
- 4Kフォト撮影時
- ポストフォーカス撮影時
- パノラマ撮影時
- 電子シャッター使用時
- [フィルター設定]の[フィルター効果]で画像効果を設定したとき
- [サイレントモード]を[ON]に設定したとき
- [HDR]を[ON]に設定したとき

本体との通信機能のない市販の外部フラッシュを使う場合

- 外部フラッシュ側で露出を設定してください。
- 撮影モードは、絞り優先 AE モードまたはマニュアル露出モードにしてください。
  絞り値と ISO 感度の設定を本機側と外部フラッシュ側で合わせてください。

■ ISO感度 [AUTO] 設定時のフラッシュ撮影可能範囲

ズームを使わずに、至近距離(W端付近)でフラッシュを使って撮影すると、画像の端が暗くなることがあります。少しズームすると改善することがあります。

W 端時	T 端時
約 60 cm ～約 14.1 m※	約 30 cm ～約 8.5 m※

※ フラッシュライトを装着し、ISO感度を AUTO、[ISOオート上限設定(写真)]を[AUTO]に設定した場合

- 外部フラッシュ装着時も本機の絞り値やシャッタースピード、ISO感度を設定できます。
- 広角時に近くで撮影すると、フラッシュ光がレンズで遮られ、画面の下部が暗くなる場合があります。
- バッテリーが少ないときや撮影を繰り返したときは、フラッシュの充電に時間がかかることがあります。フラッシュ充電中は、フラッシュアイコンが赤に点滅し、シャッターボタンを全押ししても、撮影できません。
- フラッシュに物を近づけないでください。熱や光で変形、変色する場合があります。
- 市販の外部フラッシュを使用する場合、シンクロ端子が高圧のもの、極性が逆のもの、または本体との通信機能のあるものは使用しないでください。本機の故障や誤動作の原因になります。
- 外部フラッシュ装着時は、外部フラッシュだけを持たないようにしてください。脱落のおそれがあります。
- 詳しくは、外部フラッシュの取扱説明書をお読みください。

フラッシュの機能を設定する

● 撮影メニューの[フラッシュ設定]は、外部フラッシュ装着時に使うことができます。

発光モードを切り換える

使えるモード： P A S M

発光量を自動で設定するか、手動で設定するかを選びます。

1 **メニューを設定する**

MENU ボタン → [撮影] → [フラッシュ設定] → [発光モード]

TTL	カメラが自動的にフラッシュの発光量を設定します。
マニュアル	フラッシュの発光量を手動で設定します。[TTL]では発光量が大きくなりがちな暗いシーンなどでも、意図どおりの撮影ができます。 ● [マニュアル]に設定すると、画面のフラッシュアイコンに光量比([1/1]など)が表示されます。

2 **([マニュアル]設定時)メニューを設定する**

MENU ボタン → [撮影] → [フラッシュ設定] → [マニュアル発光量設定]

3 **◀/▶ ボタンで発光量を設定し、[MENU/SET]ボタンを押す**

フラッシュモードを切り換える

使えるモード： [A] [A+] [P] [A] [S] [M]

撮影内容に合わせて、フラッシュの発光方法を設定します。

MENU ボタン → [撮影] → [フラッシュ設定] → [フラッシュモード]

：強制発光 **：赤目軽減強制発光 ※**	フラッシュが強制的に発光します。 ● **逆光時または蛍光灯などの照明の下に被写体があるときなどに適しています。**
：スローシンクロ **：赤目軽減スローシンクロ ※**	フラッシュ発光とともにシャッタースピードを遅くして背景の夜景なども明るく写します。 ● **夜景を背景に人物を撮影するときなどに適しています。** ● **シャッタースピードを遅くすると画像がブレることがあります。三脚の使用をお勧めします。**
：発光禁止	どのような撮影状況でもフラッシュが発光しません。 ● **フラッシュ禁止の場所で撮影するときに適しています。**

※ [フラッシュ設定] を以下の設定にしてください。
– [発光モード]: [TTL]

- スナップショットプラスモードでは、[A] または [] に設定できます。
- 外部フラッシュの設定によっては、一部のフラッシュモードが使用できない場合があります。

フラッシュは2回発光します。特に [ ] 、[ ] に設定した場合は、発光間隔が長くなります。2回目の発光終了まで動かないようにしてください。

- 赤目軽減の効果には個人差があります。被写体までの距離や被写体の人が予備発光を見ていないなどの条件によって、効果が現れにくい場合があります。

■ 撮影モード別フラッシュ設定

設定できるフラッシュ設定は、撮影モードによって異なります。(○：設定可、×: 設定不可)

撮影モード					
P プログラム AE モード **A** 絞り優先 AE モード	○	○	○	○	○
S シャッター優先 AE モード **M** マニュアル露出モード	○	○	×	×	○

- スナップショット(A または A+)モード時は、[A] または [] になります。

■ フラッシュモード別のシャッタースピード

フラッシュモード	シャッタースピード
⚡	1/60秒※ ～1/4000 秒
⚡◎	

フラッシュモード	シャッタースピード
⚡S	1 秒～1/4000 秒
⚡S◎	

※ シャッター優先AEモード時は60秒、マニュアル露出モード時はT（タイム）になります。
● スナップショット（A または A+）モード時のシャッタースピードは判別シーンによって異なります。

後幕シンクロに設定する

使えるモード： A A+ P A S M

後幕シンクロとは、車など動きのある被写体をスローシャッターでフラッシュ撮影する場合、シャッターが閉じる直前に発光する撮影方法です。

MENU ボタン → [撮影] → [フラッシュ設定] → [フラッシュシンクロ]

先幕（さきまく）	一般的なフラッシュ撮影の方法です。	
後幕（あとまく）	被写体の後ろに光源が写り、躍動感が出ます。	

● [後幕] に設定すると、画面のフラッシュアイコンに [2nd] が表示されます。
● シャッタースピードが速い場合は、フラッシュシンクロの効果が十分に得られないことがあります。
● [後幕] 設定時は、[⚡◎]、[⚡S◎] に設定できません。

フラッシュの発光量を調整する

使えるモード： P A S M

フラッシュで撮影した写真が明るすぎたり暗すぎたりする場合に、フラッシュの発光量を調整します。

1 メニューを設定する

MENU ボタン → [撮影] → [フラッシュ設定] → [フラッシュ光量調整]

2 ◀/▶ ボタンでフラッシュの発光量を設定し、[MENU/SET] ボタンを押す

- –3 EV から+3 EVの範囲で、1/3 EVごとに調整できます。
- フラッシュ発光量を調整しない場合は、“±0”を選んでください。

- フラッシュ発光量を調整すると、画面のフラッシュアイコンに[+]または[–]が表示されます。

露出補正時にフラッシュ発光量を連動させる

使えるモード： P A S M

露出補正量に応じてフラッシュの発光量も自動的に調整されます。

MENU ボタン → [撮影] → [フラッシュ設定] → [露出補正連動]

設定： [ON]、[OFF]

- 露出補正については：(P90)

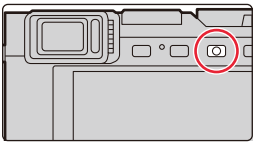
動画を撮る

使えるモード： P A S M

MP4 で記録される動画を撮影できます。MP4 では 4K 動画も撮影できます。(P154)
音声はステレオで記録されます。

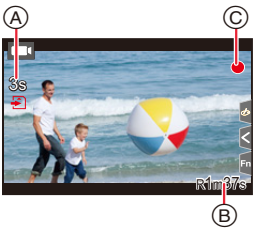
- 絞り値とシャッタースピードを手動で設定して動画を撮影できます。(P63)
- スナップショットモード時は、カメラが自動的に絞り値やシャッタースピードを設定し、シーンを判別して動画を撮影します。(P56)

1 動画ボタンを押して撮影を開始する



Ⓐ 記録経過時間
Ⓑ 記録可能時間

- 動画の記録中は、記録動作表示（赤）(Ⓒ) が点滅します。
- 動画ボタンを押したあと、すぐに離してください。
- m は「minute（分）」、s は「second（秒）」を省略した表示です。



2 もう一度動画ボタンを押して撮影を終了する

- **静かな環境下で撮影した場合は、絞りやフォーカスの動作音が動画に録音されることがあります。これは異常ではありません。**
  動画撮影中のフォーカス動作は[AF連続動作](P155)で[OFF]に設定できます。

撮影終了時の動画ボタンの操作音が気になる場合は、以下をお試しください。
- 3秒ほど長めに撮影し、再生メニューの[動画分割]で動画の終わりの部分を分割してください。

動画撮影中の操作音を抑えて撮る

使えるモード： P A S M

動画撮影中にズームやボタン操作などをすると、その動作音が記録される場合があります。タッチ操作をすることで、静かに操作できます。

1 動画撮影中に[ ]をタッチする

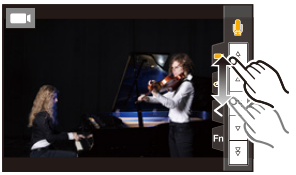
2 アイコンをタッチする

T W：ズーム
：露出補正 ※
ISO：ISO 感度
：録音レベル設定

※ ファンクションボタンに[露出補正]を設定した場合に表示されます。（P49）

3 スライドバーをドラッグして設定する

[▼]/[▲]：ゆっくり設定を変える
[⏬]/[⏫]：速く設定を変える



- 周囲の温度が高い場合や、連続で動画を撮影した場合は、[ ]が表示されたあと、撮影が停止することがあります。本機の温度が下がるまでお待ちください。
- 画像横縦比の設定が写真と動画で異なる場合、動画撮影を開始したときに画角が変わります。カスタムメニュー（モニター/ 表示）の [記録枠表示]を[ ]に設定すると、動画撮影時の画角が表示されます。
- 動画ボタンを押す前にEX光学ズームを使っていた場合は、それらの設定が解除されるため、画角が大きく変わります。
- 動画撮影中にズームやボタン操作などをすると、その動作音が記録される場合があります。
- 動画撮影中はズーム速度が遅くなります。
- カードの種類によっては、動画記録後、カードアクセス表示がしばらく出る場合がありますが、異常ではありません。

こんなときは使えません

- 以下の場合、動画撮影できません。
  - [フィルター設定]の[ラフモノクローム]/[シルキーモノクローム]/[ソフトフォーカス]/[クロスフィルター]/[サンシャイン]
  - ポストフォーカス撮影時
  - パノラマ撮影時
  - インターバル撮影中
  - コマ撮りアニメ中

解像度とフレームレートを設定する

MENU ボタン→ [動画]→[画質設定]

項目	サイズ	記録フレームレート	センサー出力	ビットレート
4K/100M/30p※	3840×2160	30p	30コマ/秒	100 Mbps
4K/100M/24p※	3840×2160	24p	24コマ/秒	100 Mbps
FHD/28M/60p	1920×1080	60p	60コマ/秒	28 Mbps
FHD/20M/30p	1920×1080	30p	30コマ/秒	20 Mbps
HD/10M/30p	1280×720	30p	30コマ/秒	10 Mbps

※ 4K 動画

- 「ビットレート」の数値が大きいほど高画質になります。本機はVBR記録方式を採用しています。撮影する被写体によりビットレートが自動的に変わるため、動きの激しい被写体を記録した場合、記録時間は短くなります。
- [フィルター設定]の[ジオラマ]では、4K動画に設定することはできません。
- 4K 動画撮影時は UHS Speed Class 3 のカードをお使いください。
- 4K 動画の場合、他のサイズの動画よりも画角が狭くなります。
- 連続撮影時間については、30 ページをお読みください。

■ 撮影した動画の互換性について

MP4 動画は、それぞれの対応機器であっても、再生できない場合があります。
また、再生時に画質や音質が悪くなることや、撮影情報が正しく表示されないことがあります。
この場合は本機で再生してください。

- 本機で記録した 4K 動画について詳しくは、254 ページの「4K 動画を他機器で見る / 残す」をお読みください。

動画撮影時のピントの合わせ方(AF連続動作)

使えるモード: P A S M

ピント合わせは、フォーカスモードと動画メニューの[AF連続動作]の設定によって異なります。

MENU ボタン→ [動画]→ [AF 連続動作]

フォーカスモード	AF 連続動作	設定
AFS、AFF、AFC	ON	撮影中も自動でピントを合わせ続けます。
	OFF	撮影開始時のピント位置に固定されます。
MF	ON/OFF	手動でピントを合わせます。

- フォーカスモードを[AFS]、[AFF]、[AFC]に設定した場合、動画撮影中にシャッターボタンを半押しするとピントを合わせ直します。
- 動画撮影時にオートフォーカスが働くと、動作音が記録されることがあります。動作音が気になる場合は、[AF連続動作]を[OFF] に設定することをお勧めします。
- 動画撮影時にズーム操作をすると、ピントが合うまでに時間がかかることがあります。

動画撮影中に写真を撮影する

使えるモード： [A] [A+] [P] [A] [S] [M]

動画撮影中でも、同時に写真を撮影できます。（同時記録）

動画撮影中に、シャッターボタンを全押しする

- 写真の記録中は、同時記録表示が出ます。
- タッチシャッター機能でも撮影できます。

■ 動画優先、写真優先を設定する

使えるモード： [A] [A+] [P] [A] [S] [M]

MENU ボタン→ [動画]→ [動画撮影中の写真撮影]

（動画優先）	● 動画の画質設定に応じた記録画素数で写真を記録します。 ● クオリティを[RAW]、[RAW]または [RAW] に設定した場合でも、JPEG画像が記録されます。（[RAW]設定時は[ ]で記録されます） ● 最大40枚まで写真を撮影できます。（4K動画撮影中は最大10枚まで）
（写真優先）	● 設定した記録画素数、クオリティで写真を記録します。 ● 写真の記録中は、画面が黒くなります。その間、動画には静止画像が記録され、音声が途切れます。 ● 最大10枚まで写真を撮影できます。（4K動画撮影中は最大5枚まで）

- 写真の画像横縦比は[16:9]に固定されます。

こんなときは使えません

- [（写真優先）]設定時は、以下の場合に同時記録ができません。
  - [画質設定]を[4K/100M/24p]に設定したとき
  - ドライブモードを4Kフォトに設定したとき

音声の入力レベルを表示する/設定する

録音レベル表示

使えるモード： P A S M

録音レベルを撮影画面に表示します。

MENU ボタン→ [動画]→[録音レベル表示]

設定：[ON]、[OFF]

こんなときは使えません

- 以下の場合、[録音レベル表示]が[OFF]に固定されます。
  - [フィルター設定]の[ジオラマ]

録音レベル設定

使えるモード： P A S M

音声入力のレベルを4段階(−12 dB ～ +6 dB)で調整します。

MENU ボタン→ [動画]→[録音レベル設定]

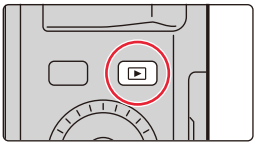
- 表示される dB値は目安です。

こんなときは使えません

- 以下の場合、[録音レベル設定]が働きません。
  - [フィルター設定]の[ジオラマ]

写真を見る

1 [▶] ボタンを押す



2 ◀ ボタンまたは ▶ ボタンを押す

◀:前の画像へ　　▶:次の画像へ

- ◀/▶ ボタンを押したままにすると、画像を連続して送ることができます。
- コントロールダイヤルを回す、または画面を水平にドラッグしても画像を送ることができます。
- ドラッグして画像を送ったあとに画面の左右の端をタッチしたままにすると、画像を連続して送ることができます。

■ 再生を終了するには

再度 [▶] ボタンを押すか、シャッターボタンを半押しする

- [▶] ボタンを押しながら電源スイッチを [ON] にすると、再生画面が表示されます。
- カスタムメニュー(レンズ/その他)の[レンズ収納]を[ON]に設定した場合は、撮影画面から再生画面に切り換えると、約 15 秒後にレンズ鏡筒が収納されます。

こんなときは使えません

- 本機は一般社団法人 電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された統一規格DCF(Design rule for Camera File system)および、Exif(Exchangeable Image File Format)に準拠しています。DCF規格に準拠していないファイルは再生できません。
- 他の機器で撮影した画像は、本機で正しく再生されない場合や、本機の機能を使用できない場合があります。

動画を見る

本機で再生できる動画のファイル形式は MP4 です。

[■◀] が付いた画像を選び、▲ ボタンを押して再生する

Ⓐ　動画記録時間

- 再生を開始すると、画面に再生経過時間が表示されます。
  例）8分30秒のとき：8m30s
- 画面中央の[▶]をタッチしても動画を再生できます。

■ 動画再生中の操作

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲	▶/❚❚	再生/一時停止
◀	◀◀	早戻し再生 ※
	◀❚❚	コマ戻し（一時停止中）
(◎)	−	音量を下げる

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▼	■	停止
▶	▶▶	早送り再生 ※
	❚❚▶	コマ送り（一時停止中）
(◎)	+	音量を上げる

※ 早送り / 早戻し速度を速くするには、もう一度 ▶/◀ ボタンを押してください。

- パソコンで見る場合は、ライカカメラ AG　のホームページでソフトウェアをダウンロードしてお使いください。（あらかじめホームページで本機を登録する必要があります）（P257）

動画から写真を作成する

1 動画再生中に▲ボタンを押して、一時停止する

- 位置の細かい調整をするには、一時停止中に◀/▶ボタンを押してください。

2 [MENU/SET] ボタンを押す

- [ ]をタッチしても同じ操作ができます。

- 画像横縦比は[16:9]で、[クオリティ]は[ ]で保存されます。記録画素数は動画により異なります。

画質設定	記録画素数
[4K]	[M](8M)
[FHD]、[HD]	[S](2M)

- 動画から作成された写真は、通常の画質より粗くなる場合があります。
- 動画から作成された写真には、再生時に[ ]が表示されます。

再生方法を切り換える

再生画面を拡大する(再生ズーム)

ズームレバーをT側に回す

1倍⇨2倍⇨4倍⇨8倍⇨16倍

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
	–	画面を拡大 / 縮小
–	ピンチアウト/ ピンチイン	画面を細かく拡大 / 縮小
▲/▼/◀/▶	ドラッグ	拡大表示位置の移動(拡大表示中)
	–	ズーム倍率、ズーム位置を保持したまま画像を送る(拡大表示中)

● 画面を2回タッチすると、拡大表示 / 通常表示が切り換わります。

複数の画像を一覧表示する（マルチ再生）

ズームレバーを W 側に回す

1画面⇨12画面⇨30画面⇨カレンダー表示

- ズームレバーを T 側に回すと、1 つ前に戻ります。
- 以下のアイコンをタッチしても、再生画面を切り換えることができます。
  - ·[ ]：1画面　·[ ]：12 画面
  - ·[ ]：30 画面　·[CAL]：カレンダー再生
- 画面を上下にドラッグすると、一覧表示をスクロールできます。
- [ ] と表示される画像は再生できません。

■ 1 画面表示に戻すには

▲/▼/◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 動画を選択すると、再生が開始されます。

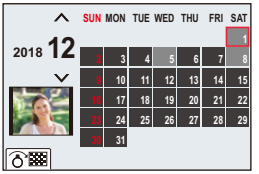
画像を撮影日ごとに表示する（カレンダー再生）

1　ズームレバーを W 側に回して、カレンダー表示にする

2　▲/▼/◀/▶ ボタンで再生する日付を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 同じ日付に撮影した画像だけ表示されます。
- カレンダー表示に戻すには、ズームレバーをW側に回してください。

3　▲/▼/◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

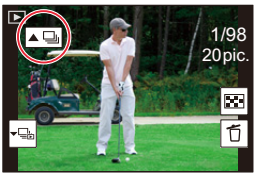


- 初めに選ばれる日付は、再生画面で選んだ画像の撮影日になります。
- カレンダーの表示できる範囲は、2000年1月から2099年12月までです。
- 時計を設定せずに撮影した場合、2018 年 1 月 1 日に表示されます。
- [ワールドタイム] を [旅行先] に設定した場合は、撮影した画像が旅行先の日時に表示されます。

グループ画像を見る

複数枚の画像を 1 つにまとめたグループ画像を連続再生したり、1 枚ずつ再生したりできます。

- グループ単位で消去や編集ができます。（例えば、グループ画像を消去すると、グループ内のすべての画像が消去されます）



[▲]：[4Kフォト一括保存]で保存したグループ画像

[FOCUS]：　フォーカスブラケット撮影したグループ画像

[▲]：インターバル撮影したグループ画像

[▲]：コマ撮り撮影したグループ画像

- 時計を設定せずに撮影した場合、画像はグループ化されません。

■ グループ画像を連続再生する

▲ボタンを押す

- グループ画像アイコン([▲]、[▲]、[▲])をタッチしても同じ操作ができます。
- グループ画像を1枚ずつ再生しているときは、選択肢が表示されます。
  [連写再生](または[連続再生])を選んだあとに、以下の再生方法を選んでください。
  [最初の画像から見る]: グループの先頭画像から連続再生されます。
  [この画像から見る]:　再生中の画像から連続再生されます。

- 連続再生中の操作

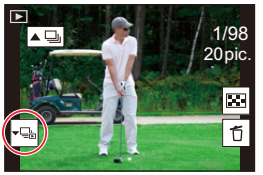
ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲	▶/II	連続再生/一時停止
◀	◀◀	早戻し再生
	I◀◀	前の画像に戻す(一時停止中)

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▼	■	停止
▶	▶▶	早送り再生
	▶▶I	次の画像へ送る(一時停止中)

■ グループ画像を1枚ずつ再生する

1　▼ボタンを押す

- [▼]、[▼]、[▼]、[▼]をタッチしても同じ操作ができます。



2　◀/▶ ボタンを押して画像を送る

- 通常の再生画面に戻るには、もう一度 ▼ボタンを押す、または[▼▶]をタッチしてください。
- グループ内の画像に対して、通常の写真再生時と同様の操作が可能です。(マルチ再生、再生ズーム、画像の消去など)

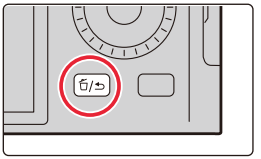
画像を消去する

画像は一度消去すると元に戻すことができません。

■ 1枚消去

1 再生状態で消去する画像を選び、[🗑/↩] ボタンを押す

- [🗑] をタッチしても同じ操作ができます。



2 ▲/▼ ボタンで [1枚消去] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

■ 複数消去(100枚まで)/全画像消去

- グループ画像は1枚として扱います。(選んだグループ画像内のすべての画像が消去されます)

1 再生状態で [🗑/↩] ボタンを押す

2 ▲/▼ ボタンで [複数消去] または [全画像消去] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- [全画像消去] 選択時、[レーティング以外全消去] を選択すると、レーティング設定した画像以外の全画像を消去できます。

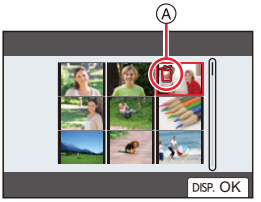
([複数消去] 選択時)

3 ▲/▼/◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す(繰り返す)

Ⓐ 🗑 選んだ画像

- 選択を解除するには、もう一度 [MENU/SET] ボタンを押してください。

4 [DISP] ボタンを押す

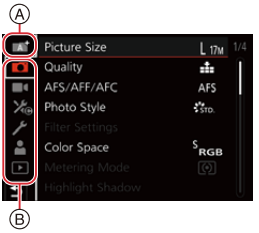


- 消去する枚数により、時間がかかることがあります。

10. メニュー機能を使う

メニュー一覧

スナップショットモードメニュー	☞ P166	Ⓐ
撮影メニュー	☞ P166	Ⓑ
動画メニュー	☞ P179	Ⓑ
カスタムメニュー	☞ P180	Ⓑ
セットアップメニュー	☞ P195	Ⓑ
マイメニュー	☞ P204	Ⓑ
再生メニュー	☞ P205	Ⓑ



スナップショットモードメニュー

- [スナップショットモード](P57)
- [i手持ち夜景](P59)
- [iHDR](P59)

撮影メニュー

- [記録画素数](P167)
- [クオリティ](P168)
- [AFS/AFF/AFC](P74)
- [フォトスタイル](P169)
- [フィルター設定](P122)
- [色空間](P171)
- [測光モード](P171)
- [ハイライトシャドウ](P172)
- [iD レンジコントロール](P173)
- [超解像](P173)
- [フラッシュ設定](P149)
- [デジタル赤目補正](P173)
- [ISO オート上限設定(写真)](P174)
- [下限シャッター速度](P174)
- [長秒ノイズ除去](P174)
- [回折補正](P175)
- [手ブレ補正](P139)
- [iA ズーム](P142)
- [デジタルズーム](P143)
- [連写速度](P98)
- [4K フォト](P100)
- [セルフタイマー](P115)
- [インターバル撮影](P133)
- [コマ撮りアニメ](P136)
- [パノラマ設定](P119)
- [サイレントモード](P175)
- [シャッター方式](P176)
- [ブラケット](P129)
- [HDR](P177)
- [多重露出](P178)

[記録画素数]

使えるモード： A A+ P A S M

画素数が大きいほど、大きな用紙にプリントしても鮮明な画像になります。

MENU ボタン→ [撮影]→[記録画素数]

画像横縦比	4:3	1:1	16:9	3:2
記録画素数	L(17M) 4736×3552	L(12.5M) 3552×3552	L(15M) 5152×2904	L(16M) 4928×3288
	EXM(8.5M) 3360×2520	EXM(6.5M) 2528×2528	EXM(8M) 3840×2160	EXM(8M) 3504×2336
	EXS(4M) 2368×1776	EXS(3M) 1776×1776	EXS(2M) 1920×1080	EXS(4M) 2496×1664

こんなときは使えません

- 以下の場合、[記録画素数]の設定はできません。
  - パノラマ撮影時
  - 4K フォト撮影時
  - ポストフォーカス撮影時

ファイル形式 / 圧縮率を設定する([クオリティ])

使えるモード: P A S M

JPEG 形式または RAW 形式のファイルフォーマットを選択できます。
JPEG 形式では、画質を選択することもできます。
ライカカメラ AG のホームページ(P257)で本機を登録すると、ソフトウェアをダウンロードすることができます。ソフトウェアを使って画像データを編集する場合は RAW 形式が最適です。
JPEG 形式の[]は[]に比べて圧縮率が低いため、ファイル容量は大きくなりますが、より高画質で記録できます。
画像を保存するときの圧縮率を設定します。

MENU ボタン→ [撮影]→[クオリティ]

設定	ファイル形式	設定内容
	JPEG	画質を優先したJPEG画像です。
		標準画質のJPEG画像です。画素数を変えずに記録枚数を増やす場合などに便利です。
RAW	RAW+JPEG	RAW 画像とJPEG 画像([] または [])を同時に記録します。
RAW		
RAW	RAW	RAW 画像を記録します。

RAWについて

RAW形式とは、カメラで画像が処理されていないそのままのデータ形式です。RAW画像の再生・編集には本機または専用のソフトウェアが必要です。
- 再生メニューの[RAW 現像]でRAW画像を現像できます。(P210)

- [RAW]、[RAW]の画像を本機で消去すると、RAW 画像と JPEG 画像の両方が同時に消去されます。
- [RAW]の画像を再生しているときは、撮影時の画像横縦比に合わせてグレーの領域が表示されます。
- 4Kフォト撮影時およびポストフォーカス撮影時は、[]に固定されます。

こんなときは使えません

- 以下の場合、[RAW]、[RAW]、[RAW]に設定できません。
  - パノラマ撮影時

[フォトスタイル]

使えるモード： P A S M

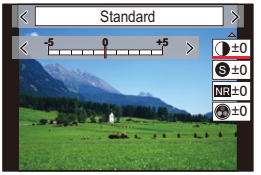
撮影したいイメージに合わせて効果を選択できます。

MENU ボタン→ [撮影]/ [動画]→[フォトスタイル]

STD. [スタンダード]	標準的な設定
VIVD [ヴィヴィッド]	彩度高め、コントラスト高めの鮮やかな効果
NAT [ナチュラル]	コントラスト低めの柔らかな効果
MONO [モノクローム]	色味を抜いた単色の効果
MONO HC [モノクローム HC]	階調が豊かで黒の引き締まったモノクロ効果
MONO HC+ [モノクローム HC+]	ハイライトとシャドウを強調したダイナミックな印象のモノクロ効果
SCNY [風景]	青空や緑を鮮やかにし、風景撮影に適した効果
PORT [人物]	健康的できれいな肌色にし、人物撮影に適した効果
CUST [カスタム]	あらかじめ登録している設定を使用

- スナップショットプラスモードでは、
  - [スタンダード]、[モノクローム]に設定できます。
  - 撮影モードを切り換えたり、電源を切ったりすると、[スタンダード]にリセットされます。

■ 画質調整する



● スナップショットプラスモード時は、画質調整できません。

1 ◀/▶ ボタンでフォトスタイルの種類を選ぶ

2 ▲/▼ ボタンで項目を選び、◀/▶ ボタンで調整する

コントラスト	+	画像の明暗差を大きくします。
	−	画像の明暗差を小さくします。
シャープネス	+	画像の輪郭を強調します。
	−	画像の輪郭を柔らかくします。
NR ノイズリダクション	+	ノイズリダクションの効果を強め、ノイズを軽減します。 解像感が僅かに低下する場合があります。
	−	ノイズリダクションの効果を弱め、より解像感のある画質を得ることができます。
彩度 ※1	+	派手で鮮やかな色になります。
	−	落ち着いた色になります。
色調 ※1	+	青っぽい色になります。
	−	黄色っぽい色になります。
フィルター効果 ※2	黄	被写体のコントラストを強調します。(効果:弱) 青空をくっきりと撮影できます。
	オレンジ	被写体のコントラストを強調します。(効果:中) 青空を色濃く撮影できます。
	赤	被写体のコントラストを強調します。(効果:強) 青空をさらに色濃く撮影できます。
	緑	人物の肌や唇を落ち着いた色にします。 緑の葉を明るくし、強調します。
	OFF	−
粒状 ※2	弱 / 中 / 強	粒状感の強弱を設定します。
	OFF	−

※1 [モノクローム]、[モノクローム HC]、[モノクローム HC+] 選択時は[色調]が表示されます。それ以外では[彩度]が表示されます。
※2 [モノクローム]、[モノクローム HC]、[モノクローム HC+] 選択時に表示されます。

● 画質調整すると、フォトスタイルアイコンに[+]が表示されます。

3 [MENU/SET] ボタンを押す

■ 設定を [カスタム] に登録する

「画質調整する」の手順**2**で [DISP] ボタンを押す

- [粒状]の効果は、撮影画面で確認できません。
- 以下の場合、[粒状]が使用できません。
  - パノラマ撮影時
  - 動画撮影時
  - 4K フォト撮影時
  - ポストフォーカス撮影時

[色空間]

使えるモード： P A S M

撮影した画像をパソコンの画面やプリンターなどで出力する場合に、正しい色を再現するための方式を設定します。

MENU ボタン→ [撮影]→[色空間]

sRGB	sRGB色空間に設定します。パソコンを中心とした機器で広く使われています。
AdobeRGB	AdobeRGB色空間に設定します。 AdobeRGB色空間はsRGB色空間よりも色再現の範囲が広いため、主に商用印刷などの業務用途で使われています。

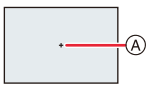
- AdobeRGBについての専門的な知識がない方は、sRGBに設定してください。
- 以下の場合、[sRGB]に固定されます。
  - 動画撮影時
  - 4K フォト撮影時
  - ポストフォーカス撮影時

[測光モード]

使えるモード： P A S M

明るさを測る測光方式を切り換えることができます。

MENU ボタン→ [撮影]/ [動画]→[測光モード]

測光モード	明るさの測定位置	こんなとき
(マルチ測光)	画面全体	通常使用 (バランスがとれた写真になります)
(中央重点測光)	画面中央とその周囲	被写体が画面中央にあるとき
(スポット測光)	[+](スポット測光ターゲット)の中心 (Ⓐ) 	被写体と背景の明るさが極端に異なるとき (舞台上のスポットライトが当たった人物を撮るとき、逆光時など)

- スポット測光ターゲットを画面の端に設定した場合は、周辺の明るさの影響を受けることがあります。

[ハイライトシャドウ]

使えるモード： P A S M

画像の明るい部分と暗い部分の明るさを画面で確認しながら調整できます。

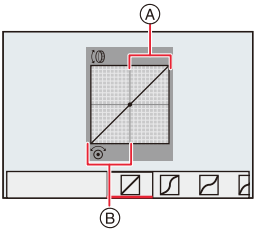
MENU ボタン→ [撮影]/ [動画]→[ハイライトシャドウ]

(スタンダード)	調整なしの状態になります。
(コントラストを上げる)	明部を明るく、暗部を暗くします。
(コントラストを下げる)	明部を暗く、暗部を明るくします。
(暗部を明るくする)	暗部を明るくします。
/ / (カスタム)	カスタム登録した内容を設定できます。

1 コントロールリングを回して明部の明るさを調整し、コントロールダイヤルを回して暗部の明るさを調整する

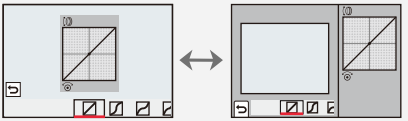
Ⓐ 明部
Ⓑ 暗部

- グラフをドラッグ操作して調整することもできます。
- お好みの設定を登録する場合は▲ボタンを押して、カスタム登録先(カスタム1( )/カスタム2( )/カスタム3( ))を選んでください。



2 [MENU/SET] ボタンを押す

- 明るさ調整の画面で [DISP] ボタンを押すと、画面の表示を切り換えることができます。



- / / / で調整した設定は、電源スイッチを [OFF] にするとお買い上げ時の設定に戻ります。

こんなときは使えません

- 以下の場合、[ハイライトシャドウ]は設定できません。
  - パノラマ撮影時
  - [フィルター設定]設定時

[iDレンジコントロール]

使えるモード： P A S M

背景と被写体の明暗差が大きい場合などに、コントラストや露出を補正します。

MENU ボタン→ [撮影]/ [動画]→[iDレンジコントロール]

設定：[AUTO]、[強]、[中]、[弱]、[OFF]

こんなときは使えません

- 撮影条件によっては、補正効果が得られない場合があります。
- 以下の場合、[iDレンジコントロール] は働きません。
  - パノラマ撮影時
  - [HDR] を [ON] に設定時

[超解像]

使えるモード： P A S M

超解像技術を利用して、より輪郭がはっきりした、解像感のある画像を撮影できます。

MENU ボタン→ [撮影]/ [動画]→[超解像]

設定：[強]、[中]、[弱]、[OFF]

[デジタル赤目補正]

使えるモード： P A S M

赤目軽減（[ ]、[ ]）選択時にフラッシュが発光すると、赤目を自動的に検出して画像データを補正します。

MENU ボタン→ [撮影]→[デジタル赤目補正]

設定：[ON]、[OFF]

- [ON]に設定すると、アイコンが[ ]または[ ]に変わります。
- 赤目の状態によっては補正できない場合があります。

[ISO オート上限設定(写真)]

使えるモード： P A S M

ISO 感度を[AUTO]または[ISO]に設定したときの ISO 感度の上限を設定します。

MENU ボタン→ [撮影]→[ISO オート上限設定(写真)]
設定：[AUTO]、[400]/[800]/[1600]/[3200]/[6400]/[12500]/[25000]

[下限シャッター速度]

使えるモード： P A S M

ISO 感度を[AUTO]または[ISO]に設定したときのシャッタースピードの下限を設定します。

MENU ボタン→ [撮影]→[下限シャッター速度]
設定：[AUTO]、[1/16000]～[1/1]

- 適正露出にならない撮影状況では、シャッタースピードが設定値より遅くなることがあります。

こんなときは使えません

- 撮影条件によっては、補正効果が得られない場合があります。
- 以下の場合、[下限シャッター速度]が設定できません。
  - パノラマ撮影時

[長秒ノイズ除去]

使えるモード： P A S M

夜景撮影など、遅いシャッタースピードで撮影する場合に発生するノイズを、カメラが自動的に取り除きます。

MENU ボタン→ [撮影]→[長秒ノイズ除去]
設定：[ON]、[OFF]

- ノイズ除去中は、信号処理のためにシャッタースピードと同じ時間「長秒ノイズ除去中」と表示されます。

こんなときは使えません

- 以下の場合、[長秒ノイズ除去]が働きません。
  - 動画撮影時
  - 4K フォト撮影時
  - ポストフォーカス撮影時
  - パノラマ撮影時
  - 電子シャッター使用時

[回折補正]

使えるモード： P A S M

絞りを絞ったときの回折現象のボケを補正し、画像の解像感を高めます。

MENU ボタン → [撮影]/ [動画] → [回折補正]

設定：[AUTO]、[OFF]

- 高いISO感度では、ノイズが目立つ場合があります。

[サイレントモード]

使えるモード： P A S M

操作音と発光の禁止を一括で設定します。

MENU ボタン → [撮影] → [サイレントモード]

設定：[ON]、[OFF]

- スピーカーからの音声は消音になり、フラッシュやAF補助光は発光禁止に設定されます。
  以下の設定が固定されます。
  - [フラッシュモード]：[ ]（発光禁止）
  - [シャッター方式]：　[電子シャッター]
  - [AF 補助光]：　[OFF]
  - [電子音音量]：　[ ]（OFF）
  - [シャッター音音量]：[ ]（OFF）

- [ON] に設定していても、以下の機能は点灯 / 点滅します。
  - WIRELESS 接続ランプ
  - セルフタイマーランプ
- レンズの絞り音など、本機の動作音は消音されません。
- **本機能のご利用につきましては、被写体のプライバシー、肖像権などに十分ご配慮のうえ、お客様の責任で行ってください。**

[シャッター方式]

使えるモード： P A S M

写真撮影時のシャッター方式を選びます。

MENU ボタン→ [撮影]→[シャッター方式]

自動切換	撮影状況やシャッタースピードに応じて、シャッター方式を自動で切り換えます。 ● フラッシュ撮影などで機能の制約の少ない、メカシャッター方式を優先して使います。
メカシャッター	メカシャッター方式で撮影します。
電子シャッター	電子シャッター方式で撮影します。

	メカシャッター方式	電子シャッター方式
フラッシュ	○	×
シャッタースピード	T(タイム)※1、60秒～ 1/4000秒	1秒※2 ～ 1/16000秒
シャッター音	メカシャッター音 + 電子シャッター音 ※3	電子シャッター音 ※3

※1 マニュアル露出モード時に設定できます。
※2 ISO感度[ISO3200]まで。[ISO3200]より高いときは、1秒より速くなります。
※3 セットアップメニューの[電子音]の[シャッター音音量]と[シャッター音音色]で、電子シャッター音の設定ができます。

● 電子シャッター方式は、シャッターによる振動のない撮影ができます。

● 画面に[ ]が表示されている場合は、電子シャッター方式で撮影されます。
● **[電子シャッター]設定時に動いている被写体を撮影すると、被写体が曲がって撮影される場合があります。**
● **[電子シャッター]設定時は、蛍光灯やLEDなどの照明下では、横しまが撮影されることがあります。シャッタースピードを遅くすると横しまが軽減されることがあります。**

[HDR]

使えるモード： P A S M

露出の異なる写真を 3 枚撮影して 1 枚の階調豊かな写真に合成します。被写体と背景の明暗差が大きい場合などに、黒つぶれや白飛びを抑えて撮影できます。
HDR合成した画像はJPEGで記録されます。

MENU ボタン → [撮影] → [HDR]

設定：[ON]、[OFF]、[設定]

■ 設定を変更する

Dレンジ設定	[AUTO]：被写体の明暗差に応じて露出の調整幅を自動調整して撮影します。 [±1EV]、[±2EV]、[±3EV]：設定した露出の調整幅で撮影します。
自動位置調整	[ON]：　手ブレなどによる画像のずれを自動的に調整します。手持ち撮影時にお勧めの設定です。 [OFF]：　画像のずれを調整しません。三脚使用時にお勧めの設定です。

- シャッターボタンを押したあと、連写中は本機を動かさないでください。
- 撮影後、連写した写真を合成するため、しばらくの間、次の撮影ができません。
- 動いている被写体を撮影すると、被写体の動きが残像のように不自然に写る場合があります。
- [自動位置調整]を[ON]に設定した場合は、画角が僅かに狭くなります。
- フラッシュは[⊛](発光禁止)に固定されます。

こんなときは使えません

- 動画撮影中の写真記録では働きません。
- 以下の場合、[HDR]が使用できません。
  - 4K フォト撮影時
  - ポストフォーカス撮影時
  - 連写撮影時
  - パノラマ撮影時
  - ブラケット撮影時
  - [クオリティ]を[RAW]、[RAW]、[RAW]に設定したとき
  - インターバル撮影時
  - コマ撮りアニメ撮影時([自動撮影]設定時)

[多重露出]

使えるモード： P A S M

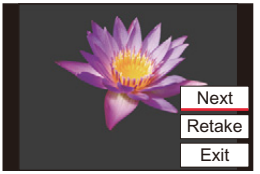
1枚の画像に最大4回の露光をしたような効果を得ることができます。

MENU ボタン→ [撮影]→[多重露出]

1 ▲/▼ ボタンで [開始] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

2 構図を決めて 1枚目を撮影する

- 撮影後、シャッターボタンを半押しすると、次の撮影に進みます。
- ▲/▼ ボタンで項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押すと以下の操作が可能です。
  - [次の撮影]：次の撮影に進む
  - [撮り直し]：1枚目の撮影に戻る
  - [完了]：1枚目の撮影画像を記録し、撮影を終了する



3 2枚目、3枚目、4枚目を撮影する

- 撮影画像を記録し、撮影を終了するには、撮影時に[/] / ([Fn3]) ボタンを押してください。

4 ▲/▼ ボタンで [完了] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- シャッターボタンを半押ししても終了できます。

■ 設定を変更する

自動ゲイン補正	[OFF] に設定すると、すべての露光結果をそのまま重ね合わせます。 必要に応じて露出補正をしてください。
再生画像と多重	[ON] に設定すると、すでに撮影した画像に多重露出ができます。 [開始] を選択後に、カード内の画像が表示されます。RAW 画像を選んで [MENU/SET] ボタンを押し、続けて撮影してください。

- 2枚目以降の撮影をするときは、ズーム操作ができません。
- 多重露出で撮影した画像の撮影情報は、最後に撮影した画像の情報になります。
- 本機で撮影されたRAW画像は、[再生画像と多重] を設定できます。

こんなときは使えません

- 以下の場合、[多重露出] が使用できません。
  - [フィルター設定] 設定時
  - パノラマ撮影時
  - インターバル撮影時
  - コマ撮りアニメ撮影時

動画メニュー

- [画質設定](P154)
- [AFS/AFF/AFC](P74)
- [AF 連続動作](P155)
- [フォトスタイル](P169)
- [フィルター設定](P122)
- [測光モード](P171)
- [ハイライトシャドウ](P172)
- [iD レンジコントロール](P173)
- [超解像](P173)
- [ISO オート上限設定(動画)](P179)
- [回折補正](P175)
- [手ブレ補正](P139)
- [iA ズーム](P142)
- [デジタルズーム](P143)
- [動画撮影中の写真撮影](P156)
- [録音レベル表示](P157)
- [録音レベル設定](P157)
- [風音キャンセラー](P179)

[ISO オート上限設定(動画)]

使えるモード： P A S M

ISO 感度を[AUTO]または[ISO]に設定したときの、ISO 感度の上限を設定します。

MENU ボタン→ [動画]→[ISO オート上限設定(動画)]

設定：[AUTO]、[400]/[800]/[1600]/[3200]/[6400]

[風音キャンセラー]

使えるモード： P A S M

音質を保ちながら、内蔵マイクに当たる風音ノイズを低減します。

MENU ボタン→ [動画]→[風音キャンセラー]

設定：[強]、[標準]、[OFF]

- [強]は強風を検出すると、低音を抑えてより効果的に風音を低減する設定です。
- [標準]は音質を損なうことなく、風音だけを抽出して低減する設定です。
- 撮影状況によっては十分な効果が得られない場合があります。

カスタムメニュー

露出

- [ISO感度ステップ](P181)
- [拡張 ISO 感度](P181)
- [露出補正リセット](P181)

フォーカス/レリーズ

- [AF/AEロック切換](P89)
- [AF/AEロック維持](P181)
- [シャッター半押し AF](P181)
- [シャッター半押しレリーズ](P181)
- [クイックAF](P181)
- [アイセンサーAF](P182)
- [ピンポイントAF設定](P182)
- [AF補助光](P182)
- [ダイレクトフォーカス移動](P182)
- [フォーカス/レリーズ優先](P183)
- [縦/横位置フォーカス切換](P183)
- [フォーカス枠のループ移動](P183)
- [AFエリア表示](P183)
- [AF+MF](P184)
- [MFアシスト](P184)
- [MFアシスト表示](P184)

操作

- [ファンクション Fn ボタン設定](P49)
- [Q.MENU](P185)
- [A ボタン切換](P185)
- [コントロールリング](P54)
- [操作ロック設定](P185)
- [動画ボタン](P185)
- [タッチ設定](P185)
- [ダイヤル操作ガイド](P186)
- [ズームレバー](P186)

モニター/ 表示

- [オートレビュー](P186)
- [モノクロライブビュー](P187)
- [常時プレビュー(M モード)](P187)
- [ライブビューブースト](P187)
- [ピーキング](P188)
- [ヒストグラム表示](P188)
- [ガイドライン表示](P189)
- [センターマーカー表示](P189)
- [ハイライト表示](P189)
- [ゼブラパターン表示](P190)
- [露出メーター](P190)
- [MFガイド](P190)
- [EVF/モニター表示設定](P40)
- [モニター撮影情報画面](P191)
- [記録枠表示](P191)
- [残枚数/残時間切換](P191)

レンズ / その他

- [レンズ位置メモリー](P191)
- [レンズ収納](P191)
- [セルフタイマー自動解除](P191)
- [個人認証](P192)
- [プロフィール設定](P194)

MENU ボタン→ [カスタム]→ [露出]

[ISO感度ステップ]

ISO 感度を設定する間隔を変更します。
設定: [1/3 EV]、[1 EV]

[拡張 ISO 感度]

ISO 感度を最小 [ISO100] まで設定できるようになります。

[露出補正リセット]

撮影モード変更時および電源OFF時に、ファンクションボタンで設定中の露出補正値をリセットします。

MENU ボタン→ [カスタム]→ [フォーカス/レリーズ]

[AF/AEロック維持]

[ON] に設定すると、[AE/AF] ボタンを押したあとに離しても、ピントや露出が固定されます。ロックを解除するには、もう一度 [AE/AF] ボタンを押してください。

[シャッター半押しAF]

シャッターボタン半押し時に、自動的にピントを合わせます。

[シャッター半押しレリーズ]

シャッターボタン半押しで、すぐにシャッターを切ることができます。

[クイックAF]

カメラのブレが小さくなると、カメラが自動的にピントを合わせます。
シャッターボタンを押した際のピント合わせが速くなります。

- バッテリーの消耗が早くなります。

こんなときは使えません

- プレビューモード時
- 低照度時

[アイセンサーAF]

アイセンサー動作時に、カメラが自動的にピントを合わせます。

- 低照度時は、[アイセンサーAF]が働かない場合があります。

[ピンポイント AF設定]

オートフォーカスモードが [⊞] の場合に表示される、拡大画面の設定を変更します。

ピンポイント AF時間	シャッターボタンを半押ししたときに、拡大画面が表示される時間を設定します。
ピンポイント AF表示	拡大画面の表示方法(画面の一部 / 画面全体)を設定します。

[AF補助光]

暗い場所で撮影するときにシャッターボタンを半押しすると、AF補助光を点灯してピントを合わせやすくします。

- AF 補助光の有効距離は 1.5 m です。
- 以下の場合、[AF補助光]が[OFF]に固定されます。
  - [サイレントモード]を[ON]に設定したとき

[ダイレクトフォーカス移動]

撮影時にカーソルボタンを使って、AF エリアや MF アシストを移動します。

- 以下の位置をカーソルボタンで移動できます。
  - [ ]、[ ]、[ ]、[ ] 選択時:AF エリア
  - [ ] 選択時: ロック開始位置
  - [⊞] 選択時: 拡大位置
- ホワイトバランス、ISO感度などカーソルボタンに割り当てられている機能は、クイックメニュー(P47)やファンクションボタン(P49)を使って設定してください。
- 以下の場合、[ダイレクトフォーカス移動]が[OFF]に固定されます。
  - [フィルター設定]設定時

[フォーカス/レリーズ優先]

オートフォーカス時に、ピントを合わせることを優先するか、シャッターを切ることを優先するかを設定します。
● フォーカスモード([AFS/AFF]、[AFC])ごとに設定できます。

フォーカス	ピントが合っていないときは撮影できません。
バランス	ピント合わせとレリーズタイミングのバランスをとり撮影します。
レリーズ	ピントが合っていなくても撮影できます。

[縦/横位置フォーカス切換]

カメラの縦横の位置によって、フォーカス位置を別々に記憶します。

ON	縦位置(左右 2 種)と、横位置で別々に記憶します。 ● 最後に設定した以下の位置を記憶します。 – AF エリア([ ]、[■]、[+] 設定時)の位置 – MF アシストで表示する位置
OFF	縦位置と横位置を、同じ設定にします。

[フォーカス枠のループ移動]

AFエリアやMFアシストの位置を設定しているときに、画面の端から逆の端にループ移動ができます。

[AF エリア表示]

オートフォーカスモードを [ ](49 点)、または [ ] など(カスタムマルチ)に設定したときの、AFエリア表示の設定をします。

ON	撮影画面に AF エリアを表示します。 ● [ ](49点)やカスタムマルチの [C1]、[C2]、[C3] でAFエリアが初期設定の場合は表示しません。
OFF	AF エリア設定後に、数秒間表示します。

● 以下の場合、[ON] に設定していても、[OFF] と同じ動作になります。
– 動画撮影時
– 4K フォト撮影時

[AF+MF]

AFロック中(以下の条件の場合)に手動でピントを微調整できます。
- 撮影メニューの[AFS/AFF/AFC]を[AFS]に設定し、シャッターボタンを半押ししたとき
- [AE/AF]ボタンを押したとき

[MFアシスト]

MFアシスト(拡大画面)の表示方法を設定します。

	コントロールリングを回す、または [ ] ボタン(◀)を押すと、拡大表示されます。
FOCUS	コントロールリングを回すと、拡大表示されます。
	[ ] ボタン(◀)を押すと拡大表示されます。
OFF	拡大表示されません。

- 以下の場合、MFアシストは表示されません。
  - 動画撮影中
  - [4K プリ連写]撮影時
  - デジタルズーム使用時

[MFアシスト表示]

MF アシスト(拡大画面)を画面の一部に表示するか、全画面表示にするかを設定します。

MENU ボタン→ [カスタム]→ [操作]

[Q.MENU]

[カスタム]に設定すると、クイックメニューをお好みの項目に変更できます。(P48)

[Aボタン切換]

[A]ボタンの操作方法を切り換えます。

押して切換	[A]ボタンを押すと、スナップショットモードと撮影モード(P/A/S/M)が切り換わります。
押し続けて切換	[A]ボタンをしばらく押したままにすると、スナップショットモードと撮影モード(P/A/S/M)が切り換わります。

[操作ロック設定]

カスタムメニュー(操作)の [Fnボタン設定](P49)で [操作ロック]を設定した場合に、操作を無効にする対象を設定します。

カーソル	カーソルボタンおよび [MENU/SET] ボタンの操作を無効にします。
タッチパネル	タッチパネルのタッチ操作を無効にします。
ダイヤル	コントロールダイヤルおよびコントロールリングの操作を無効にします。

[動画ボタン]

動画ボタンの有効、無効を設定します。

[タッチ設定]

タッチ操作の有効、無効を設定します。

タッチパネル	すべてのタッチ操作。
タッチタブ	画面右に表示される[ ]などのタブ操作。
タッチ AF	タッチした被写体にピントを合わせる操作([AF])。またはピントと明るさを合わせる操作([AF+AE])。(P85)
タッチパッド AF	ファインダー表示中にモニターをタッチしてAFエリアを移動する操作。(P84)

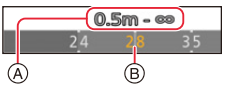
[ダイヤル操作ガイド]

撮影モードを切り換えたときに、ダイヤル操作ガイドを表示するかしないかを設定します。

[ズームレバー]

ズームレバーのズーム動作を設定します。

Q(ズーム)	通常のズーム動作です。
Q(ステップズーム)	ズーム操作をすると、決められた各焦点距離の位置でズームが停止します。 ● 動画撮影時や [4Kプリ連写] 撮影時は働きません。 Ⓐ ピントが合う範囲 Ⓑ 現在のズーム位置



MENU ボタン→ [カスタム]→ [モニター/ 表示]

[オートレビュー]

写真撮影後に撮影画像を表示します。

時間(写真)	写真撮影後の撮影画像の表示時間を設定します。
時間(4K フォト)	4K フォト撮影後に、撮影画像の表示 / 非表示を設定します。
時間(ポストフォーカス)	ポストフォーカス後に、撮影画像の表示 / 非表示を設定します。
再生操作優先	オートレビュー中に、再生画面の切り換えや消去などができます。

- [時間(写真)]を[ホールド]に設定した場合、シャッターボタン半押しまで画像を表示します。[再生操作優先]は[ON]に固定されます。
- [フォトスタイル]で[粒状]を設定した場合、[インターバル撮影]または[コマ撮りアニメ]撮影時に、オートレビューが表示されません。

[モノクロライブビュー]

撮影画面を白黒で表示できます。
マニュアルフォーカスでピントを合わせるときに便利です。

- 撮影画像に影響はありません。

[常時プレビュー(M モード)]

マニュアル露出モード時に、撮影画面で絞り効果やシャッタースピード効果を確認できます。

- フラッシュ使用時は働きません。

[ライブビューブースト]

画面を明るく表示して、暗い環境で構図を確認しやすくします。
記録する画像よりも明るく画面を表示するため、ノイズが目立つ場合があります。
- [設定]でライブビューブーストを表示する撮影モードを変更できます。

- 以下の場合、[ライブビューブースト]が働きません。
  - 露出を合わせるとき(シャッターボタンを半押ししたときなど)
  - 動画、4Kフォト撮影中
  - [フィルター設定]設定時
  - [常時プレビュー(Mモード)]使用時

[ピーキング]

手動でピントを合わせているときに、ピントが合っている部分に色を付けて表示します。

- [設定]で[検出レベル]を[高]に設定すると、色を付けて表示される範囲を狭くするため、より厳密なピント合わせができます。
- [検出レベル] の設定を変更すると、[表示色]の設定も以下のように切り換わります。

[検出レベル]	[高] ⇔ [低]	
[表示色]	[■](水色)	[■](青)
	[■](黄色)	[■](オレンジ)
	[■](黄緑)	[■](緑)
	[■](ピンク)	[■](赤)
	[□](白)	[■](灰色)

- [ ]の[PEAK]をタッチするごとに[PEAK L](検出レベル:低)→[PEAK H](検出レベル:高)→[OFF]の順に切り換わります。
- [ライブビューブースト] 使用時、ピーキングが使用できません。
- [フィルター設定]の[ラフモノクローム]ではピーキングが働きません。

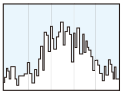
[ヒストグラム表示]

ヒストグラムを表示します。

▲/▼/◀/▶ ボタンで位置を設定できます。

- 撮影画面でも直接タッチ操作できます。
- ヒストグラムとは、横軸に明るさ、縦軸にその明るさの画素数を積み上げたグラフです。撮影した画像のヒストグラムの形状(グラフの分布)を見ることによって、その画像の露出状況を判断できます。

Ⓐ 暗い
Ⓑ 明るい



Ⓐ← →Ⓑ

- **以下の条件で撮影画像とヒストグラムが一致しない場合は、ヒストグラムがオレンジ色で表示されます。**
  - 露出補正時
  - フラッシュが発光するとき
  - 低照度時など適正露出にならないとき
- 撮影時のヒストグラムは目安です。

[ガイドライン表示]

撮影時に表示するガイドラインのパターンを設定します。
[⊞]にすると、▲/▼/◀/▶ボタンで位置を設定できます。

- 撮影画面でも、ガイドライン上の[■]を直接タッチして操作できます。
- パノラマ撮影時は、ガイドラインが表示されません。

[センターマーカー表示]

撮影画面の中心を示す[+]を表示します。

[ハイライト表示]

オートレビューまたは再生時に、白飛びの起こっている部分を黒と白の点滅で表示します。

- 白飛びが起こっている場合は、ヒストグラムを参考に、露出をマイナス方向に補正して再度撮影することをお勧めします。
- 以下の場合、ハイライト表示が働きません。
  - 4K フォト再生時
  - ポストフォーカス撮影した画像を再生時
  - マルチ再生時
  - カレンダー再生時
  - 再生ズーム時

[ゼブラパターン表示]

白飛びのおそれがある部分をしま模様で表示します。

ゼブラ1		ゼブラ2	

[設定]から、しま模様で表示する明るさを設定できます。

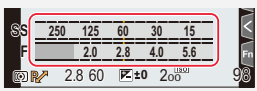
- 選べる明るさの範囲は[50 %]から[105 %]までです。[ゼブラ2]では、[OFF]に設定できます。[100 %]または[105 %]を選択すると、白飛びを起こしている部分だけがしま模様で表示されます。数値を小さくすると、しま模様で表示する明るさの範囲が広くなります。

- 白飛びが起こっている場合は、ヒストグラムを参考に、露出をマイナス方向に補正して撮影することをお勧めします。
- 表示されるしま模様は記録されません。
- カスタムメニュー(操作)の[Fnボタン設定]に[ゼブラパターン表示]を設定すると、設定したファンクションボタンを押すごとに[ゼブラ1]→[ゼブラ2]→[OFF]の順に切り換わります。[ゼブラ2]を[OFF]に設定した場合は、[ゼブラ1]→[OFF]の順に切り換わります。

[露出メーター]

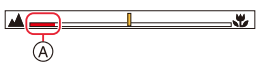
露出メーターを表示します。

- [ON]に設定すると、プログラムシフト使用時、絞り設定時、またはシャッタースピード設定時に露出メーターが表示されます。
- 適ではない範囲が、赤色で表示されます。
- 露出メーターが表示されないときは、[DISP]ボタンを押して画面の表示情報を切り換えてください。
- 約4秒間何も操作しないと露出メーターの表示が消えます。



[MFガイド]

手動でピントを合わせると、ピントを合わせる方向を確認できるMFガイドを画面に表示します。



Ⓐ ∞(無限)を示す目安

[モニター撮影情報画面]

モニターの撮影情報画面(P40、267)を表示します。

[記録枠表示]

写真撮影時または動画撮影時の画角表示に切り換えます。

📷	写真撮影時の画角で表示します。
🎥	動画撮影時の画角で表示します。

- 記録枠表示は目安です。

こんなときは使えません

- 4K フォト撮影時やポストフォーカス撮影時は、[記録枠表示]が[📷]に固定されます。

[残枚数/残時間切換]

記録可能枚数または記録可能時間の表示を切り換えます。

MENU ボタン→ [カスタム]→ [レンズ / その他]

[レンズ位置メモリー]

電源を切ったときのズーム位置とフォーカス位置を記憶します。

[レンズ収納]

再生画面に切り換えて、しばらくするとレンズ鏡筒を収納します。

[セルフタイマー自動解除]

電源を切ったときに、セルフタイマーを解除するように設定します。

[個人認証]

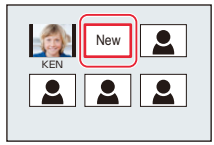
個人認証とは、登録された顔に近い顔を見つけて、自動で優先的にピントや露出を合わせる機能です。集合写真などで大切な人が奥や隅にいても、大切な人の顔をきれいに撮影できます。

ON	個人認証機能を有効にします。
OFF	個人認証機能を無効にします。
登録	顔画像の登録や登録した情報の変更、解除をします。

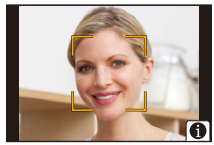
顔画像を登録する

最大6人までの顔画像を名前や誕生日などの情報とともに登録できます。

❶ ▲/▼/◀/▶ ボタンで未登録の顔画像枠を選び、[MENU/SET] ボタンを押す



❷ ガイドに顔を合わせて撮影する
- 人物以外の被写体の顔(ペットなど)は、登録できません。
- 顔登録撮影の説明を表示するには、▶ ボタンを押す、または[ⓘ]をタッチしてください。



❸ 項目を設定する
- 顔画像は3枚まで登録できます。

名前	名前を設定します。 ● 文字の入力方法:(P55)	
月齢/年齢	誕生日を設定します。	
追加登録	追加登録	顔画像を追加登録します。 ● 未登録の顔画像枠を選び、登録してください。
	解除	顔画像を 1 枚消去します。 ● 解除したい顔画像を選んでください。

登録した人物の情報を変更または解除する:

❶ ▲/▼/◀/▶ ボタンで編集または解除したい顔画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

❷ 項目を設定する

情報編集	すでに登録している人物の情報を変更します。 ●「顔画像を登録する」の手順 ❸ の操作をしてください。
登録順	登録順にピントや露出を合わせます。 ● 登録順を選び、設定してください。
解除	すでに登録している人物の情報を消去します。

顔画像登録時の撮影ポイント

- 目を開き、口を閉じた状態で正面を向き、髪の毛で顔の輪郭や目、眉が隠れないようにする。
- 顔に極端な陰影が出ないようにする。（登録時、フラッシュは発光しません）

登録時の良い例

撮影時に認証されにくいと感じたら

- 同じ人物の顔を室内と屋外で、または表情やアングルを変えて追加で登録する。
- 撮影するその場で追加して登録する。
- 登録している人物を認証しなくなった場合は、登録をし直す。
- 登録している人物でも表情や環境によっては個人認証ができない、または正しく認証されない場合があります。

- **個人認証機能では、以下の機能も働きます。**

撮影時

– カメラが登録した顔を認識時、名前を表示 ※

再生時

– 名前や月齢/年齢の表示

※ 名前は3人まで表示されます。撮影時に表示される名前は登録順により決まります。

- **[個人認証] は、オートフォーカスモードが [ ] の場合に有効です。**
  – 顔を検知した場合に働きます。
  – ピントを合わせたい人を指定した場合は働きません。
- 連写撮影時は、1枚目だけに個人認証に関する撮影情報が付加されます。
- グループ画像では、1枚目の画像の名前が表示されます。

こんなときは使えません

- 以下の場合、[個人認証] が働きません。
  – [フィルター設定] の [ジオラマ]
  – 動画撮影時
- 以下の場合、[個人認証] を設定できません。
  – 4Kフォト撮影時
  – ポストフォーカス撮影時
  – パノラマ撮影時
  – インターバル撮影時

[プロフィール設定]

あらかじめ、赤ちゃんやペットの名前や誕生日を設定することで、名前や月齢/年齢を画像に記録できます。これらは再生時に表示したり、[文字焼き込み]で撮影画像に焼き込んだりすることができます。

設定: [(赤ちゃん1)]、[(赤ちゃん2)]、[(ペット)]、[OFF]、[設定]

■ 名前、月齢/年齢を設定する

1 ▲/▼ ボタンで [設定] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

2 ▲/▼ボタンで [赤ちゃん1]、[赤ちゃん2] または [ペット] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

3 ▲/▼ ボタンで [月齢/年齢] または [名前] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

4 ▲/▼ボタンで [設定] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

[月齢/年齢] (誕生日) を入力する

[名前] を入力する

- 文字の入力方法: (P55)

■ 月齢 / 年齢や名前の表示を解除するには

[プロフィール設定] で [OFF] を選ぶ

こんなときは使えません

- 4K フォト撮影時やポストフォーカス撮影時、[プロフィール設定] が使用できません。
- 以下の場合、月齢/年齢や名前は記録されません。
  - 動画撮影時
  - 動画撮影中に記録した写真

セットアップメニュー

- [カスタムセット呼出](P70)
- [カスタムセット登録](P70)
- [時計設定](P31)
- [ワールドタイム](P195)
- [トラベル日付](P196)
- [Wi-Fi](P196)
- [Bluetooth](P197)
- [WIRELESS 接続ランプ](P197)
- [電子音](P197)
- [エコモード](P198)
- [モニター表示速度](P198)
- [EVF 表示速度](P198)
- [モニター調整]、[EVF調整](P199)
- [モニター輝度](P199)
- [m/ft 表示](P199)
- [アイセンサー](P200)
- [USBモード](P200)
- [テレビ接続設定](P201)
- [言語設定](P201)
- [バージョン表示](P201)
- [フォルダー/ファイル設定](P202)
- [番号リセット](P203)
- [設定リセット](P203)
- [ネットワーク設定リセット](P204)
- [水準器調整](P204)
- [フォーマット](P28)

MENU ボタン→ [セットアップ]

[ワールドタイム]

お住まいの地域と旅行先の時刻を設定します。
- [ホーム]設定後に[旅行先]を設定できます。

[旅行先]、[ホーム]のいずれかを選択後は、◀/▶ ボタンでエリアを選び、[MENU/SET] ボタンを押して決定してください。

[旅行先]:旅行先の地域
Ⓐ 現地時刻
Ⓑ ホームとの時差

[ホーム]:お住まいの地域
Ⓒ 現在時刻
Ⓓ GMT(グリニッジ標準時)との時差

- サマータイム[▲]](夏時間)を採用している場合は、▲ボタンを押してください。(時計が 1 時間進みます)元に戻すには、もう一度▲ボタンを押してください。
- 旅行先から戻ってきた場合、[ホーム]に設定してください。
- 画面に表示されるエリアで旅行先が見つからない場合は、ホームエリアからの時差を参考に設定してください。

[トラベル日付]

トラベル日付設定	旅行の日程を設定して撮影すると、旅行の経過日数(何日目か)が記録されます。
旅行先	[トラベル日付設定]を設定しているときに、旅行先を設定できます。 ● 文字の入力方法(P55)

- 経過日数や旅行先は、再生時に表示したり、[文字焼き込み]で撮影画像に焼き込んだりすることができます。
- トラベル日付は、設定された出発日と本機の時計設定の日付により計算されます。ワールドタイムを旅行先に設定している場合は、旅行先の日付により算出されます。
- [トラベル日付設定] を [OFF] に設定すると、経過日数は記録されません。撮影後に [トラベル日付設定]を[設定]にしても表示されません。
- 現在の日付が帰着日を経過した場合、[トラベル日付設定]は自動的に解除されます。
- 以下の場合、[旅行先]は記録できません。
  - 動画撮影時
  - 4K フォト撮影時
  - ポストフォーカス撮影時

[Wi-Fi]

■ Wi-Fi 機能(P222)

■ Wi-Fi 設定(P253)

[Bluetooth]

■ Bluetooth(P226)

■ リモート起動(P233)

■ スリープモードからの復帰動作(P237)

■ 自動画像転送(P239)

■ 位置情報記録(P241)

■ 自動時刻合わせ(P242)

■ Wi-Fi ネットワーク設定

Wi-Fiの無線アクセスポイントを登録します。(P247)

- Wi-Fi 接続で無線アクセスポイントを使用すると、自動で登録されます。
- 登録できる無線アクセスポイントは 17 件までです。17 件を超えて登録すると、古くに登録した無線アクセスポイントから消去されます。
- [ネットワーク設定リセット]を実行すると登録済みの無線アクセスポイントは消去されます。

[WIRELESS 接続ランプ]

WIRELESS 接続ランプの有効 / 無効を設定します。[OFF] に設定すると、点灯 / 点滅しません。

[電子音]

電子音や電子シャッター音を設定します。

設定: [電子音音量]、[シャッター音音量]、[シャッター音音色]

- [サイレントモード]を[ON]に設定した場合は、[電子音]を設定できません。

[エコモード]

スリープモード	設定した時間の間に何も操作をしないと、自動的に電源を切ります。
スリープモード(Wi-Fi)	Wi-Fi接続が切断されている間に約15分間操作をしないと、自動的に本機の電源を切ります。
EVF/モニター自動OFF	設定した時間の間に何も操作をしないと、自動的にモニター/ファインダーを消灯します。

- [スリープモード]、[スリープモード(Wi-Fi)]を解除する場合は、以下のいずれかの操作をしてください。
  - シャッターボタンを半押しする
  - 電源スイッチを[OFF]にしてから、もう一度[ON]にする
- モニター/ファインダーを再度点灯するには、いずれかのボタンを押してください。
- 以下の場合、[エコモード]が働きません。
  - パソコンまたはプリンター接続時
  - 動画撮影/動画再生時
  - スライドショー時
  - [4Kプリ連写]で撮影時
  - [多重露出]撮影時
  - インターバル撮影時
  - コマ撮りアニメ撮影時([自動撮影]設定時)

[モニター表示速度]、[EVF 表示速度]

モニター/ ファインダーの表示速度を設定します。

ECO30fps	電力消費を抑え、使用時間が長くなります。
60fps	動きを滑らかに表示できます。動きの速い被写体を撮影する場合に適しています。

- [モニター表示速度]と[EVF表示速度]のどちらか(または両方)を[ECO30fps]に設定した場合は、デジタルズームが使用できません。
- [モニター表示速度]/[EVF表示速度]の設定は、撮影画像に影響はありません。
- 以下の場合、[60fps] で表示します。
  - 4K フォト撮影時
  - ポストフォーカス撮影時

[モニター調整]、[EVF調整]

モニター/ファインダーの明るさ、色合い、または赤みや青みなどの色みを調整します。

1 ▲/▼ ボタンで設定項目を選び、◀/▶ ボタンで調整する
2 [MENU/SET] ボタンを押して決定する

- モニター表示時はモニターを、ファインダー表示時はファインダーを調整します。
- 被写体によっては実際と違って見える場合がありますが、記録される画像に影響はありません。

[モニター輝度]

A☀(AUTO)	周囲の明るさに応じて、自動的に明るさを調整します。
1☀(MODE1)	モニターを明るくします。
2☀(MODE2)	モニターを標準的な明るさにします。
3☀(MODE3)	モニターを暗くします。

- 被写体によっては実際と違って見える場合がありますが、記録される画像に影響はありません。
- [1☀]のモニターは、撮影時30秒間何も操作しないと、自動的に標準的な明るさに戻ります。ボタンまたはタッチ操作で、再び明るく点灯します。
- [A☀]または[1☀]設定時は、使用時間が減少します。
- 再生時は、[A☀]が選択できません。

[m/ft 表示]

メートルとフィートの表示を切り換えます。

[アイセンサー]

感度	アイセンサーの感度を設定します。
EVF/モニター切換	モニター表示 / ファインダー表示の切り換えを設定します。 **[EVF/MON AUTO](ファインダー/ モニター自動切り換え)** **[EVF](ファインダー表示)** **[MON](モニター表示)** ● [EVF]ボタンで表示を切り換えると、[EVF/モニター切換]の設定も切り換わります。

[USBモード]

USB接続ケーブル接続時の通信方式を設定します。

接続時に選択	機器と接続したときにUSB通信方式を選ぶ場合に設定します。
PC(Storage)	パソコンに接続して画像を取り込む場合に設定します。
PictBridge(PTP)	PictBridge対応プリンターに接続する場合に設定します。

[テレビ接続設定]

[HDMI 出力解像度 (再生時)]:
本機とテレビやモニターを HDMIマイクロケーブルで接続したときに、再生モードで出力する映像方式を設定します。

[AUTO]	接続したテレビに合わせた出力解像度で出力します。
[4K/30p]、[1080p]、[1080i]、[720p]、[480p]	設定した出力解像度で出力します。 ● [4K/30p] の出力解像度は 3840×2160 です。

● [AUTO] に設定して映像がテレビに出ない場合は、お使いのテレビが表示できる「AUTO」以外の設定に切り換えてください。(テレビの取扱説明書もお読みください)

[HDTV リンク]:
[ON] に設定すると、本機とHDMIマイクロケーブルで接続した HDTV リンク対応機器が自動的に連動します。HDTV リンク対応機器のリモコンを使って操作できるようになります。

[言語設定]

画面表示の言語を設定します。

● 誤った言語に設定した場合は、メニューアイコンの [Q] を選び言語を設定してください。

[バージョン表示]

本体のファームウェアバージョンを確認できます。

● 本機のソフトウェアに関する情報を表示するには、バージョン表示画面で [MENU/SET] ボタンを押してください。

[フォルダー/ファイル設定]

画像を保存するフォルダーとファイル名を設定します。

フォルダー名		ファイル名	
100ABCDE ❶ ❷		LABC0001.JPG ❶ ❷ ❸ ❹	
❶	フォルダー番号(3桁、100～999)	❶	色空間([L]:sRGB、[_]:AdobeRGB)
❷	任意の5桁	❷	任意の3桁
		❸	ファイル番号(4桁、0001～9999)
		❹	拡張子

フォルダー選択	画像を保存するフォルダーを選択します。 ● フォルダー名には記録可能なファイル数が表示されます。	
新規フォルダー作成	**OK**	フォルダー名の任意の5桁を現在と同じ設定のまま、新規フォルダーを作成します。
	フォルダー名変更	フォルダー名の任意の5桁を入力し、変更して新規フォルダーを作成します。 ● 設定可能な文字:英字(大文字)、数字、[_] ● 文字の入力方法:(P55)
	● フォルダー番号を繰り上げて、新規フォルダーを作成します。 ● カード内に記録可能なフォルダーがない場合は、フォルダー番号のリセット画面が表示されます。	
ファイル名設定	**フォルダー番号連動**	ファイル名の任意の3桁をフォルダー番号に合わせます。
	ユーザー設定	ファイル名の任意の3桁を入力し、設定します。 ● 設定可能な文字:英字(大文字)、数字、[_] ● 文字の入力方法:(P55)

- 1 つのフォルダーに1000ファイルまで保存できます。
- ファイル番号は撮影順に0001～9999の連番で保存されます。保存するフォルダーを変更した場合、ファイル番号は前の番号の続きで保存されます。
- 以下の場合、次のファイルを保存するときに、フォルダー番号を繰り上げて新しいフォルダーが自動で作成されます。
  - フォルダー内に 1000 ファイルあるとき
  - ファイル番号が「9999」のファイルがフォルダー内にあるとき
- フォルダー番号が 100～999のフォルダーがすべてある場合、新規でフォルダーを作成できません。データをパソコンなどに保存してフォーマットすることをお勧めします。

[番号リセット]

次に撮影する画像のファイル番号を0001にします。

- リセット後に撮影すると、フォルダー番号が更新され、ファイル番号が0001から始まります。
- フォルダー番号は100～999まで作成されます。フォルダー番号が999になると番号リセットができなくなります。データをパソコンなどに保存してフォーマットすることをお勧めします。
- フォルダー番号を 100 にリセットするには

❶ [フォーマット]を実行し、カードを初期化する
❷ [番号リセット]を実行し、ファイル番号をリセットする
❸ フォルダー番号のリセット画面で、[はい]を選ぶ

[設定リセット]

以下のそれぞれの設定をお買い上げ時の状態に戻します。
- 撮影設定とドライブモード
- セットアップ設定([Wi-Fi 設定]、[Bluetooth]の設定内容)
- カスタム設定([個人認証]、[プロフィール設定]の設定内容)
- セットアップ/カスタム設定([Wi-Fi 設定]、[Bluetooth]、[個人認証]、[プロフィール設定]以外)

- セットアップ/カスタム設定をリセットすると、以下の設定内容もリセットされます。
  - [ワールドタイム] の設定内容
  - [トラベル日付] の設定内容(出発日、帰着日、旅行先)
  - 再生メニューの[縦位置自動回転]、[画像表示順]、[消去確認画面] の設定内容
- フォルダー番号、時計はリセットされません。
- 修理依頼または譲渡 / 廃棄される際は、285 ページの「個人情報について」をお読みください。

[ネットワーク設定リセット]

以下のネットワークに関する設定をお買い上げ時の状態に戻します。
– [Wi-Fi 設定]
– [Bluetooth]の登録済み機器情報、[Wi-Fi ネットワーク設定]

- 修理依頼または譲渡 / 廃棄される際は、285 ページの「個人情報について」をお読みください。

[水準器調整]

調整	カメラを水平な状態にし、[MENU/SET]ボタンを押してください。 水準器が調整されます。
調整値リセット	水準器の調整値をお買い上げ時の状態に戻します。

マイメニュー

[マイメニュー設定]

よく使うメニューを登録し、[マイメニュー]に表示します。23 項目まで登録できます。

MENU ボタン→ [マイメニュー]→[マイメニュー設定]

登録	マイメニューに表示するメニューを選び、登録します。
並べ換え	マイメニューに表示するときの順番を変更します。変更するメニューを選び、移動先を設定してください。
消去	登録したメニューを消去します。 **[項目消去]**: メニューを選び、消去します。 **[全消去]**: メニューをすべて消去します。
マイメニューから表示	メニュー画面を表示するときに、最初に表示するメニューを設定します。 **[ON]**: マイメニューを表示します。 **[OFF]**: 最後に使ったメニューを表示します。

▶ 再生メニュー

- [スライドショー](P206)
- [再生モード](P207)
- [プロテクト](P208)
- [レーティング](P208)
- [タイトル入力](P209)
- [認証情報編集](P209)
- [RAW 現像](P210)
- [4K フォト一括保存](P212)
- [比較明合成](P213)
- [軌跡合成](P214)
- [クリアレタッチ](P215)
- [文字焼き込み](P216)
- [リサイズ(縮小)](P217)
- [トリミング(切抜き)](P218)
- [画像回転](P219)
- [動画分割](P219)
- [インターバル動画作成](P220)
- [コマ撮りアニメ作成](P220)
- [縦位置自動回転](P220)
- [画像表示順](P221)
- [消去確認画面](P221)

- 他の機器で撮影した画像は、本機で正しく再生されない場合や、本機の機能を使用できない場合があります。

■ [1 枚設定]、[複数設定]での画像の選び方

- [1 枚設定]または[複数設定]を選択できない場合は、[1 枚設定]の選び方と同じです。

[1 枚設定]選択時

1 **◀/▶ ボタンで画像を選ぶ**

2 **[MENU/SET] ボタンを押す**

- 画面右下に[設定/解除]と表示される場合、もう一度 [MENU/SET] ボタンを押すと設定が解除されます。

[複数設定]選択時

右のような画面の場合

1 **▲/▼/◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す**(繰り返す)

- 設定を解除するには、もう一度 [MENU/SET] ボタンを押してください。

2 **[DISP] ボタンを押して実行する**

右のような画面の場合

▲/▼/◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンで設定する(繰り返す)

- 選択を解除するには、もう一度[MENU/SET]ボタンを押してください。

[スライドショー]

撮影した画像を音楽に合わせて一定間隔で順番に再生できます。また、写真や動画だけをスライドショーで再生することもできます。テレビに接続して画像を見るときにお勧めの再生方法です。

MENU ボタン → ▶ [再生] → [スライドショー]

1 ▲/▼ ボタンで再生するグループを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- [写真のみ] 設定時、4K 連写ファイルと、ポストフォーカス撮影した画像も再生されます。
- ポストフォーカス撮影した画像は、ピントが合っている代表画像だけ再生されます。

2 ▲/▼ ボタンで [開始] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

■ スライドショー中の操作

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▲	▶/II	再生 / 一時停止
◀	⏮	前の画像へ
(◎)	−	音量を下げる

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▼	■	スライドショーを終了する
▶	⏭	次の画像へ
(◎)	+	音量を上げる

■ スライドショーの設定を変更する

スライドショーのメニュー画面で[効果]または[設定]を選ぶと、スライドショー再生時の設定を変更できます。

効果	画像が切り換わる際の画面効果を選ぶことができます。	
設定	**再生間隔**	● [再生間隔]は、[効果]が[OFF]の場合に設定できます。
	リピート	[ON]、[OFF]
	音設定	[AUTO]:写真再生時は音楽を、動画再生時は音声を再生します。 [音楽]: 音楽を再生します。 [音声]: 動画の音声を再生します。 [OFF]: 音を出しません。

- 以下をスライドショー再生しているときは、[効果]の設定が働きません。
  - 4K 連写ファイル
  - グループ画像
  - ポストフォーカス撮影した画像
- 以下をスライドショー再生しているときは、[再生間隔]の設定が働きません。
  - 動画
  - パノラマ写真
  - 4K 連写ファイル
  - グループ画像
  - ポストフォーカス撮影した画像

[再生モード]

[通常再生]、[写真のみ]、または[動画のみ]を選び、再生できます。

MENU ボタン→ ▶ [再生]→[再生モード]

▲/▼ ボタンで再生するグループを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- [写真のみ]設定時、4K連写ファイルと、ポストフォーカス撮影した画像も再生されます。

[プロテクト]

画像を誤って消去することがないように、消去したくない画像にプロテクトを設定できます。

MENU ボタン→▶[再生]→[プロテクト]

画像を選ぶ(P205)

- グループ画像に対して[プロテクト]を設定した場合は、グループ画像の枚数が表示されます。合計枚数が1000枚以上の場合は、[999+]と表示されます。

■ [プロテクト]設定を全解除する

▲/▼ ボタンで[全解除]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

カードの書き込み禁止スイッチを [LOCK] にすると、画像をプロテクトしなくても消去されません。

- [プロテクト]設定は、他の機器では働かない場合がありますので、お気をつけください。
- 画像をプロテクトしても、フォーマットした場合は消去されます。

[レーティング]

画像に 5 種類のレベルに分けたレーティングを設定すると、以下のことができます。

- レーティングを設定した画像以外を消去する。
- Windows 10、Windows 8.1、Windows 8などのファイルの詳細表示で、JPEG画像のレーティングのレベルを確認する。

MENU ボタン→▶[再生]→[レーティング]

1 画像を選ぶ(P205)

2 ◀/▶ ボタンでレーティングのレベル(1～5)を設定し、[MENU/SET]ボタンで決定する

- [複数設定]選択時は、手順**1**、**2**を繰り返してください。(一括で設定できません)
- グループ画像に対して[レーティング]を設定した場合は、グループ画像の枚数が表示されます。合計枚数が1000枚以上の場合は、[999+]と表示されます。

■ [レーティング]設定を全解除する

▲/▼ ボタンで[全解除]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- [再生モード]を[写真のみ]または[動画のみ]に設定した場合、[全解除]を選択できません。

[タイトル入力]

撮影画像に文字(コメント)を入力できます。入力後、[文字焼き込み]で撮影画像に焼き込むことができます。

MENU ボタン→▶[再生]→[タイトル入力]

1 画像を選ぶ(P205)

- すでにタイトルが入力されている画像には[✎]が表示されます。

2 文字を入力する(P55)

- タイトルを消去するには文字入力画面ですべての文字を消去してください。
- [複数設定]で一度に設定できるのは100枚までです。

こんなときは使えません

- 動画
- 4K 連写ファイル
- ポストフォーカス撮影した画像
- クオリティを[RAW]、[RAW]または[RAW]にして撮影した画像

[認証情報編集]

選択した画像の個人認証に関する情報の解除や入れ換えができます。

MENU ボタン→▶[再生]→[認証情報編集]

1 ▲/▼ ボタンで[入換え]または[解除]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

2 ◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

3 ◀/▶ ボタンで人物を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

4 ([入換え]選択時)▲/▼/◀/▶ ボタンで入れ換えたい人物の画像を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

- 解除した個人認証に関する情報は元に戻すことができません。
- グループ画像はグループ単位で編集してください。(1 枚ずつ編集はできません)
- グループ画像は 1 枚目の画像を編集できます。

[RAW 現像]

RAW 形式で撮影した写真をカメラで現像し、JPEG 形式で保存します。

MENU ボタン→ ▶ [再生]→[RAW 現像]

1 ◀/▶ ボタンで RAW 画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

2 ▲/▼ ボタンで項目を選ぶ

- 以下の項目が設定できます。設定を始めるときは、撮影時の設定が反映されています。

ホワイトバランス	ホワイトバランスを選び、調整できます。[ ]の付いた項目を選ぶと撮影時と同じ設定で現像できます。
明るさ補正	−2 EV〜+2 EVの範囲で明るさの補正ができます。
フォトスタイル	フォトスタイルの効果を選択できます。
iD レンジコントロール	iDレンジコントロールの設定を選択できます。
コントラスト	コントラストを調整できます。
ハイライト	明るい部分の明るさを調整できます。
シャドウ	暗い部分の明るさを調整できます。
彩度 / 色調	彩度を調整できます。([フォトスタイル]で[モノクローム]、[モノクローム HC]、[モノクローム HC+] を選択している場合は、色調の調整になります)
フィルター効果	フィルター効果を選択できます。([フォトスタイル]で[モノクローム]、[モノクローム HC]、[モノクローム HC+]を選択している場合)
粒状	粒状感の強弱を設定できます。([フォトスタイル]で[モノクローム]、[モノクローム HC]、[モノクローム HC+] を選択している場合)
ノイズリダクション	ノイズを軽減する設定ができます。
超解像	超解像の設定を選択できます。
シャープネス	解像感を調整できます。
詳細設定	▲/▼ ボタンで項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押すと、以下の操作ができます。 **[調整前に戻す]**:撮影時の設定に戻すことができます。 **[色空間]**:色空間を[sRGB]または[Adobe RGB]から選択できます。 **[記録画素数]**:保存時のJPEG画像のサイズを選択できます。

3 [MENU/SET] ボタンを押し、設定する

- 211 ページの「各項目の設定方法」をお読みください。

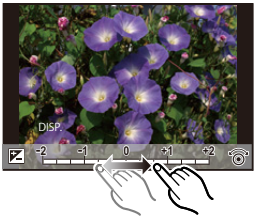
4 [MENU/SET] ボタンを押す

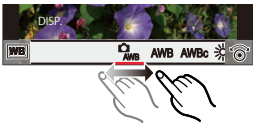
- 手順**2**の画面に戻ります。他に設定したい項目がある場合は、手順**2**から**4**を繰り返してください。

5 ▲/▼ ボタンで [RAW 現像実行] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

■ 各項目の設定方法

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
◀/▶/(◎)	ドラッグ	調整の選択
▲	[色温度設定]	色温度設定画面を表示 ([ホワイトバランス]の[K] 選択時)
▼	[調整]	ホワイトバランス微調整画面を表示 ([ホワイトバランス] 選択時)
[DISP]	[DISP.]	比較画面を表示
[MENU/SET]	[決定]	調整内容を決め、項目の選択画面に戻る

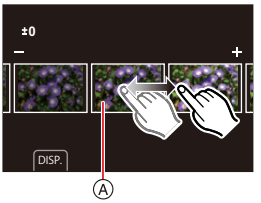




- [ノイズリダクション]、[超解像]、[シャープネス]選択時、比較画面の表示はできません。
- ズームレバーで拡大表示することができます。
- 画面を 2 回タッチするごとに、拡大表示 / 通常表示が切り換わります。

比較画面では以下の方法で調整ができます。

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
◀/▶/(◎)	ドラッグ	調整の選択
[DISP]	[DISP.]	設定画面に戻る
[MENU/SET]	[決定]	調整内容を決め、項目の選択画面に戻る



Ⓐ 現在の設定

- 中央の写真をタッチすると拡大表示されます。[↩]をタッチすると元の表示に戻ります。

- 多重露出で撮影した写真は、[ホワイトバランス]の項目が撮影時の設定に固定されます。
- グループ画像は 1 枚ずつ編集してください。グループ画像とは別に新規保存されます。

こんなときは使えません

- HDMIマイクロケーブル接続時、[RAW現像]が使用できません。
- 他の機器で撮影した RAW 画像は、RAW 現像できません。

[4K フォト一括保存]

4K連写ファイルから、5 秒分の写真を一括で保存できます。

MENU ボタン→ ▶ [再生]→[4K フォト一括保存]

1 ◀/▶ ボタンで 4K連写ファイルを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 連写時間が5秒以下の場合、すべてのコマを写真として保存します。

2 一括保存する最初のコマを選ぶ(P106、107)

- 写真はJPEG形式で、1つの連写グループとして保存されます。(P163)

[比較明合成]

4K連写ファイルから、合成したいコマを複数選び、前のコマと比較して明るく変化した部分を重ね合わせて、1枚の写真を合成します。

MENU ボタン→▶[再生]→[比較明合成]

1 ◀/▶ ボタンで 4K連写ファイルを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

2 合成方法を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

[選択合成] 選択時

合成したいコマを選んで、明るい部分を重ね合わせます。

❶ スライドバーをドラッグして合成したいコマを選ぶ

❷ [MENU/SET]ボタンを押す

- 選んだコマが記憶され、プレビュー画面になります。
- ▲/▼ボタンで項目を選び、[MENU/SET]ボタンを押すと、以下の操作ができます。
  - [次の画像]：さらに合成したいコマを選択できます。
  - [選び直す]：直前で選んだコマを破棄し、選択し直します。

❸ 手順❶～❷を繰り返し、合成したいコマを選ぶ

- 最大40コマまで選択できます。

❹ ▲/▼ボタンで[保存]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

[範囲合成] 選択時

先頭と終了のコマを決めて、その範囲内で明るい部分を重ね合わせます。

❶ 先頭画像のコマを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 選択方法は、[選択合成]の手順❶と同じです。

❷ 終了画像のコマを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

3 確認画面で [はい] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 写真はJPEG形式で保存され、1コマ目のシャッタースピード、絞り、ISO感度などの撮影情報（Exif情報）も記録されます。

[軌跡合成]

4K連写ファイルから合成したいコマを複数枚選び、動いている被写体の軌跡を1枚の写真に合成します。

MENU ボタン→▶[再生]→[軌跡合成]

1 ◀/▶ ボタンで 4K連写ファイルを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

2 コマを選び、合成する

> コマの前後で動いている被写体が重らないように、コマを選択してください。
> (被写体が重なると正しく合成されない場合があります)

❶ スライドバーをドラッグして合成したいコマを選ぶ

❷ [MENU/SET] ボタンを押す
- 選んだコマが記憶され、プレビュー画面になります。
- ▲/▼ ボタンで項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押すと、以下の操作ができます。
  - [次の画像]:さらに合成したいコマを選択できます。
  - [選び直す]:直前で選んだコマを破棄し、選択し直します。

❸ 手順 ❶ ～ ❷を繰り返し、合成したいコマを選ぶ
- 3コマ～40コマまで選択できます。

❹ ▲/▼ ボタンで[保存]を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

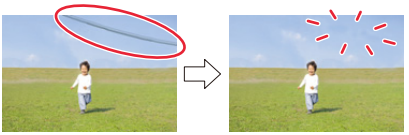
- 写真はJPEG形式で保存され、1コマ目のシャッタースピード、絞り、ISO感度などの撮影情報(Exif情報)も記録されます。

軌跡合成のコツ

軌跡合成に使用する画像を撮影時は、三脚の使用をお勧めします。

[クリアレタッチ](不要な部分を消去する)

- タッチ操作で設定するため、[クリアレタッチ]では自動的にタッチ操作が可能な状態になります。

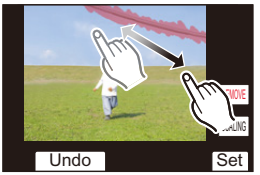


MENU ボタン→▶[再生]→[クリアレタッチ]

1 ◀/▶ボタンで写真を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

2 消去したい部分をなぞる

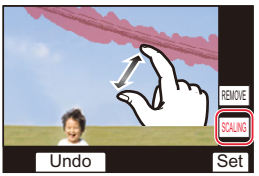
- 消去される部分に色が付きます。
- 色が付いた部分を1つ前の状態に戻すには、[1つ戻す]をタッチしてください。



細かい部分を消去するには(拡大表示)

❶ [移動]をタッチする
- 画面をピンチアウト/ピンチインすると、拡大/縮小表示できます。
- 画面をドラッグすると、拡大部分を移動できます。

❷ [消去]をタッチする
- 消去したい部分をなぞる操作に戻ります。拡大したまま、消去したい部分をなぞることができます。



3 [決定]をタッチする

4 [保存]をタッチする、または[MENU/SET]ボタンを押す

- 消去した部分の背景を合成するため、画像が不自然になることがあります。
- グループ画像は1枚ずつクリアレタッチしてください。(グループ単位の編集はできません)
- グループ画像にクリアレタッチすると、グループ画像とは別に新規保存されます。

こんなときは使えません

- ファインダー表示時
- HDMIマイクロケーブル接続時

- 以下の画像はクリアレタッチできません。
  - 動画
  - 4K連写ファイル
  - ポストフォーカス撮影した画像
  - パノラマ写真
  - クオリティを[RAW]にして撮影した画像

[文字焼き込み]

撮影した画像に、記録された情報を焼き込むことができます。

MENU ボタン→ ▶ [再生]→[文字焼き込み]

1 画像を選ぶ(P205)

- すでに文字焼き込みした画像には、画面に[ ]が表示されます。

2 ▲/▼ ボタンで[設定]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

撮影日時	撮影日時を焼き込みます。
名前	[ ] (個人認証): [個人認証]で登録した名前を焼き込みます。 [/](赤ちゃん/ペット):[プロフィール設定]で登録した名前を焼き込みます。
旅行先	[旅行先]で設定した旅行先名を焼き込みます。
トラベル日付	[トラベル日付]で設定したトラベル日付を焼き込みます。
タイトル	[タイトル入力]で入力したタイトルを焼き込みます。

3 [ ]ボタンを押して前の画面に戻る

4 ▲/▼ ボタンで[実行]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

- 文字焼き込みした画像は、お店やプリンターで日付プリントを指定すると、日付が重なってプリントされます。
- [複数設定]で一度に設定できるのは100枚までです。
- 文字焼き込みすると、画質が粗くなることがあります。
- グループ画像に文字焼き込みすると、グループ画像とは別に新規保存されます。

こんなときは使えません

- 動画
- 4K 連写ファイル
- ポストフォーカス撮影した画像
- パノラマ写真
- 時計とタイトルを設定せずに撮影した画像
- 文字焼き込みした画像
- クオリティを[RAW]にして撮影した画像

[リサイズ(縮小)](画像サイズ(画素数)を小さくする)

ホームページ用やメール添付などで送信しやすいように、画像の容量(記録画素数)を小さくします。

MENU ボタン→▶[再生]→[リサイズ(縮小)]

画像、サイズを選ぶ

[1枚設定]選択時

❶ ◀/▶ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

❷ ▲/▼ボタンでサイズを選び、[MENU/SET]ボタンを押す

[複数設定]選択時

❶ ▲/▼ボタンでサイズを選び、[MENU/SET]ボタンを押す

❷ ▲/▼/◀/▶ボタンで画像を選び、[MENU/SET]ボタンで設定する(繰り返す)

- 選択を解除するには、もう一度[MENU/SET]ボタンを押してください。

❸ [DISP]ボタンを押して実行する

- [複数設定]で一度に設定できるのは100枚までです。
- リサイズ(縮小)すると画質が粗くなります。

こんなときは使えません

- 動画
- 4K連写ファイル
- ポストフォーカス撮影した画像
- パノラマ写真
- グループ画像
- 文字焼き込みした画像
- クオリティを[RAW]にして撮影した画像

[トリミング(切抜き)](画像を切り抜く)

撮影した画像の必要な部分を拡大して切り抜くことができます。

MENU ボタン→▶[再生]→[トリミング(切抜き)]

1 ◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

2 切り抜く部分を選ぶ

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
		画像を拡大
		画像を縮小
▲/▼/◀/▶	ドラッグ	拡大表示位置の移動

3 [MENU/SET] ボタンを押す

- トリミング(切抜き)すると画質が粗くなります。
- グループ画像は 1 枚ずつトリミング(切抜き)してください。(グループ単位の編集はできません)
- グループ画像にトリミング(切抜き)すると、グループ画像とは別に新規保存されます。
- トリミング(切抜き)した画像には、元の画像の個人認証に関する情報はコピーされません。

こんなときは使えません

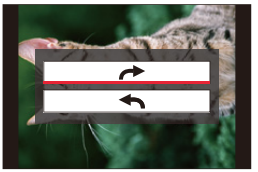
- 動画
- 4K連写ファイル
- ポストフォーカス撮影した画像
- パノラマ写真
- 文字焼き込みした画像
- クオリティを[RAW]にして撮影した画像

[画像回転](画像を手動で回転する)

画像を手動で90° ずつ回転できます。

- [縦位置自動回転]を[OFF]に設定すると、[画像回転]は選択できません。

MENU ボタン→▶[再生]→[画像回転]



1 ◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

2 回転する方向を選ぶ

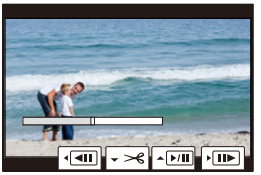
[↱]: 時計回りに90° 回転します。

[↰]: 反時計回りに90° 回転します。

[動画分割]

撮影した動画や 4K 連写ファイルを 2 つに分割できます。必要な部分と不要な部分を分割したいときにお勧めです。**分割すると、元に戻すことができません。**

MENU ボタン→▶[再生]→[動画分割]



1 ◀/▶ ボタンで分割編集したい画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

2 分割したい位置で ▲ ボタンを押す

- 分割位置の細かい調整をするには、一時停止中に◀/▶ボタンを押してください。

3 ▼ ボタンを押す

- 分割処理中にカードまたはバッテリーを抜くと、画像が消失するおそれがあります。

こんなときは使えません

- 動画の最初や最後の部分では分割できない場合があります。
- 撮影時間が短い場合は分割できません。

[インターバル動画作成]

インターバル撮影したグループ画像から動画を作成します。

MENU ボタン→▶[再生]→[インターバル動画作成]

1 ◀/▶ ボタンでインターバル撮影グループを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

2 動画の作成方法を選び、動画化する

- 詳しくは、134 ページをお読みください。

[コマ撮りアニメ作成]

[コマ撮りアニメ] で撮影したグループ画像から動画を作成します。

MENU ボタン→▶[再生]→[コマ撮りアニメ作成]

1 ◀/▶ ボタンでコマ撮りグループを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

2 動画の作成方法を選び、動画化する

- 詳しくは、137 ページをお読みください。

[縦位置自動回転]（画像を自動で回転して表示する）

本機を縦に構えて撮影した写真を自動で縦向きに表示します。

MENU ボタン→▶[再生]→[縦位置自動回転]→[ON]

こんなときは使えません

- パソコンで再生するとき、Exifに対応したOSまたはソフトウェアでないと、回転して表示されないことがあります。（Exifとは、一般社団法人 電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された、撮影情報などの付帯情報を追加できる写真用のファイルフォーマットです）

[画像表示順]

本機で画像を再生するときの表示順を設定します。

MENU ボタン→▶[再生]→[画像表示順]

ファイル名	フォルダー名/ファイル名の順番で表示します。カード内の画像の位置がわかりやすい表示形式です。
撮影日時	画像が撮影された日時の順番で表示します。複数カメラで同じカードに撮影した場合は、画像が探しやすい表示形式です。

- 別のカードを入れたときなど、[撮影日時]の順で表示できない場合があります。しばらくすると、[撮影日時]の順で表示されます。

[消去確認画面]

画像消去時に表示される確認画面の選択肢として、[はい]/[いいえ]のどちらが最初に選ばれるかを設定します。
お買い上げ時は[「いいえ」がはじめ]に設定されています。

MENU ボタン→▶[再生]→[消去確認画面]

「はい」がはじめ	最初に[はい]が選ばれるため、素早く消去操作ができます。
「いいえ」がはじめ	最初に[いいえ]が選ばれます。誤って画像を消去することを防ぎます。

11. Wi-Fi/Bluetooth 機能を使う

Wi-Fi®/Bluetooth® 機能でできること

スマートフォンとつないで使う（P233）

- スマートフォンで撮影する（P234）
- カメラの画像を再生する、保存する、SNSへ送信する（P238）

Bluetooth low energyに対応したスマートフォンと接続して、さらに広がる楽しみ方

- ペアリング（接続設定）（P226）
- スマートフォンで、カメラの電源を操作する（P233）
- バルブ撮影をする（P236）
- 撮影した画像をスマートフォンに自動転送する（P239）
- 撮影する画像にスマートフォンの位置情報を記録する（P241）
- カメラの時刻をスマートフォンに合わせる（P242）

特にスマートフォンとタブレットを区別しないかぎり、本書では「スマートフォン」と記載します。

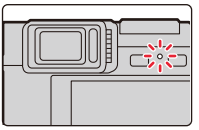
Wi-Fi/Bluetooth 機能について

■ ご使用の前に

- **時計を設定してください。**(P31)
- 本機でWi-Fi機能を使用するには、無線アクセスポイントまたは接続先の機器に無線LAN機能が必要です。

■ WIRELESS 接続ランプの表示について

青色点灯	Wi-Fi/Bluetooth 機能 ON 時、または接続中
青色点滅	カメラ操作で画像データ送信時



- セットアップメニューの[WIRELESS接続ランプ]で、点灯/点滅をしないように設定できます。(P197)

■ [Wi-Fi] ボタンについて

本書では[Wi-Fi]を設定したファンクションボタンを [Wi-Fi]ボタンと記載して説明しています。
(お買い上げ時は、撮影時は [Fn6]に、再生時は[Fn1]に[Wi-Fi]が設定されています)

- ファンクションボタンについては:(P49)

[Wi-Fi] ボタンを押す操作(撮影時)

1 [Fn]をタッチする

2 [Fn6]をタッチする

■ [Wi-Fi] ボタンを押してできる操作

Wi-Fi接続していないときに [Wi-Fi] ボタンを押すと、本機がスマートフォンとの接続待機状態になり、スマートフォンに直接接続できます。(P230)

- その際に [DISP] ボタンを押すと、以前に接続した履歴から素早く接続することができ便利です。(P251)

Wi-Fi 接続後に [Wi-Fi] ボタンを押すと、以下の操作ができます。

接続を終わる	Wi-Fi接続を終了します。
接続先を変える	Wi-Fi接続を終了し、別の Wi-Fi 接続先を選択します。
画像の送信設定を変える	(P246)
今の接続先をお気に入りに入れる	現在の接続先や接続方法を登録して、次回から簡単に同じ設定で接続できます。
ネットワークアドレス表示	(P253)

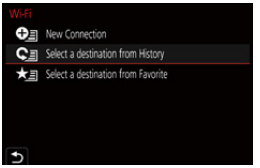
- お使いの Wi-Fi 機能や接続先によっては、一部の操作ができない場合があります。

■ 操作の記載方法について

手順で**「[履歴から接続する] を選ぶ」**などと記載されている場合は、以下のいずれかの操作をしてください。

ボタン操作： カーソルボタンで [履歴から接続する] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

タッチ操作： [履歴から接続する] をタッチする



- **通信中はカードやバッテリーを抜き差ししたり、通信可能エリア外に移動したりしないでください。**
- 本機は公衆無線 LAN 環境を経由した無線 LAN 接続はできません。
- 画像を送信する際は、十分に充電されたバッテリーの使用をお勧めします。
- 3GやLTE等の携帯電話回線を利用して画像を転送する場合、契約内容によっては高額なパケット通信料が発生することがあります。
- 電波の状況によっては、送信が完了できないことがあります。また、画像送信中に切断された場合、一部が表示できない画像が送信されることがあります。

スマートフォンと接続する

スマートフォンを使って、離れた場所からカメラを操作できます。
お使いのスマートフォンにアプリ「Leica FOTOS」をインストールする必要があります。

スマートフォン / タブレットアプリ「Leica FOTOS」をインストールする

ライカカメラ AG のアプリ「Leica FOTOS」を使うと、Wi-Fi 対応のライカコンパクトデジタルカメラの以下の操作を、スマートフォンから行うことができます。

	Android ™ 向けアプリ	iOS 向けアプリ
対応 OS	Android 6.0 以上 (Bluetooth 機能を使うには Android 6.0 以上が必要です)	iOS 11.0 以上 (iPad 2 ではBluetooth 機能を使用できません)
インストール手順	① Android 端末をネットワークに接続する ② 「Google Play ™ ストア」を選ぶ ※ ③ 検索フィールドに「Leica FOTOS」と入力する ④ 「Leica FOTOS」を選び、インストールする ● メニューにアイコンが追加されます。 ※ 中国では「Google Play ™ ストア」をご利用いただけません。下記 URL よりダウンロードしてください。 www.leica-camera.com	① iOS 端末をネットワークに接続する ② 「App Store」を選ぶ ③ 検索フィールドに「Leica FOTOS」と入力する ④ 「Leica FOTOS」を選び、インストールする ● メニューにアイコンが追加されます。

- 最新のバージョンをお使いください。
- 対応OSは2018 年 10 月現在のものです。また、対応OSは変更する場合があります。
- お使いのスマートフォンによっては、正しく動作しない場合があります。
- 3G や LTE などの携帯電話回線を利用してアプリケーションをダウンロードしたり写真や動画を転送したりする場合、契約内容によっては高額なパケット通信料が発生することがあります。
- 対応 OS やアプリ「Leica FOTOS」のバージョンによって、本書に掲載している画面や内容と一部異なる場合があります。

Bluetooth low energy 対応のスマートフォンと接続する

カメラとスマートフォンを Bluetooth 接続します。

● **対応スマートフォン**

Android: **Android 5.0 以上で、Bluetooth 4.0 以上を搭載**
(Bluetooth low energy 非対応の一部の端末を除く)

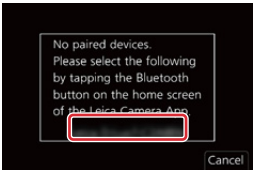
iOS: **iOS 9.0 以上** (iPad 2を除く)

■ 初めて接続する

初回だけペアリング設定(接続設定)が必要です。ペアリング設定すると、自動で Wi-Fi 接続します。

(カメラ側)

MENU ボタン → [セットアップ] → [Bluetooth] → [Bluetooth] → [設定] → [ペアリング]



● カメラがペアリングの待機状態になり、デバイス名が表示されます。

(スマートフォン側)

1 「Leica FOTOS」を起動する

● カメラを検索中のメッセージが表示される場合は、メッセージを閉じてください。

2 [Bluetooth] を選ぶ

3 BluetoothをONにする

4 [登録可能な機器] の項目から、カメラの画面に表示されている デバイス名を選ぶ

● カメラとスマートフォンが Bluetooth 接続されます。
(Android機器) [接続] を選ぶと、Wi-Fi 接続されます。

Android機器は以上で操作が完了します。
iOS機器(iPhone、iPod touch、iPad)は、以下の手順に進んでください。

● カメラの [Wi-Fi パスワード] (P253) が [ON] の場合、プロファイルのインストールが必要です。
(お買い上げ時は [Wi-Fi パスワード] が [ON] に設定されています)

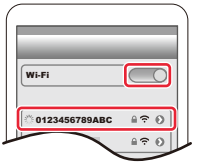
● カメラの [Wi-Fi パスワード] が [OFF] の場合、[Wi-Fi 設定] を選んでください。

❶ プロファイルをインストールする
[インストール] を選び、[インストール] → [完了] を選んでください。
● スマートフォンにパスコードを設定している場合は、パスコードの入力が必要です。

❷ ホームボタンを押してブラウザを終了する

5 スマートフォンの設定メニューで Wi-Fi機能をONにする

6 Wi-Fi設定画面で、カメラに表示されたSSIDを選ぶ
(手順 4 で選んだデバイス名)



● SSIDが表示されない場合、Wi-Fi機能をOFFにしてから再度ONにすると表示される場合があります。

● 接続先の変更が必要な場合は、メッセージに従って設定してください。

7 「Leica FOTOS」を起動する

- Wi-Fi接続の完了後、ペアリング設定したスマートフォンはペアリング済み機器として登録されます。

■ ペアリング済みのスマートフォンと接続する（2 回目以降の接続）

（カメラ側）

MENU ボタン → 🔧[セットアップ] → [Bluetooth] → [Bluetooth] → [ON]

（スマートフォン側）

1 「Leica FOTOS」を起動する

- カメラを検索中のメッセージが表示される場合は、メッセージを閉じてください。

2 [Bluetooth] を選ぶ

3 BluetoothをONにする

4 [登録済みの機器] の項目から、接続したいカメラ（デバイス名）を選ぶ

- 複数のスマートフォンとペアリング設定していても、一度に接続できるスマートフォンは 1 つです。

■ Bluetooth接続を解除する

MENU ボタン → 🔧[セットアップ] → [Bluetooth] → [Bluetooth] → [OFF]

- 接続が解除され、カメラの Bluetooth 機能が停止します。
- 接続を解除してもペアリング設定は解除されません。

■ ペアリング設定を解除する

（カメラ側）

1 メニューを設定する

MENU ボタン → 🔧[セットアップ] → [Bluetooth] → [Bluetooth] → [設定] → [解除]

2 解除したいスマートフォンを選ぶ

（スマートフォン側）

[登録済みの機器] の項目から、ペアリングを解除したいカメラ（デバイス名）を選び、登録解除する

- Bluetooth 接続中は、撮影画面に[ ]が表示されます。Bluetooth 機能が有効なときに接続していない場合は、[ ]が半透明で表示されます。
- スマートフォンとカメラのペアリングに時間がかかるときは、一度両方のペアリング設定を解除してから再設定すると正しく認識される場合があります。
- 登録できるスマートフォンは 16 件までです。16 件を超えて登録すると、古くに登録したスマートフォンから消去されます。
- [ネットワーク設定リセット] をすると登録済み機器情報は消去されます。

Bluetooth low energy に対応していないスマートフォンと接続する

スマートフォンと Wi-Fi 接続します。
- Bluetooth low energy に対応したスマートフォンでも、同じ操作で Wi-Fi 接続できます。

パスワードを利用して接続する

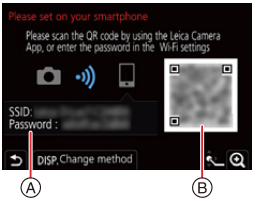
[Wi-Fiパスワード]を [ON] に設定すると、手動入力またはQRコードによるパスワード認証をすることで、セキュリティーを強化できます。

（お買い上げ時は[Wi-Fi パスワード]が[ON]に設定されています）

■ QRコードを使って接続する場合

（カメラ側）

MENU ボタン → [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi機能] → [新規に接続する] → [スマートフォンとつないで使う]



Ⓐ SSID、パスワード
Ⓑ QR コード
- スマートフォンを本機に直接接続するために必要な情報（QRコード、SSID とパスワード）が表示されます。
- カメラの[Wi-Fi]ボタンを押しても表示できます。

（スマートフォン側）

❶「Leica FOTOS」を起動する

❷ [QRコード]を選ぶ
- スマートフォンが無線アクセスポイントに接続している場合、[QRコード]が表示されるまでに時間がかかる場合があります。
- （iOS 機器）確認画面が表示されます。[OK]を選んで進んでください。

❸ カメラの画面に表示されたQRコードを「Leica FOTOS」で読み取る
- QRコードを拡大表示するには、カメラの [MENU/SET]ボタンを押してください。

Android機器は以上で操作が完了します。
iOS機器（iPhone、iPod touch、iPad）は、以下の手順に進んでください。

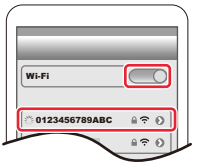
❹ プロファイルをインストールする
[インストール]を選び、[インストール] → [完了] を選んでください。
- スマートフォンにパスコードを設定している場合は、パスコードの入力が必要です。

❺ ホームボタンを押してブラウザを終了する

❻ スマートフォンの設定メニューで Wi-Fi機能をONにする

❼ Wi-Fi設定画面で、カメラに表示された SSIDを選ぶ

❽「Leica FOTOS」を起動する

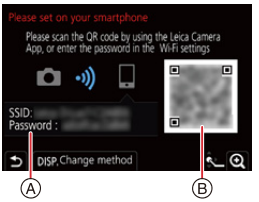


- （iOS機器）手順 ❶～❺は2回目以降は不要です。

■ パスワードを手動入力して接続する場合

（カメラ側）

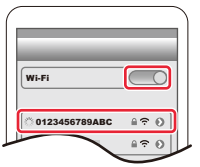
MENU ボタン → [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 機能] → [新規に接続する] → [スマートフォンとつないで使う]



Ⓐ SSID、パスワード
Ⓑ QR コード

- スマートフォンを本機に直接接続するために必要な情報（QRコード、SSID とパスワード）が表示されます。
- カメラの[Wi-Fi]ボタンを押しても表示できます。

（スマートフォン側）



1. スマートフォンの設定メニューでWi-Fi機能をONにする
2. Wi-Fi設定画面で、カメラに表示された SSIDを選ぶ
3. カメラに表示されたパスワードをスマートフォンに入力する（初回接続時のみ）
4. 「Leica FOTOS」を起動する

パスワードを利用せずに接続する

スマートフォンでパスワードを入力することなく、本機と Wi-Fi 接続することができます。

準備
(カメラ側) [Wi-Fi パスワード]を[OFF]にする。(P253)

(カメラ側)

MENU ボタン → [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi機能] → [新規に接続する] → [スマートフォンとつないで使う]

Ⓐ SSID

- スマートフォンを本機に直接接続するために必要な情報(SSID)が表示されます。
- カメラの[Wi-Fi]ボタンを押しても表示できます。

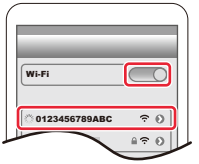
(スマートフォン側)

1 設定メニューでWi-Fi機能をONにする

2 Wi-Fi設定画面で、カメラに表示されたSSIDを選ぶ

3 「Leica FOTOS」を起動する

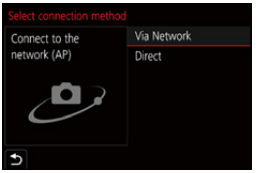
- カメラに接続確認画面が表示されたら、[はい]を選んで接続してください。(初回接続時のみ)



[Wi-Fi パスワード]を[OFF]に設定時。
Wi-Fi接続を開始する際、本機の接続確認画面に表示されている機器が実際に接続したい機器か必ずご確認ください。別の機器が表示されている場合でも、[はい]を選ぶとそのまま接続されます。
お近くに別の Wi-Fi 接続機器がある場合などは、[Wi-Fiパスワード](P253)を [ON] に設定することをお勧めします。

Wi-Fi 接続方法を変える

接続方法を切り換える場合は、以下の操作をしてください。



MENU ボタン→ [セットアップ]→[Wi-Fi]→[Wi-Fi機能]→[新規に接続する]→[スマートフォンとつないで使う]→[DISP] ボタン

または

Wi-Fi ボタン→ [DISP] ボタン→[新規に接続する]→[スマートフォンとつないで使う]→[DISP] ボタン

■ 無線アクセスポイントを使って接続する場合(ネットワーク経由)

(カメラ側)

❶ [ネットワーク経由]を選ぶ
- 248 ページの接続方法に従って、本機を無線アクセスポイントに接続してください。

(スマートフォン側)

❷ スマートフォンの設定メニューでWi-Fi機能をONにする
❸ 本機を接続した無線アクセスポイントに接続する
❹ 「Leica FOTOS」を起動する

■ カメラとスマートフォンを直接接続する場合(直接接続)

(カメラ側)

❶ [直接接続]を選ぶ
- 250 ページの接続方法に従って、本機をスマートフォンに接続してください。

(スマートフォン側)

❷ 「Leica FOTOS」を起動する

Wi-Fi 接続を終了する

1 カメラを撮影モードにする

- シャッターボタンを半押しして、撮影モードに戻ります。

2 カメラのメニューで Wi-Fi 接続を終了する

MENU ボタン → 🔧[セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi機能] → [はい]

- カメラの[Wi-Fi]ボタンを押しても終了できます。

3 スマートフォンで「Leica FOTOS」を終了する

- スマートフォンで4Kプリ連写を撮影するときは、カメラの[⮌]ボタンを押して4K連写に切り換えてから、接続を終了してください。

スマートフォンとつないで使う

■ 必要な無線接続の種類

スマートフォンとつないで使う機能により、必要な無線接続の種類が異なります。

必要な無線接続	Bluetooth low energy の対応
Bluetooth	Bluetooth low energyに対応のスマートフォンで使うことができます。
Wi-Fi	Bluetooth low energyに対応していないスマートフォンでも使うことができます。
Bluetooth Wi-Fi	Bluetooth low energyに対応のスマートフォンで使うことができます。 ● BluetoothとWi-Fi の両方でスマートフォンと接続する必要があります。

スマートフォンでカメラの電源を操作する

必要な無線接続： Bluetooth Wi-Fi

カメラの電源を切っていても、スマートフォンからリモートで起動して操作することができます。
離れた場所からカメラの電源を入れて撮影したり、かばんの中にカメラを入れたまま電源を入れて画像を確認したりできます。

1 スマートフォンと Bluetooth 接続する（P226）

2 カメラのメニューを設定する

MENU ボタン → [セットアップ] → [Bluetooth] → [リモート起動] → [ON]

3 カメラの電源スイッチを [OFF] にする

4 スマートフォンで「Leica FOTOS」を起動し、Bluetooth 接続可能な状態（スタンバイ）にする

5 スマートフォンを操作する

❶ [⌂] を選ぶ
❷ [リモート操作] を選ぶ

● カメラの電源が入り、自動でWi-Fi接続します。
– （iOS機器）スマートフォンの接続状況により、Wi-Fi設定画面で接続先の変更が必要な場合があります。スマートフォンに表示されるメッセージに従って設定してください。

■ スマートフォンでカメラの電源を切る

❶ [⌂] を選ぶ
❷ [⏻ OFF] を選ぶ

- [リモート起動] を [ON] に設定した場合、カメラの電源を切っても Bluetooth 機能が働くため、バッテリーが消耗します。

スマートフォンで撮影する（リモート撮影）

必要な無線接続： Wi-Fi

1 スマートフォンと接続する（P225）

2 スマートフォンを操作する

すでに Bluetooth 接続している場合は、[⌂] → [リモート操作] を選んでください。

（iOS 機器）スマートフォンの接続状況により、Wi-Fi 設定画面で接続先の変更が必要な場合があります。スマートフォンに表示されるメッセージに従って設定してください。

❶ [ ] を選ぶ
❷ 撮影する
- 撮影した画像はカメラに保存されます。
- 設定など一部利用できないものがあります。

■ カメラとスマートフォンのどちらの操作を優先するかを設定する

MENU ボタン → [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi設定] → [リモート優先操作設定]

カメラ	カメラとスマートフォンの両方で操作できます。 ● ダイヤルなどの設定はスマートフォンで変更できません。
スマートフォン	スマートフォンだけで操作できます。 ● ダイヤルなどの設定をスマートフォンで変更できます。 ● リモート撮影を終了するには、カメラのいずれかのボタンを押して画面を表示し、[終了] を選んでください。

● 接続中は、設定を変更できません。

● レンズ鏡筒が伸びてカメラが傾くおそれがあります。三脚を使用するなどして、カメラを固定してください。

こんなときは使えません

● 以下の場合、リモート撮影ができません。
- パノラマモード ※
- インターバル撮影時

※ [リモート優先操作設定] を [ ] (スマートフォン) に設定した場合は、一時的にプログラム AE モードに切り換えてリモート撮影できます。リモート操作の終了後は元に戻ります。

Bluetooth 接続だけで、スマートフォンからシャッターボタンを操作する

必要な無線接続： Bluetooth

1 スマートフォンと Bluetooth 接続する（P226）

2 スマートフォンを操作する

❶ [⌂]を選ぶ

❷ [シャッターリモコン]を選ぶ

❸ 撮影する

- [シャッターリモコン]は、カメラの電源スイッチが[ON]のときに使うことができます。
- カメラのライブビューはスマートフォンで確認できません。

- 撮影中に[スリープモード]が働いてカメラの電源が切れたときは、スマートフォンで再度[シャッターリモコン] を選択すると、電源を入れ直すことができます。（ただし、以下の設定をする必要があります）
  - [リモート起動]：[ON]
  - [自動画像転送]：[OFF]

B（バルブ）について

マニュアル露出モードでシャッタースピードダイヤルを[T]（タイム）に設定すると、B（バルブ）撮影ができます。（最大 29 分間）
撮影開始から終了までの間、シャッターを開けたままにできるので、星空や夜景の撮影に便利です。

スマートフォンを操作する

❶ [📷]を押して、撮影を開始する（押したまま、指を離さない）

❷ [📷]から指を離して、撮影を終了する

- [📷]を LOCK 方向にスライドすると、シャッターボタンを全押しした状態で固定して撮影できます。（[📷]を元の方向に戻す、またはカメラのシャッターボタンを押すと、撮影を終了します）
- B（バルブ）撮影中にBluetooth 接続が切れた場合は、再度Bluetooth接続してスマートフォンで撮影終了の操作をしてください。
- カメラの画面には[T]（タイム）と表示されます。

■ スリープモードからの復帰時間を短くする

スマートフォンを使って[スリープモード]から復帰するときに、優先して使うスマートフォンの機能を選びます。

準備：[Bluetooth] と[リモート起動]を[ON]に設定する（P233）

MENU ボタン → [セットアップ]→[Bluetooth]→[スリープモードからの復帰動作]

リモート操作 / 画像転送優先	[リモート操作]や[画像転送]を使って復帰するときにかかる時間を短くします。
シャッターリモコン優先	[シャッターリモコン]を使って復帰するときにかかる時間を短くします。

カメラの画像を再生 / 保存する、SNSへ送信する

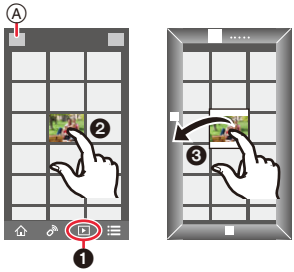
必要な無線接続： Wi-Fi

1 スマートフォンと接続する(P225)

2 スマートフォンを操作する

すでに Bluetooth 接続している場合は、[⌂] → [リモート操作] を選んでください。

(iOS機器) スマートフォンの接続状況により、Wi-Fi設定画面で接続先の変更が必要な場合があります。スマートフォンに表示されるメッセージに従って設定してください。



❶ [▷] を選ぶ

- 画面左上のアイコン(Ⓐ)で、表示する画像を切り換えることができます。カメラの画像を表示するには [Leica] を選んでください。

(再生する)

❷ 画像をタッチして拡大する

- 動画再生時は、実際に撮影された画質とは異なります。また、お使いのスマートフォンの性能や周囲の環境によって、動画や写真を再生するときに画質劣化や音飛びが発生する場合があります。

(保存する、SNSなどのWebサービスに送信する)※

※ iOS 機器の場合、画像はスマートフォンにのみ保存できます。

❸ 画像を長めにタッチし、ドラッグする

- RAW形式の写真を保存するには、Android 7.0以上、iOS 10.0以上のOSが必要です。
- スマートフォンまたはOSのバージョンによっては、RAW形式の写真が正しく表示されない場合があります。
- 以下の画像は保存できません。
  - 4K動画
  - 4K連写ファイル
  - ポストフォーカス撮影した画像

撮影した画像をスマートフォンに自動転送する

必要な無線接続： Bluetooth Wi-Fi

Bluetooth で接続したスマートフォンに、撮影した画像を Wi-Fi で自動転送します。

1 スマートフォンと Bluetooth 接続する(P226)

2 カメラのメニューを設定する

MENU ボタン → [セットアップ] → [Bluetooth] → [自動画像転送] → [ON]

- カメラに Wi-Fi 接続の終了確認画面が表示されたら、[はい] を選んで終了してください。

3 スマートフォンで [はい] (Android機器) または [Wi-Fi 設定] (iOS機器) を選ぶ

- 自動で Wi-Fi 接続します。
  - (iOS機器) スマートフォンに表示されるメッセージに従ってWi-Fi設定画面で接続先を変更してください。

4 カメラで送信設定を確認し、[決定] を選ぶ

- 画像の送信設定を変更するには、[DISP] ボタンを押してください。(P246)
- 自動画像転送できる状態になり、撮影画面に [ ] が表示されます。(表示されないときは自動画像転送できません。スマートフォンとのWi-Fi接続状況をご確認ください)

5 カメラで写真を撮影する

- 写真を撮るたびに、指定した機器に自動で画像を送ります。
- ファイルを送信中は [ ] が表示されます。

- [自動画像転送] を [ON] にすると、次回カメラの電源を入れてスマートフォンで「Leica FOTOS」を起動したときに、カメラとスマートフォンが Wi-Fi/Bluetooth 接続し、自動画像転送できる状態になります。

■ 自動画像転送を終了するには

手順2で [OFF] を選ぶ

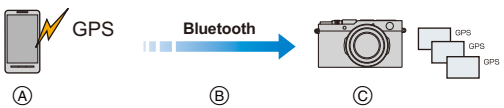
- Wi-Fi接続の終了確認画面が表示されます。

- **[自動画像転送]が[ON]の場合、セットアップメニューの[Wi-Fi]の[Wi-Fi 機能]が使用できません。**
- 画像を転送中にカメラの電源が切れてファイルの送信が中断された場合は、カメラの電源を入れ直すと送信を再開します。
  - 電源を入れ直す前にカードを入れ換えた場合など、送信していないファイルの保存状況が変化すると再送信できないことがあります。
  - 未送信のファイル数が多い場合、すべてのファイルを再送信できないことがあります。
- RAW形式の写真を保存するには、Android 7.0以上、iOS 10.0以上のOSが必要です。
- スマートフォンまたはOSのバージョンによっては、RAW形式の写真が正しく表示されない場合があります。
- 以下の画像は自動画像転送できません。
  - 動画
  - 4K 連写ファイル
  - ポストフォーカス撮影した画像

撮影する画像にスマートフォンの位置情報を記録する

必要な無線接続： Bluetooth

スマートフォンの位置情報をBluetoothでカメラに送信することで、位置情報を書き込みながら撮影します。



Ⓐ 位置情報を取得
Ⓑ 位置情報を送信
Ⓒ 位置情報を書き込みながら撮影

準備：スマートフォンの GPS 機能を有効にする。

1 スマートフォンと Bluetooth 接続する（P226）

2 カメラのメニューを設定する

MENU ボタン → [セットアップ] → [Bluetooth] → [位置情報記録] → [ON]

- 位置情報の記録ができる状態になり、撮影画面に [GPS] が表示されます。

3 カメラで撮影する

- 撮影した画像に位置情報が書き込まれます。

[GPS] が半透明で表示されるときは

位置情報が取得できていないので書き込みができません。建物やかばんの中などでは、スマートフォンの GPS が測位できない場合があります。

- 空を広く見渡せる場所などの測位しやすい場所に移動してお試しください。
- スマートフォンの取扱説明書もお読みください。

- 位置情報が書き込まれた画像には、[GPS] が表示されます。
- 位置情報の取得中はスマートフォンの電池の消耗が早くなります。
- **本機能のご利用につきましては、被写体のプライバシー、肖像権などに十分ご配慮のうえ、お客様の責任で行ってください。**

カメラの時刻をスマートフォンに合わせる

必要な無線接続： Bluetooth

カメラのセットアップメニューの[時計設定]と、[ワールドタイム]の[ホーム] または[旅行先]を、スマートフォンの設定に合わせます。

1 **スマートフォンと Bluetooth 接続する**(P226)

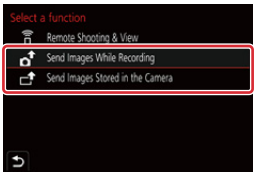
2 **カメラのメニューを設定する**

MENU **ボタン→ [セットアップ]→[Bluetooth]→[自動時刻合わせ]→[ON]**

画像を送る

[新規に接続する]を選んだあとに、画像を送る方法を選びます。

MENU ボタン → [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi機能] → [新規に接続する] → [撮影中に画像を送る]または [カメラ内の画像を送る]



■ 本機で送信できる画像について

JPEG	RAW※2	MP4※1、3	4K 連写ファイル※1 ポストフォーカス撮影した画像※1
○	○	○	×

※1 [撮影中に画像を送る]選択時は送信できません。
※2 Android 7.0以上、iOS 10.0以上のOSが必要です。
※3 4K動画を除く
- お使いの機器によっては、送信または再生できない場合があります。
- 画像の再生について詳しくは、送信先機器の取扱説明書、またはWebサービスをご参照ください。

準備:
- 「Leica FOTOS」をインストールする(P225)

1 メニューを設定する

MENU ボタン → [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi機能] → [新規に接続する] → [撮影中に画像を送る] または [カメラ内の画像を送る]

2 [ネットワーク経由] または [直接接続] を選び、接続する(P247、250)

(スマートフォン側)

[ネットワーク経由] で接続する場合

❶ Wi-Fi機能をONにする
❷ 無線アクセスポイントを選ぶ
❸ 「Leica FOTOS」を起動する

[直接接続] の [WPS 接続] で接続する場合

❶ 「Leica FOTOS」を起動する

[直接接続] の [手動接続] で接続する場合

❶ Wi-Fi機能をONにする
❷ 本機の画面に表示されているSSIDと同じものを選ぶ
❸ 「Leica FOTOS」を起動する

3 接続したい機器を選ぶ

4 送信設定を確認し、[決定] を選ぶ

- 画像の送信設定を変更する場合は、[DISP] ボタンを押してください。(P246)

5

[撮影中に画像を送る] 選択時

写真を撮る(P245)

[カメラ内の画像を送る] 選択時

画像を選ぶ(P245)

こんなときは使えません

- [Bluetooth] の [自動画像転送] を [ON] に設定した場合、[Wi-Fi 機能] が使用できません。

■ 撮影中に画像を送る

写真を撮るたびに、指定した機器に自動で画像を送ります。

- ファイルの送信中は、[ ] が表示されます。
- メニューを設定して、接続を終了してください。

  MENU ボタン→ [セットアップ]→[Wi-Fi]→[Wi-Fi機能]→[はい]
- 写真の送信中は、送信設定を変更できません。

- 撮影動作中は撮影を優先するため、送信完了までに時間がかかります。
- 送信完了前に電源を切る、またはWi-Fi接続を終了した場合、送信されなかったファイルは再送信されません。
- 送信中は、ファイルの消去や再生メニューが使用できない場合があります。

こんなときは使えません

- インターバル撮影時は、Wi-Fi 接続を終了するため使用できません。

■ カメラ内の画像を送る

撮影後に画像を選んで送ることができます。

[1 枚選択] 選択時

❶ 画像を選ぶ

❷ [決定] を選ぶ

[複数選択] 選択時

❶ 画像を選ぶ(繰り返す)

- もう一度選ぶと設定が解除されます。

❷ [実行] を選ぶ

- 接続を終了する場合は、[終了] を選んでください。

こんなときは使えません

- 他の機器で撮影した画像やパソコンで編集・加工した画像は、送信できない場合があります。

■ 画像の送信設定を変更する

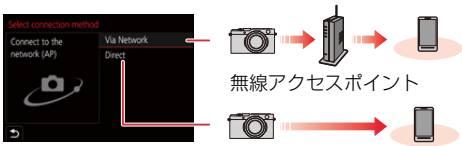
接続が完了したあとに [DISP] ボタンを押すと、送信設定を変更できます。

送信サイズ	送信する画像サイズを変更します。 **[元画像]、[自動]、[変更]（[M]、[S] または [VGA]）** ● 送信先が [Web サービス] の場合は、[自動] を設定できます。 送信先の状況に合わせて画像サイズを変更します。
送信ファイル形式	**[JPG]、[RAW+JPG]、[RAW]**

Wi-Fi 接続について

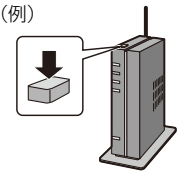
接続には以下の種類があります。

MENU ボタン → [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi機能]

新規に接続する	Wi-Fi機能や送信先を選択して接続します。以下のような画面が表示されたら、接続方法を選んでください。  ● [ネットワーク経由](P248): 無線アクセスポイントを経由して接続します。 ● [直接接続](P250): お使いの機器と本機を直接接続します。
履歴から接続する / お気に入りから接続する	以前と同じ設定で接続します。(P251)

無線アクセスポイントを使って接続する([ネットワーク経由])

無線アクセスポイントとの接続方法を選びます。

WPS (プッシュボタン)	WPSマークがあり、プッシュボタン方式 Wi-Fi Protected Setup™ 対応の無線アクセスポイントを登録します。 **無線アクセスポイントがWPSモードになるまで、無線アクセスポイントのWPSボタンを押す** (例) 
WPS (PINコード)	WPSマークがあり、PINコード方式の Wi-Fi Protected Setup 対応の無線アクセスポイントを登録します。 **1 カメラで無線アクセスポイントを選ぶ** **2 カメラの画面に表示されているPINコードを、無線アクセスポイントに入力する** **3 カメラの [MENU/SET] ボタンを押す**
一覧から選ぶ	WPSに対応しているかわからない場合や、無線アクセスポイントを検索して接続したい場合に選択します。(P249)

- 初回接続時以外は、前回接続した無線アクセスポイントに接続します。接続先を変更する場合は、[DISP]ボタンを押してください。
- WPS とは、無線LAN機器の接続やセキュリティーの設定を簡単にできる機能です。
  操作方法やWPSに対応しているかどうかについて詳しくは、無線アクセスポイントの取扱説明書をお読みください。

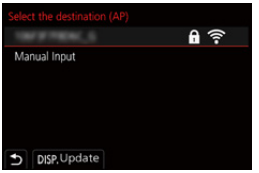
WPS に対応しているかわからない場合([一覧から選ぶ])

利用できる無線アクセスポイントを検索します。

- 無線アクセスポイントのネットワーク認証が暗号化されている場合は、無線アクセスポイントの「暗号化キー」を確認してください。

1 無線アクセスポイントを選ぶ

- 無線アクセスポイントを再検索するには、[DISP]ボタンを押してください。
- 無線アクセスポイントが見つからない場合は、下記の「[マニュアル入力]で接続する場合」をお読みください。



2 (ネットワーク認証が暗号化されている場合)
暗号化キーを入力する

- 文字の入力方法:(P55)

■ [マニュアル入力]で接続する場合

- 接続する無線アクセスポイントの「SSID」、「認証方式」、「暗号化方式」、「暗号化キー」を確認してください。

❶ 上記の手順**1**の画面で、[マニュアル入力]を選ぶ

❷ 接続する無線アクセスポイントのSSIDを入力して[決定]を選ぶ
- 文字の入力方法:(P55)

❸ ネットワークの認証方式を選ぶ

WPA2-PSK	対応する暗号化方式:TKIP、AES
WPA2/WPA-PSK	
暗号化なし	–

❹ ([暗号化なし]以外選択時)
暗号化キーを入力する

- 無線アクセスポイントを登録する場合は、無線アクセスポイントの取扱説明書や設定をご確認ください。
- 接続できないときは、無線アクセスポイントの電波が弱いと考えられます。詳しくは、「メッセージ表示」(P270)、「Q&A 故障かな?と思ったら」(P272)をお読みください。
- お使いの環境によっては、無線アクセスポイントとの通信速度が低下することや、無線アクセスポイントが利用できないことがあります。

カメラと機器を直接接続する（[直接接続]）

WPS接続	[WPS（プッシュボタン）] **1** **カメラの画面で [WPS（プッシュボタン）] を選ぶ** **2** **機器をWPSモードにする** ● 接続待ちの状態を延長するには、カメラの [DISP] ボタンを押してください。
	[WPS（PINコード）] **1** **カメラの画面で [WPS（PINコード）] を選ぶ** **2** **機器の PIN コードをカメラに入力する**
手動接続	**カメラに表示されている SSIDとパスワードを機器に入力する** ● [Wi-Fi パスワード] を [OFF] に設定時は、パスワードは表示されません。SSIDを選んで接続してください。（P230）

● 接続する機器の取扱説明書もお読みください。

以前と同じ設定で素早く接続する（[履歴から接続する]/[お気に入りから接続する]）

Wi-Fi 機能を使うと Wi-Fi 接続の履歴が保存されます。履歴から接続すると、以前と同じ Wi-Fi 接続設定で簡単に接続できます。

- 接続する機器の設定を変更した場合、接続できないことがあります。

1 メニューを設定する

MENU ボタン → [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi機能]

履歴から接続する	以前に使用した設定で接続します。
お気に入りから接続する	お気に入りに登録された設定で接続します。

2 接続したい項目を選ぶ

- 接続の詳細を表示するには、[DISP] ボタンを押してください。

■ 履歴をお気に入りに登録する

❶ メニューを設定する

MENU ボタン → [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi機能] → [履歴から接続する]

❷ 登録したい項目を選び、▶ ボタンを押す

❸ 登録名を入力する

- 文字の入力方法：（P55）
- 入力できる文字数は最大30文字です。全角文字は2文字の扱いになります。

■ お気に入りに登録した項目を編集する

❶ メニューを設定する

MENU ボタン → [セットアップ]→[Wi-Fi]→ [Wi-Fi機能]→[お気に入りから接続する]

❷ 編集したいお気に入り項目を選び、▶ ボタンを押す

お気に入りを消す	—
お気に入りの順番を変える	移動先を選びます。
登録名を変える	● 文字の入力方法（P55）

- 履歴に保存される数には制限があります。よく使う接続設定はお気に入りに登録してください。
- [ネットワーク設定リセット]をすると、履歴とお気に入りに登録した内容は消去されます。
- スマートフォンなどの接続する機器が本機以外の無線アクセスポイントと接続されているときは、[直接接続]を使って本機と接続できません。接続する機器側のWi-Fi 設定のアクセスポイントを本機に変更してください。または、[新規に接続する]で接続し直してください。（P225）

Wi-Fi 設定メニュー

Wi-Fi機能を使うために必要な各種設定をします。
Wi-Fi接続中は 設定の変更はできません。

MENU ボタン → [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 設定]

[リモート優先操作設定]

リモート撮影時に、カメラとスマートフォンのどちらの操作を優先するかを設定します。(P235)

[Wi-Fi パスワード]

スマートフォンと直接接続する際にパスワードの入力が必要になり、セキュリティーを強化できます。

ON	SSIDとパスワードを利用してカメラとスマートフォンを接続します。(P228)
OFF	SSIDを利用してカメラとスマートフォンを接続します。(P230)

- [ON]に設定した場合はQRコードを読み取って接続することもできます。

[機器名称]

本機の名前(SSID)を変更できます。

1. [DISP]ボタンを押す
2. 任意の機器名称を入力する
   - 文字の入力方法:(P55)
   - 入力できる文字数は最大32文字です。

[Wi-Fi 機能ロック]

誤操作、第三者によるWi-Fi機能の使用の防止および設定した個人情報を保護するため、
Wi-Fi機能をパスワードで保護することをお勧めします。

設定	数字4桁で任意のパスワードを設定します。 ● 文字の入力方法:(P55)
解除	パスワードを解除します。

- パスワードを設定すると、Wi-Fi 機能を使用する際に、パスワードの入力が必要になります。
- パスワードを忘れてしまった場合、セットアップメニューの[ネットワーク設定リセット]をするとパスワードをリセットできます。

[ネットワークアドレス表示]

本機のMACアドレスと IPアドレスを表示します。

- 「MACアドレス」とは、ネットワーク機器を識別するための固有アドレスです。
- 「IPアドレス」とは、インターネットなどのネットワークに接続されたコンピューターを識別する番号のことです。ご家庭では、無線アクセスポイントなどのDHCP機能で自動的に割り当てられるのが一般的です。(例:192.168.0.87)

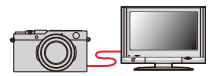
[認証情報]

電波法に基づく工事設計認証番号を表示します。

4K 動画を他機器で見る / 残す

4K 動画を見る

■ テレビで見る



本機と4K動画対応テレビを接続し、本機で撮影した4K動画を再生すると、きめ細かい4K動画を楽しむことができます。
出力解像度は下がりますが、4K動画に対応していないハイビジョンテレビなどに接続して再生することもできます。

準備:
- [HDMI 出力解像度 (再生時)](P201)を[AUTO]または[4K/30p]の解像度に設定する。
- 4K動画に対応していないテレビに接続する場合は、[AUTO] に設定する。

HDMIマイクロケーブルで本機と 4K動画対応テレビをつなぎ、再生画面を表示する(P255)

- [HDTVリンク]を[ON]に設定し、HDTVリンク対応テレビに接続すると、テレビの入力切換が自動で切り換わり、再生画面が表示されます。詳しくは、256 ページをお読みください。
- 4K 動画対応の SD カードスロット付きテレビにカードを入れて再生することもできます。
- テレビの説明書もお読みください。

■ パソコンで見る

- 4K動画の再生、編集には、高性能なパソコン環境が必要です。

4K 動画を残す

4K 動画は、ダビング機器などに特定の互換性がある場合Blu-ray ディスクまたはDVDにダビングすることができます。

■ パソコンに残す

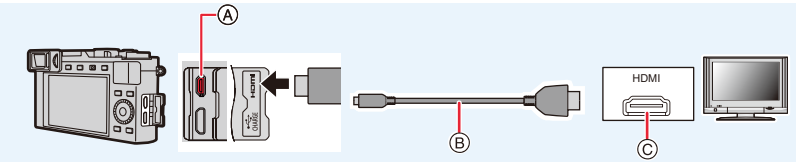
4K 動画をパソコンに取り込むには、ライカカメラ AG のホームページでソフトウェアをダウンロードしてお使いください。
(あらかじめホームページで本機を登録する必要があります)(P257)
- 詳しくは、ソフトウェアの取扱説明書をお読みください。

テレビで見る

準備：本機の電源スイッチを[OFF]にし、テレビの電源も切る。

1 HDMI マイクロケーブルで本機とテレビをつなぐ

- 端子の向きを確認して、プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。
  （斜めに差したり、向きを逆にしたりすると、端子が変形して故障の原因になります）また、誤った端子には接続しないでください。故障の原因になります。



Ⓐ [HDMI] 端子
Ⓑ HDMI マイクロケーブル
Ⓒ HDMI 端子（テレビ側）

- HDMIロゴがあり、4Kに対応したハイスピードHDMIマイクロケーブル（2 m まで）をお使いください。

2 テレビの電源を入れ、接続する端子に合わせてテレビの入力切換を選ぶ

3 本機の電源を入れ、[▶] ボタンを押す

- 画像横縦比によっては、画像の上下や左右に黒い帯が付いて表示されることがあります。
- 画像の上下の端が切れて表示される場合は、テレビの画面モードの設定を変更してください。
- 接続するテレビによっては、動画または 4K 連写ファイルが正しく再生されない場合があります。
- [HDMI 出力解像度 (再生時)]（P201）を確認してください。
- 24p動画を再生時は[HDMI出力解像度(再生時)]を[AUTO]に設定してください。[AUTO]以外に設定していると、24 コマ / 秒では出力できません。
- 本機のモニター/ ファインダーに画像は表示されません。また、本機のスピーカーから音声は出ません。
- USB接続ケーブルと同時に接続すると、[HDMI]端子が働きません。
- テレビの説明書もお読みください。

HDTV リンク(HDMI)を使う

HDTV リンク(HDMI)(HDAVI Control™)とは

- 本機とHDMI マイクロケーブルを使って接続したHDTV リンク対応機器を自動的に連動させて、HDTV のリモコンで簡単に操作できる機能です。(すべての操作ができるものではありません)
- HDTV リンク(HDMI)は HDMI CEC(Consumer Electronics Control)と呼ばれる業界標準の HDMI によるコントロール機能をベースに、機能を追加したものです。他社製 HDMI CEC 対応機器との動作保証はしておりません。HDTV リンク(HDMI)に対応した他社製品については、その製品の取扱説明書をご確認ください。

準備:

MENU ボタン→ [セットアップ]→[テレビ接続設定]→[HDTV リンク]→[ON]

1 HDMI マイクロケーブルで、本機と HDTV リンク(HDMI)に対応したテレビをつなぐ (P255)

2 本機の電源を入れ、[▶] ボタンを押す

3 テレビのリモコンで操作する

電源OFF

テレビのリモコンを使ってテレビの電源を切ると、本機の電源も連動して切れます。

自動入力切換

- HDMIマイクロケーブルで接続して本機の電源を入れ、本機の[▶]ボタンを押すと、テレビの入力切換を自動で本機の画面に切り換えます。また、テレビの電源が待機状態のときは自動で電源が入ります。(テレビの「電源オン連動」を「する」に設定している場合)

- 本機のボタンを使っての操作は制限されます。
- スライドショーで動画の音声を再生するには、スライドショー設定画面で[音設定] を[AUTO]または[音声]に設定してください。
- HDMIロゴがあり、4Kに対応したハイスピードHDMI マイクロケーブル(2 m まで)をお使いください。
- HDTV リンク(HDMI)が正しく働かない場合は、279 ページをご確認ください。

撮影した画像データをパソコンにコピーする

カードリーダーを使う場合（外付け）

- 一部のパソコンは、カメラから抜いたカードから直接読み込んだり、また外付けのカードリーダーが必要な場合もあります。詳しくは、各機器の取扱説明書をご覧ください。
- SDXC メモリーカードにパソコンが対応していない場合、フォーマットを促すメッセージが表示されることがあります。
  （撮影したすべての画像データが消去されますので、[いいえ] を選択してください）
- 外付けのカードリーダーの場合、使用するカードの種類をサポートしているか確認してください。

パソコンをカメラと接続して使う場合（ソフトウェアを使用）

■ 使用できるパソコン

マスストレージデバイス（大容量記憶装置）を認識できるパソコンに接続できます。

- Windows の場合： **Windows 7/Windows 8/Windows 8.1/Windows 10**
- Mac の場合： OS X v10.5 ～ macOS 10.13

ライカカメラ AG のホームページで本機を登録すると、ソフトウェアをダウンロードできます。ソフトウェアを使うと、本機で記録したすべてのファイル形式の静止画や動画の画像データをパソコンに取り込むことができます。

■ ソフトウェアをインストールする

ソフトウェアを利用するには、まずインストールする必要があります。
以下の 3 つの手順が必要です：

① お使いのカメラをライカカメラ AG ホームページに登録する

a. http://owners.leica-camera.com でアカウントを作成いただくと、“カスタマーサイト” をご利用いただけます。

b. 指示に従ってシリアル番号を入力して、お使いのカメラを “製品情報” に登録してください。

c. “画像編集用ソフトウェア” を選択してください。保証書に添付のステッカーに記載されている TAN コードを入力してください。
- ソフトウェアを起動するためのキーが電子メールで送信されます。.

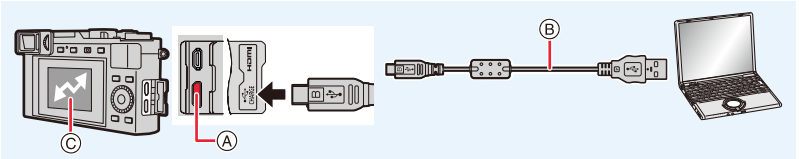
② お使いのパソコンにソフトウェアをインストールする

③ 受け取ったキー（数字）でソフトウェアを起動する
- ソフトウェアの起動後は表示される指示に従ってください。
- ソフトウェアの操作方法の詳細についてはオンラインヘルプをご覧ください。

パソコンに画像を取り込む

準備:
- 本機とパソコンの電源を入れる。

1 USB接続ケーブルで本機とパソコンをつなぐ
- 本機とパソコンの電源を入れてから、つないでください。
- 端子の向きを確認して、プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。
  (斜めに差したり、向きを逆にしたりすると、端子が変形して故障の原因になります)また、誤った端子には接続しないでください。故障の原因になります。
- 付属のUSB接続ケーブル以外は使用しないでください。
- 充電についてのメッセージが表示される場合があります。表示が消えるまでしばらくお待ちください。



Ⓐ [HDMI/CHARGE] 端子
Ⓑ USB 接続ケーブル
Ⓒ 通信中
- 表示中は USB 接続ケーブル(付属)を抜かない。

2 ▲/▼ ボタンで [PC(Storage)] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- セットアップメニューで[USBモード]を[PC(Storage)]に設定すると、[USBモード]の選択画面は表示されず、自動的にパソコンと接続します。

3 ライカカメラ AG のホームページでダウンロードできるソフトウェアを使って、画像をパソコンにコピーする(あらかじめホームページで本機を登録する必要があります)

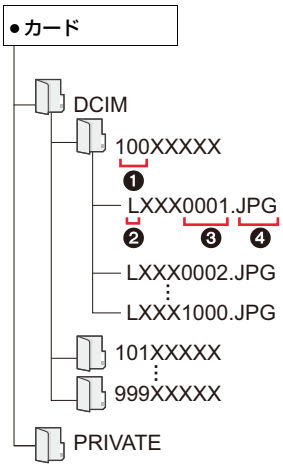
- カードの抜き差しをする前に、電源を切り、USB接続ケーブルを抜いてください。
  撮影データが壊れるおそれがあります。
- 十分に充電されたバッテリーを使用してください。
- バッテリー使用時は、USB接続中にバッテリー残量が少なくなると、警告音が鳴ります。
  USB接続ケーブルを安全に取り外してください。データが破壊されるおそれがあります。

■ ソフトウェアを使わずにパソコンにコピーする

取り込みたい画像が入っているフォルダーやファイルを、パソコン上の別のフォルダーにドラッグアンドドロップすると、パソコンに画像を保存することができます。

- **本機のカードの中(フォルダー構造)は以下のようになります。**

Windows のとき:「コンピューター」にドライブ ([LEICA]) を表示
Mac のとき: デスクトップ上にドライブ ([LEICA]) を表示



DCIM: 写真 / 動画フォルダー

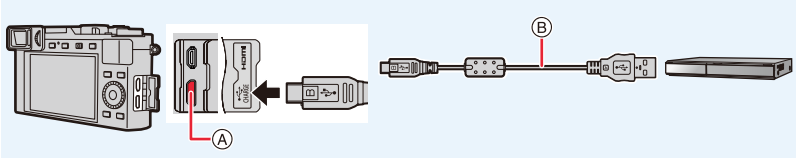
❶	フォルダー番号	
❷	色空間	L: sRGB
		_: AdobeRGB
❸	ファイル番号	
❹	JPG:	写真
	RW2:	RAW で記録した写真
	MP4:	MP4 動画、4K 連写ファイル

写真や動画をレコーダーに残す

本機と対応しているブルーレイレコーダーまたは DVD レコーダーを接続すると、写真や動画を残すことができます。

1 USB接続ケーブル(付属)で本機とレコーダーをつなぐ

- 本機とレコーダーの電源を入れてからつないでください。
- 端子の向きを確認して、プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。
  (斜めに差したり、向きを逆にしたりすると、端子が変形して故障の原因になります)また、誤った端子には接続しないでください。故障の原因になります。
- 付属のUSB接続ケーブル以外は使用しないでください。
- 充電についてのメッセージが表示される場合があります。表示が消えるまでしばらくお待ちください。



Ⓐ [USB/CHARGE] 端子
Ⓑ USB 接続ケーブル

2 ▲/▼ ボタンで [PC(Storage)] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- セットアップメニューで[USBモード]を[PC (Storage)]に設定すると、[USBモード]の選択画面は表示されず、自動的にレコーダーと接続します。

3 レコーダーを操作してダビングする

- ダビングや再生方法について詳しくは、レコーダーの取扱説明書をお読みください。
- お使いのレコーダーによっては、4K 動画などのモードに対応していない場合があります。

- 十分に充電されたバッテリーを使用してください。接続中にバッテリー残量が少なくなった場合は、警告音が鳴ります。すぐに取り込みを中止してください。データが壊れるおそれがあります。
- カードの抜き差しをする前に、電源を切り、USB 接続ケーブルを抜いてください。撮影データが壊れるおそれがあります。

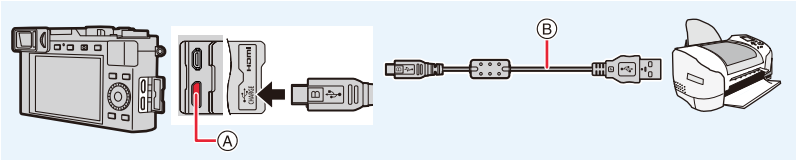
プリントする

本機をPictBridge（ピクトブリッジ）対応のプリンターに直接接続し、プリントできます。

準備：
- あらかじめプリンター側で印字品質などを設定する。
- 本機とプリンターの電源を入れる。

1 USB接続ケーブルで本機とプリンターをつなぐ

- 端子の向きを確認して、プラグを持ってまっすぐ抜き差ししてください。
（斜めに差したり、向きを逆にしたりすると、端子が変形して故障の原因になります）また、誤った端子には接続しないでください。故障の原因になります。
- 付属のUSB接続ケーブル以外は使用しないでください。
- 充電についてのメッセージが表示される場合があります。表示が消えるまでしばらくお待ちください。



Ⓐ [USB/CHARGE] 端子
Ⓑ USB 接続ケーブル

- [⊗] （ケーブル切断禁止アイコン）表示中は、USB接続ケーブルを抜かないでください。
（プリンターによって表示されない場合があります）

2 ▲/▼ ボタンで [PictBridge(PTP)] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

3 ◀/▶ ボタンで画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

4 ▲/▼ ボタンで [プリント開始] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

複数の画像を選んでプリントする

1 「プリントする」(P261)の手順3で▲ボタンを押して複数プリントに設定する

2 ▲/▼ボタンで項目を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

複数選択	複数の画像を選んでプリントします。 ● ▲/▼/◀/▶ボタンで画像を選び、[MENU/SET]ボタンを押す。 (設定を解除するには、もう一度[MENU/SET]ボタンを押してください) ● 選択が終了したら、[DISP]ボタンを押してください。
全画像	保存されているすべての画像をプリントします。
レーティング	[★1]～[★5]に[レーティング]設定されたすべての画像をプリントします。

3 ▲/▼ボタンで[プリント開始]を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

- グループ画像は、グループ単位ではなく1枚ずつ表示されます。
- プリント終了後、USB接続ケーブルを抜いてください。
- 十分に充電されたバッテリーを使用してください。接続中にバッテリー残量が少なくなった場合は、警告音が鳴ります。すぐにプリントを中止してください。プリント中以外のときは、USB接続ケーブルを抜いてください。
- カードの抜き差しをする前に、電源を切り、USB接続ケーブルを抜いてください。
  撮影データが壊れるおそれがあります。
- お使いのプリンターによっては、取り出したカードから直接プリントすることもできます。
  詳しくは、プリンターの取扱説明書をお読みください。
- プリント中に黄色の[●]が表示されたときは、プリンターからエラーメッセージを受け取っています。プリント終了後にプリンターに異常がないか確認してください。
- プリント枚数が多い場合、複数回に分けてプリントされることがあります。このとき、残り枚数の表示は設定枚数と異なります。
- RAWファイルをプリントする場合、本機で同時に記録されたJPEG画像がプリントされます。JPEG画像がない場合はプリントできません。

こんなときは使えません

- 動画、4K連写ファイル、ポストフォーカス撮影した画像はプリントできません。

■ 本機でプリントの各種設定をする

プリント枚数や用紙サイズなどを設定できます。[プリント開始]を選ぶ前に設定してください。

日付プリント	ON(日付プリントする)/OFF
プリント枚数	枚数を設定(最大 999 枚)
用紙サイズ	用紙サイズを設定します。
レイアウト	縁あり、縁なしまたは複数印刷を設定します。

- プリンターが日付プリントに対応していない場合は、日付をプリントできません。
- プリンターによっては、プリンター側の日付プリント設定が優先される場合がありますので、お気をつけください。
- プリンターが対応していない項目は表示されません。
- 本機が対応していない用紙サイズやレイアウトでプリントするには、本機の[用紙サイズ]および [レイアウト]を[🖶]にして、プリンター側で設定してください。
  (詳しくは、プリンターの説明書をお読みください)

写真に日付や文字を入れる

再生メニューの[文字焼き込み]で日付や日時を写真に焼き込むことができます。

■ [文字焼き込み]を使わずに日付プリントする

お店に依頼する場合:

撮影日時だけ印刷できます。お店で日付プリントを指定してください。
以下のメニューで入力した文字は、お店でプリントできません。

- [個人認証]または[プロフィール設定]の[月齢/年齢]、[名前]
- [トラベル日付]の[旅行先]
- [タイトル入力]

自宅でプリントする場合:

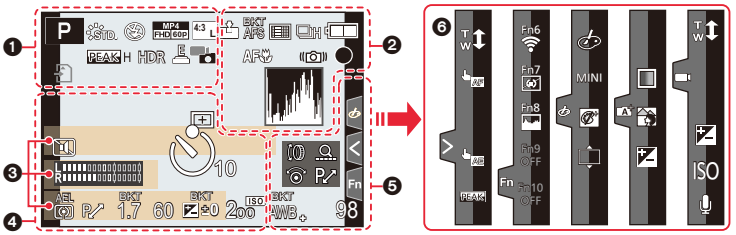
日付プリント対応プリンターをお使いの場合は、本機で[日付プリント] を[ON]に設定すると、撮影日時を印刷できます。

モニター/ファインダーの表示

表示例：[ ]（モニタースタイル）に設定し、モニター表示した場合

- 表示されるヒストグラムや倍率、数値などの情報は目安です。

撮影時



❶

A A P A S M	撮影モード（P37、38）
	動画撮影モード（P37）
C 1	カスタムセット（P70）
	パノラマモード（P117）
STD.	フォトスタイル（P169）
	フラッシュモード（P149）
2nd	フラッシュ設定（P150）
MP4 FHD 60P	画質設定（P154）
4:3 L	画像横縦比 / 記録画素数（P167）
STD. WIDE	画像サイズ（パノラマモード）（P117）
	画像効果（フィルター）調整表示（P126）

EXPS	画像効果（フィルター）種別（P122）
	カード（記録時に表示）（P28）
8m30s	記録経過時間 ※1（P152）
	同時記録表示（P156）
LVF/ MON AUTO	ファインダー/ モニター自動切り換え（P34）
PEAK H PEAK L	ピーキング（P188）
	ハイライトシャドウ（P172）
HDR	HDR（P177）/iHDR（P59）
	多重露出（P178）
E	電子シャッター（P176）
	動画撮影中の写真撮影（写真優先）（P156）
	温度上昇表示（P272）

❷

RAW	ファイル形式 / 圧縮率(P168)
AFS AFF AFC MF	フォーカスモード(P74、87)
BKT AFS	フォーカスブラケット(P132)
	オートフォーカスモード(P75)
	個人認証(P192)
AFL	AFロック(P89)
H H M L	連写(P98)
4K 4K 4K	4Kフォト(P100)
	ポストフォーカス(P110)
10 10 2	セルフタイマー(P115)
	パノラマ撮影方向(P117)
	バッテリー残量(P23)
AF	マクロ撮影(P86)
OFF	手ブレ補正(P139)
	手ブレ警告(P139)
●	フォーカス(緑点灯)(P36)/ 記録動作(赤点滅)(P152)
LOW	フォーカス(低照度時)(P72)
STAR	フォーカス(星空AF時)(P72)
	Wi-Fi接続状態
	Bluetooth接続状態(P227)
GPS	位置情報記録(P241)
	ヒストグラム表示(P188)

❸

名前 ※2(P194)
トラベル経過日数 ※3(P196)
月齢/年齢 ※2(P194)
旅行先 ※3(P196)
現在日時/旅行先設定 ※3:✈(P195)
露出メーター(P190)
ズーム表示(P141)

❹

□	AFエリア(P81)
+	スポット測光ターゲット(P171)
+	センターマーカー表示(P189)
10 10 2	セルフタイマー(P115)
	録音レベル表示(P157)
	サイレントモード(P175)
AEL	AEロック(P89)
AE	測光モード(P44、171)
P	プログラムシフト(P62)
1.7	絞り値(P36)
BKT 1.7	絞りブラケット(P131)
60	シャッタースピード(P36)
BKT ±0	露出補正値(P90)
	露出ブラケット(P131)
	明るさ(P60)
	マニュアル露出アシスト(P67)
200 ISO	ISO感度(P92)

❺

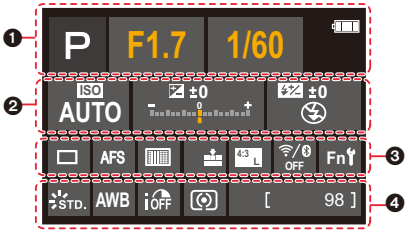
	ダイヤル操作ガイド(P186)
BKT AWB	ホワイトバランスブラケット(P132)
	ホワイトバランス微調整(P96)
AWBc K	ホワイトバランス(P94)
	色合い(P60)
98	記録可能枚数(P29)
r20	連続撮影可能枚数(P99)
残XXmXXs	記録可能時間 ※1 (P29)

❻

タッチタブ(P185)		
		タッチズーム(P145)
		タッチシャッター(P43)
		タッチ AF(P43)
		タッチ AE(P44)
		ピーキング(P188)
	Fn6	ファンクションボタン(P49)
/ / (P153)		色合い(P60)
		ボケ味コントロール(P60)
		明るさ(P60、153)
		ぼかし方(ジオラマ)(P125)
		ワンポイントカラー(P125)
		光源の位置(P126)
		画像効果(フィルター)調整(P128)
		画像効果の入/切(P128)
	MINI	画像効果(フィルター)(P128)
	ISO	ISO感度(P153)
		録音レベル設定(P153)

※1 m は「minute（分）」、s は「second（秒）」を省略した表示です。
※2 [プロフィール設定]設定時は、電源を入れた場合に、約5秒間表示されます。
※3 電源を入れたとき/時計を設定後/再生から撮影モードへ切り換え後、約5秒間表示されます。

モニター撮影情報画面



❶

P A S M	撮影モード(P37)
	動画撮影モード(P37)
	パノラマモード(P117)
F1.7	絞り値(P36)
1/60	シャッタースピード(P36)
TIME	タイム撮影(P68)
	バッテリー残量(P23)
	カード(記録時に表示)

❷

ISO AUTO	ISO感度(P92)
±0	露出補正値(P90)
	明るさ(P60)
	マニュアル露出アシスト(P67)
	フラッシュモード(P149)
±0 2nd	フラッシュ設定(P150)

❸

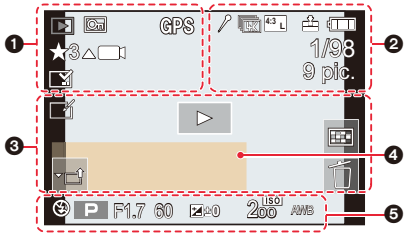
	単写(P97)
	連写(P98)
4K	4Kフォト(P100)
	ポストフォーカス(P110)
10 10 2	セルフタイマー(P115)
	パノラマ撮影方向(P117)
AFS AFF AFC MF	フォーカスモード(P74、87)
	オートフォーカスモード(P75)
RAW	ファイル形式 / 圧縮率(P168)
4:3	画像横縦比 / 記録画素数(P167)
	Wi-Fi/Bluetooth(P222)
Fn	ファンクションボタン設定(P49)

❹

STD.	フォトスタイル(P169)
AWB AWBc WB K	ホワイトバランス(P94)
OFF	iDレンジコントロール(P173)
AE	測光モード(P44、171)
98	記録可能枚数(P29)
r20	連続撮影可能枚数(P99)
残XXmXXs	記録可能時間※(P29)
----	カードなし

※ mは「minute（分）」、sは「second（秒）」を省略した表示です。

再生時



❶

	再生モード(P207)
	プロテクト(P208)
GPS	位置情報記録(P241)
★3	レーティング(P208)
	ケーブル切断禁止アイコン(P261)
	動画再生(P159)
	4K 連写ファイルから写真を保存(P105)
	ポストフォーカス撮影した画像から写真を保存(P112)
	パノラマ再生(P120)
	グループ連続再生(P164)
	フォーカスブラケット(P132、163)
	文字焼き込み済み表示(P216)
8m30s	再生経過時間※1(P159)

❷

	マーカーあり表示(P106)
	4Kフォト(4K連写ファイル)(P100)
	ポストフォーカス(P110)
	フォーカススタッキング(P113)
4:3 L	画像横縦比/記録画素数(P167)
MP4 FHD 60P	画質設定(P154)
RAW	ファイル形式/圧縮率(P168)
	バッテリー残量(P23)
1/98	画像番号/トータル枚数
	Wi-Fi 接続状態
9枚	グループ画像枚数
8m30s	動画記録時間※1(P159)

❸

	クリアレタッチ済み表示(P215)
	情報取得中アイコン
	再生(動画)(P159)
	グループ表示(P164)
	サイレントモード(P175)
1日目	トラベル経過日数(P196)
	マルチ再生(P162)
	消去(P165)

❹

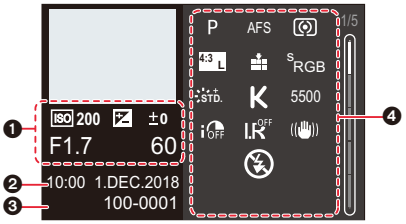
名前※2(P192、194)
旅行先※2(P196)
タイトル※2(P209)
月齢/年齢(P192、194)

❺

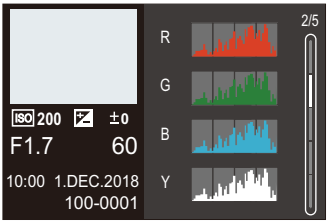
撮影情報

※1 m は「minute（分）」、s は「second（秒）」を省略した表示です。
※2 ［タイトル］、［旅行先］、［名前］（赤ちゃん/ペット）、［名前］（個人認証）の優先順位で表示されます。

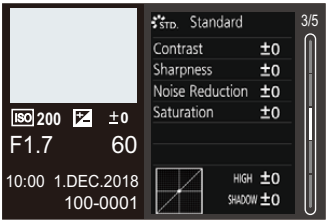
詳細情報表示



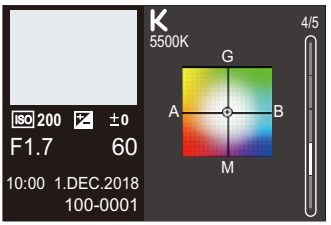
ヒストグラム表示



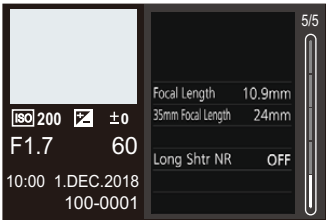
フォトスタイル、ハイライトシャドウ表示



ホワイトバランス表示



レンズ情報表示



❶

撮影情報（基本）

❷

撮影日時/ワールドタイム(P195)

❸

100-0001	フォルダー･ファイル番号(P259)

❹

撮影情報（詳細）	
5500	ホワイトバランス(色温度)(P95)
iOFF	iDレンジコントロール(P173)
HDR ON	HDR(P177)/iHDR(P59)
I.K OFF	超解像(P173)

メッセージ表示

画面に表示される、主なメッセージの意味と対処法です。

■ カード

メモリーカードエラー/ フォーマットしますか？

- 別のカードを入れてお試しください。
- パソコンなどに必要なデータを保存してから本機でフォーマット（P28）してください。

リードエラー/ライトエラー/ カードを確認してください

電源スイッチを[OFF]にしてからカードを抜いてください。再度カードを入れ、電源スイッチを[ON]にして記録または読み込みしてください。
- カードが確実に入っているか確認してください。（P26）
- 別のカードを入れてお試しください。

カードの書込み速度不足のため記録を終了しました

- 動画、4Kフォトおよびポストフォーカス撮影には、それぞれに対応したスピードクラスのカードが必要です。対応したカードをお使いください。（P27）
- 指定されたスピードクラスのカードを使用しても撮影が終了した場合は、データ書き込み速度が低下しています。バックアップをとりフォーマット（P28）することをお勧めします。カードの種類によっては、途中で撮影が終了する場合があります。

メモリーカードエラー/ このカードは使用できません

本機に対応したカードをお使いください。（P27）

■ バッテリー

このバッテリーは使えません

- ライカ純正バッテリーをお使いください。それでも表示されるときは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- バッテリーの端子部のごみなどを取り除いてください。

■ Wi-Fi 機能

アクセスポイントの接続に失敗しました / 接続できませんでした / 送信先が見つかりませんでした

- 本機に設定した無線アクセスポイント情報が間違っています。認証方式･暗号化方式･暗号化キーをご確認ください。(P249)
- 他の機器の電波により、無線アクセスポイントに接続できない場合があります。無線アクセスポイントに接続している他の機器や、2.4 GHz の周波数を使用する機器の使用状況をご確認ください。

通信できませんでした。時間を空けて再度実行してください。/ ネットワークが切断されました。送信を中止しました。

- 無線アクセスポイントの電波が弱くなっています。無線アクセスポイントの近くで接続してください。
- 無線アクセスポイントによっては、一定時間を経過すると自動的に接続が切断される場合があります。接続し直してください。

通信できませんでした

- スマートフォン側の Wi-Fi 設定で、接続するアクセスポイントを本機に変更してください。

■ その他

消去できない画像があります / この画像は消去できません

- DCF規格(P158)に準拠していない画像は消去できません。
  パソコンなどに必要なデータを保存してから本機でフォーマット(P28)してください。

この画像には設定できません

- DCF 規格(P158)に準拠していない画像は本機で編集できません。

フォルダーを作成できません

- 使用できるフォルダー番号がなくなったため、フォルダーを作成できません。
  パソコンなどに必要なデータを保存してから本機でフォーマット(P28)してください。
  フォーマットをしたあとにセットアップメニューの[番号リセット]を実行すると、フォルダー番号が100にリセットされます。(P203)

電源を入れ直してください / レンズが正しく動作しませんでした。電源を入れ直してください。/ システムエラー

- 電源を切り、入れ直してください。数回繰り返し、それでも表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

Q&A　故障かな？と思ったら

撮影が途中で止まる。撮影できない。一部の機能が使用できない。

- 周囲の温度が高い場合や、連続で撮影をした場合は、本機の温度が上昇します。[ ]が表示されたあと、撮影が停止することや、以下の機能が一時的に使用できなくなることがあります。本機の温度が下がるまでお待ちください。
  - 4K フォト
  - ポストフォーカス
  - 動画撮影

バッテリー、電源について

充電ランプが点滅している。

- 温度が極端に高い、または低いところで充電している。
  → 周囲の温度が 10 ℃～ 30 ℃（バッテリーの温度も同様）のところで USB 接続ケーブル（付属）をつなぎ直し、再度充電をお試しください。
- パソコンの給電能力が低い場合は、充電できません。

電源を入れても動作しない。電源を入れてもすぐ切れる。

- バッテリーが消耗しています。充電してください。（P20）

電源が勝手に切れる。

- [エコモード] が働いています。（P198）

バッテリーの消耗が早い。

- [ ]（4K プリ連写）で撮影できる状態では、バッテリーの消耗が早くなります。
  → 撮影するときだけ設定してください。
- 長時間 Wi-Fi 接続をしていませんか？Wi-Fi 接続中はバッテリーの消耗が早くなります。
  → [エコモード]（P198）を使うなどして、こまめに電源を切ってください。

撮影について

蛍光灯やLEDなどの照明下でちらつきや横しまが出る。

- 本機の撮像素子であるMOSセンサーの特徴であり、異常ではありません。
- 電子シャッター(P176)使用時は、シャッタースピードを遅くすると横しまが軽減されることがあります。
- 動画撮影中に、蛍光灯やLEDなどの照明下でちらつきや横しまが目立つ場合、手動でシャッタースピードを1/60秒または1/100秒に調整してください。シャッタースピードを固定することで、ちらつきや横しまを軽減できます。

撮影できない。シャッターを押しても、すぐにシャッターが切れない。

- [フォーカス/レリーズ優先]が[フォーカス]になっていませんか？(P183)
  ピントが合うまで撮影できません。

撮影した画像が白っぽい。

- レンズが汚れています。(指紋などの汚れが付いている)
  → 電源を入れてレンズ鏡筒を出し、レンズの表面を乾いた柔らかい布で軽くふいてください。

撮影した画像が明るすぎる、または暗すぎる。

- 不適切な状態でAEロック(P89)がかかっていませんか？

1回の撮影で、複数の画像が撮れるときがある。

- ドライブモードを[単写]以外に設定していませんか？(P97)
- ブラケットを設定していませんか？(P129)

ピントが合わない。

- ピントが合う範囲から外れています。
- [シャッター半押しAF]が[OFF]になっていませんか？(P181)
- [フォーカス/レリーズ優先]が[レリーズ]になっていませんか？(P183)
- 不適切な状態でAFロック(P89)がかかっていませんか？
- レンズに指紋やほこりなどの汚れが付いていると、レンズにピントが合ってしまい被写体にピントが合わない場合があります。

撮影した画像がブレている。手ブレ補正が効かない。

- 特に暗い場所で撮影すると、シャッタースピードが遅くなり、手ブレ補正が十分に働かないことがあります。
  → 遅いシャッタースピードで撮影するときは、三脚とセルフタイマーを使って撮影してください。

撮影した画像が粗い。ノイズが出る。

- ISO感度を低くしてください。(P92)
- [フォトスタイル]の[ノイズリダクション]をプラス方向にするか、[ノイズリダクション]以外の各項目をマイナス方向に調整してください。(P170)
- [長秒ノイズ除去]を[ON]に設定してください。(P174)

被写体が曲がって撮影される。

- 電子シャッター撮影時、動画撮影時および4Kフォト撮影時に、動いている被写体を撮影すると、被写体が曲がって撮影される場合があります。これは、本機の撮像素子であるMOSセンサーの特徴であり、異常ではありません。

撮影した画像の明るさや色合いが実際とは異なる。

- 蛍光灯やLEDなどの照明下で撮影した場合は、シャッタースピードが速くなると、明るさや色合いが多少変化することがあります。これは光源の特性により発生するものです。異常ではありません。
- 極端に明るい場所、または蛍光灯やLED、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で撮影すると、色合いや画面の明るさが変わったり、画面に横帯が現れたりすることがあります。

動画について

動画が撮影できない。

- 容量の大きなカードをお使いの場合は、電源スイッチを[ON]にしたあとしばらくの間撮影できないことがあります。

動画撮影が途中で止まる。

- 動画の撮影には、対応したスピードクラスのカードが必要です。対応したカードをお使いください。(P27)

4K 動画撮影時、オートフォーカスでピントが合いにくいことがある。

- 高い精度でピントを合わせるために、オートフォーカスの速度を抑えて撮影する場合に生じる現象ですので、異常ではありません。

動画に「カチッ」、「ジー」などの異常音が録音される。録音される音声が非常に小さい。

- 静かな環境下で撮影した場合は、絞りやフォーカスの動作音が動画に録音されることがあります。
  これは異常ではありません。動画撮影中のフォーカス動作は[AF連続動作](P155)で[OFF]に設定できます。
- 動画撮影中にマイクの穴を指で塞ぐと音声が小さく録音される、または録音されない場合があります。またこのとき、レンズの動作音が録音されやすくなりますのでお気をつけください。

動画に操作音が記録される。

- 撮影中の操作音が気になる場合は、タッチ操作で設定を変更することをお勧めします。(P153)
- 動画ボタンを押して撮影を終了するため、動画再生時に操作音が目立つ場合があります。
  操作音が気になる場合は、以下をお試しください。
  → [再生]メニューの[動画分割](P219)で動画の終わりの部分を分割してください。動画分割は最後のあたりでは分割できない場合があります。3 秒ほど長めに撮影してください。

フラッシュについて

フラッシュが発光しない。

- 以下の場合は発光しません。
  → [⊛](発光禁止)になっている。(P146、147、149)
- 電子シャッター使用時は、フラッシュが発光しません。(P176)
- サイレントモード使用時は、フラッシュが発光しません。(P175)

モニター/ ファインダーについて

電源 [ON] 中に、モニター/ ファインダーが消える。

- 設定した時間の間に何も操作をしないと、[EVF/モニター自動OFF]（P198）が働き、モニター/ファインダーが消灯します。
- アイセンサーの近くに手や物があることにより、モニター表示がファインダー表示に切り換わっていることがあります。

一瞬ちらつく、または一瞬画面の明るさが大きく変化することがある。

- シャッターボタンを半押ししたときや、被写体の明るさが変化したときにレンズの絞りが変化することで発生する現象です。故障ではありませんので、安心してお使いください。

[EVF] ボタンを押してもモニターとファインダーが切り換わらない。

- パソコンやプリンターに接続しているときは、本機の画面はモニター表示だけになります。

再生について

再生できない。撮影した画像がない。

- 本機にカードは入っていますか？
- パソコンで加工したフォルダーや画像ではないですか？この場合、本機で再生できません。
  → パソコンからカードに画像を書き込む場合は、ライカカメラ AG のホームページ（P257）でソフトウェアをダウンロードしてお使いください。（あらかじめホームページで本機を登録する必要があります）
- [再生モード] を [通常再生] に設定してください。（P207）

撮影した画像の赤い部分が黒く変色している。

- デジタル赤目補正（[⚡◎]、[⚡S◎]）が動作しているとき、赤い部分が黒く補正されることがあります。
  → フラッシュモードを[⚡]にする、または[デジタル赤目補正]を[OFF]にして撮影することをお勧めします。（P173）

Wi-Fi 機能について

Wi-Fi 接続できない。電波が途切れる。無線アクセスポイントが表示されない。

■ Wi-Fi 接続全般について

- 接続する機器の通信圏内でご使用ください。
- 2.4 GHz帯の周波数を使用する電子レンジやコードレス電話機などの機器を近くで使用していませんか？
  → 同時に使用した場合、電波が途切れることがあります。機器から十分に離してご使用ください。
- バッテリー残量表示が赤く点滅している場合は、他の機器と接続できなかったり、通信が途切れたりすることがあります。([通信エラー]などのメッセージが表示されます)
- 本機を金属のテーブルや棚に置くと、電波に影響し接続しにくい場合があります。金属面から離してご使用ください。

■ 無線アクセスポイントについて

- 接続したい無線アクセスポイントが使用可能な状態になっているか確認してください。
- 無線アクセスポイントの電波状況を確認してください。
  → 無線アクセスポイントの近くで接続してください。
  → 無線アクセスポイントの置き場所や向きを変えてください。
- 無線アクセスポイントの設定内容によっては、電波が存在していても表示されないことがあります。
  → 無線アクセスポイントの電源を切って、入れ直してください。
  → 無線アクセスポイントのネットワークSSIDが非通知に設定されている場合、検出されない場合があります。ネットワーク SSID を入力して接続してください。(P249)もしくは、無線アクセスポイントのネットワークSSIDの非通知設定を解除してください。

スマートフォンのWi-Fi 設定画面で本機が表示されない。

- スマートフォンのWi-Fi設定で、Wi-Fi機能をOFFにしてから、再度ONにしてお試しください。

画像送信が途中で失敗する。送信できない画像がある。

- 画像のサイズが大きすぎませんか？
  → [動画分割](P219)で動画を分割して送信してください。
  → [送信サイズ](P246)で画像サイズを小さくして送信してください。
- 無線アクセスポイントから離れていると、送信するのに時間がかかる場合があります。
  → 無線アクセスポイントの近くで送信してください。
- 送信先により送信できる動画のファイル形式は異なります。(P243)

Wi-Fiのパスワードを忘れた。

- セットアップメニューの[ネットワーク設定リセット]を実行してください。(P204)
  ただし、お客様が[Wi-Fi設定]や[Bluetooth]で設定した情報もリセットされます。

テレビ、パソコン、プリンターについて

テレビに画像が出ない。テレビ画面が流れる、色が付かない。

- 正しく接続されていますか？（P255）
  → テレビの入力切換を HDMI入力にしてください。

HDTV リンク（HDMI）が働かない。

- 本機の[HDTV リンク]を[ON]に設定していますか？（P201）
  → 接続した機器側の HDTV リンク（HDMI）の設定を確認してください。
  → 本機の電源を入れ直してください。

パソコンとの通信ができない。

- 本機の[USBモード]を[PC(Storage)]に設定してください。（P200、258）
- 本機の電源を入れ直してください。

パソコンにカードが認識されない。（SDXCメモリーカードを使用している）

- お使いのパソコンがSDXCメモリーカードに対応しているか確認してください。
- 接続時にカードのフォーマットを促すメッセージが表示されることがありますが、フォーマットしないでください。
- モニターの「通信中」の表示が消えない場合、電源を切ってからUSB接続ケーブルを抜いてください。

プリンターに接続して、プリントができない。

- PictBridgeに対応していないプリンターではプリントできません。
- 本機の[USBモード]を[PictBridge（PTP）]に設定してください。（P200、261）

プリントすると、画像の端が切れる。

- プリンターにトリミングや縁なし印刷機能がある場合、その設定を解除してプリントしてください。
- 写真の横縦比がプリントする用紙の横縦比と異なる。
  → お店に依頼した場合、16:9 のサイズに対応しているか確認してください。

その他

レンズ部から音がする。

- 電源[ON]または[OFF]時にレンズ移動や絞り動作をする音です。故障ではありません。
- ズーム操作など、明るさの変化により自動的に絞りが動作する音です。異常ではありません。

ズームの動きが一瞬止まる。

- EX 光学ズーム時、ズームの動きが一瞬止まりますが、異常ではありません。

シャッターボタンを半押しすると、赤いランプが点灯することがある。

- 暗い場所ではピントを合わせやすくするために、AF補助光ランプ(P182)が赤く点灯します。

本機が熱くなる。

- ご使用中、多少熱くなることがありますが、性能・品質には問題ありません。

時計が合っていない。

- 本機を長期間放置すると、時計がリセットされることがあります。
  → 再度時計を設定してください。(P31)

使用上のお願い

本機について

磁気が発生するところや電磁波が発生するところ(電子レンジ、テレビ、スピーカーや大型モーターなど)からはできるだけ離れて使う

- テレビの上や近くで操作すると、電磁波の影響で画像や音声が乱れることがあります。
- スピーカーや大型モーターなどが出す強い磁気により、記録が損なわれたり、画像がゆがんだりします。
- マイコンを含めたデジタル回路の出す電磁波により、お互いに影響を及ぼし、画像や音声が乱れることがあります。
- 本機が影響を受け、正常に動作しないときは、電源を切りバッテリーやチャージャー/AC アダプターを一度外してから、あらためて挿入または接続し、電源を入れ直してください。

電波塔や高圧線の近くでは、なるべく使わない

- 近くで撮ると、電波や高電圧の影響で撮影画像や音声が悪くなることがあります。

付属のコード、ケーブルを必ず使用してください。別売品をお使いの場合は、別売品に付属のコード、ケーブルを使用してください。
また、コード、ケーブルは延長しないでください。

スピーカーに磁気の影響を受けやすいものを近づけないでください。

- スピーカーの磁気の影響で、キャッシュカードや定期券、時計などが正しく機能しなくなることがあります。

殺虫剤や揮発性のものを本機にかけない

- かかると、外装ケースが変質したり、塗装がはげたりするおそれがあります。

お手入れについて

お手入れの際は、バッテリーを取り出しておく、または電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水に浸した布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげたりするおそれがありますので使用しないでください。
- 化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従ってください。

長期間使用しないときは

- バッテリーとカードは必ず本機から取り出してください。
- バッテリーを入れたままにすると、本機の電源スイッチが[OFF]であっても、絶えず微少電流が流れます。これをそのままにすると過放電になり、充電してもバッテリーが使用できなくなるおそれがあります。
- ゴム製品やビニール製品などを長期間接触させたままにしないでください。
- 押し入れや戸棚に保管するときは、乾燥剤(シリカゲル)と一緒に入れることをお勧めします。
- バッテリーは涼しくて湿気がなく、なるべく温度が一定のところに保管してください。
  (推奨温度:15 ℃～25 ℃、推奨湿度:40%RH～60%RH)
- 長期間保管する場合、1年に1回は充電し、バッテリー残量がなくなってから、本機から取り出して再保管することをお勧めします。
- 長期間使用していないときは、撮影前に各部を点検してから使用してください。

モニター/ ファインダーについて

- モニターを強く押さえないでください。画面にむらが出たり、故障の原因になったりします。
- 寒冷地などで本機が冷えきっている場合、電源を入れた直後はモニター/ファインダーが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

モニター/ファインダーは、精密度の高い技術で作られていますが、画面上に黒い点や白い点が現れたり、常時点灯(赤や青、緑の点)したりすることがあります。これは故障ではありません。モニター/ファインダーの画素については高精度管理をしておりますが、画素欠けするものがあります。またこれらの点は、カードの画像には記録されませんのでご安心ください。

レンズについて

- レンズ部を強く押さないでください。
- レンズが汚れたら電源を入れ、レンズ鏡筒を出した状態でレンズ鏡筒を指で固定して、レンズの表面を乾いた柔らかい布で軽くふいてください。(レンズに指紋などの汚れが付くと画像が白っぽくなることがあります)
- レンズを太陽に向けたまま放置すると、集光により故障の原因になります。屋外や窓際に置くときにはお気をつけください。

バッテリーについて

本機で使用するバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。
このバッテリーは温度や湿度の影響を受けやすく、温度が高くなる、または、低くなるほど影響が大きくなります。

使用後は、必ずバッテリーを取り出す

- 取り出したバッテリーはポリ袋に入れ、金属類(クリップなど)から離して保管、持ち運びしてください。

出かけるときは予備のバッテリーを準備する

- スキー場などの寒冷地では撮影できる時間がより短くなりますので、お気をつけください。
- 旅行をされるときは、現地でバッテリーを充電できるようにACアダプター(付属)とUSB接続ケーブル(付属)も忘れずに準備してください。海外で使う場合は、変換プラグが必要な場合があります。

バッテリーを誤って落下させてしまった場合、端子部が変形していないか確認する

- 端子部が変形したまま本機に入れると、本機を傷めます。

不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

使用済み充電式電池の届け先
最寄りのリサイクル協力店へ
詳細は、一般社団法人JBRCのホームページをご参照ください。

- ホームページ　http://www.jbrc.com

使用済み充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。

チャージャー/ACアダプター

- ラジオ(特にAM受信中)の近くで使うと、ラジオに雑音が入る場合があります。使用時は1m以上離してください。
- 使用中、ACアダプターの内部で発振音がする場合がありますが、異常ではありません。
- 使用後は、必ず電源コンセントから抜いてください。(接続したままにしておくと、微量の電力を消費しています)

カードやデータについて

カードを高温になるところや直射日光の当たるところ、電磁波や静電気の発生しやすいところに放置しない

また、折り曲げたり、落としたり、強い振動を与えない

- カードが破壊されるおそれがあります。また、カードの内容が破壊されたり、消失したりするおそれがあります。
- 使用後や保管、持ち運びするときはケースや収納袋に入れてください。
- カード裏の端子部にごみや水、異物を付着させないでください。また手などで触れないでください。
- 不適切な取り扱いにより故障した結果、記録したデータが破壊されたり、消滅したりすることがあります。記録したデータの消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■ メモリーカードを廃棄/譲渡するときのお願い

- **本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「消去」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。**
- **廃棄/譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。**
- **メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。**

三脚/一脚について

- 三脚を使用する場合は、本機を取り付けた状態で三脚が安定していることを確認してください。
- 三脚/一脚使用時は、カードやバッテリーが取り出せないことがあります。
- 三脚/一脚の取り付けまたは取り外し時に、ねじが斜めにならないようお気をつけください。
  無理な力で回すと本機のねじを損傷するおそれがあります。締めすぎると本体や定格ラベルを傷つけたり、はがしたりすることがありますので、お気をつけください。
- 三脚/一脚の取扱説明書もお読みください。

個人情報について

個人情報の保護のため、Wi-FiパスワードやWi-Fi機能ロックの設定をお勧めします。(P253)
プロフィール設定/個人認証機能で名前または誕生日を設定した場合は、カメラ内および撮影した画像に個人情報が含まれます。

サイレントモード、位置情報の書き込み、シャッター音の変更などの機能のご利用につきましては、被写体のプライバシー、肖像権などに十分ご配慮のうえ、お客様の責任で行ってください。

免責事項

- 個人情報を含む情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いによって変化、消失することがあります。
  個人情報を含む情報の変化、消失が生じても、それらに起因する直接または間接の損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

修理依頼または譲渡/廃棄されるとき

- 個人情報の控えを取ったあと、本機内にお客様が登録または設定した無線 LAN 接続設定等の個人情報を含む情報を[ネットワーク設定リセット] をして必ず消去してください。(P204)
- 個人情報保護のため、設定をリセットしてください。(P203)
- メモリーカードは、本機から取り出してください。
- 修理をすると、設定はお買い上げ時の状態に戻る場合があります。
- 故障の状態により、本機の操作が困難な場合は、お買い上げの販売店またはお近くのライカカスタマーケアセンターまでご相談ください。

メモリーカードを譲渡/廃棄する際は、284 ページの「メモリーカードを廃棄/譲渡するときのお願い」をお読みください。

画像を Webサービスにアップロードするとき

- 画像には、タイトル、撮影日時、位置情報など、個人を特定する情報が含まれる場合があります。
  Webサービスに画像をアップロードする際は、よくご確認のうえ、アップロードしてください。

Wi-Fi 機能について

■ 本機は無線LAN機器としてお使いください

無線LAN機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用する場合は、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を十分に行ってください。
無線LAN機器としての用途以外で使用して損害が生じた場合、当社は一切の責任を負いかねます。

■ Wi-Fi 機能は日本での利用を前提としています

本機の Wi-Fi 機能は、日本での利用を前提としています。日本国外での使用は、その国の電波関連規制等に違反するおそれがあり、当社は一切の責任を負いかねます。

■ 電波によるデータの送受信は傍受される可能性があります

電波によるデータの送受信は、第三者に傍受される可能性があります。あらかじめご了承ください。
情報セキュリティーのためにも無線アクセスポイントで暗号化を設定することを強くお勧めします。

■ 磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください

- 電子レンジ付近など磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください。電波が届かないことがあります。
- 2.4 GHz帯の電波を使用する電子レンジやコードレス電話機などの機器の近くで使用すると、両方の処理速度が低下することがあります。

■ 利用権限のない無線ネットワークに接続しないでください

本機は、無線LAN機能を使用するときに無線ネットワーク環境の自動検索をします。その際、利用する権限のない無線ネットワーク（SSID※）が表示されることがありますが、不正アクセスと見なされるおそれがありますので、接続しないでください。

※ SSIDとは、無線LANで特定のネットワークを識別するための名前のことです。このSSIDが双方の機器で一致した場合、通信可能になります。

- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。
- Dolby、Dolby Audio、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- LEICA/ ライカは、ライカマイクロシステム IR GmbH の登録商標です。
- Summilux は、ライカカメラ AG の登録商標です。
- Adobeは、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windowsは、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- iMovie、Mac、OS X、macOS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- iPad、iPhone、iPod、iPod touchは、米国および他の国々で登録されたApple Inc. の商標です。
  iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。
- App Store は Apple Inc. のサービスマークです。
- Android および Google Play は Google Inc. の商標または登録商標です。
- Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、ライカカメラ AG は、これらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
  その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。
- "Wi-Fi CERTIFIED™" ロゴは、"Wi-Fi Alliance®" の認証マークです。
- Wi-Fi Protected Setup™ロゴは、"Wi-Fi Alliance®" の認証マークです。
- "Wi-Fi®" は "Wi-Fi Alliance®" の登録商標です。
- "Wi-Fi Protected Setup™"、"WPA™"、"WPA2™" は "Wi-Fi Alliance®" の商標です。
- QR コードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。
- 本製品には、ダイナコムウェア株式会社の「DynaFont」を使用しております。
  DynaFontは、DynaComware Taiwan Inc.の登録商標です。
- その他、本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為にかかわるお客様の個人的または非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
（ｉ）画像情報を AVC 規格に準拠して（以下、AVC ビデオ）記録すること。
（ii）個人的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手した AVC ビデオを再生すること。
詳細については MPEG LA, L.L.C. ホームページ (http://www.mpegla.com) をご参照ください。

本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。

（1）ライカカメラ AG のために独自開発したソフトウェア
（2）第三者が保有しており、ライカカメラ AG にライセンスされたソフトウェア
（3）GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.0（GPL V2.0）に基づきライセンスされたソフトウェア
（4）GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.1（LGPL V2.1）に基づきライセンスされたソフトウェア
（5）GPL V2.0、LGPL V2.1 以外の条件に基づきライセンスされたオープンソースソフトウェア

上記（3）～（5）に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。詳細は、[MENU/SET] → [セットアップ] → [バージョン表示] → [ソフト情報] で表示されるライセンス条件をご参照ください。

ライカサービスアドレス

ライカのホームページ

製品、新製品、イベント、ライカについての最新情報は、次のアドレスのホームページに掲載されています。
http://www.leica-camera.co.jp

ライカデジタルサポートセンター

＜技術的なお問い合わせ窓口＞
Tel: 0120-03-5508
受付時間:
月曜日 − 金曜日 9:30 − 18:00
祝祭日は受け付けておりません。

ライカインフォメーションサービス

お客様からのライカ製品の使用技術上の質問には、ライカインフォメーションサービスが書面、電話、ファックス、e メールで回答いたします。次の連絡先にお問い合わせください。

Leica Camera AG
Product Support / Software Support
Am Leitz-Park 5
D-35578 Wetzlar

Tel: +49 (0) 6441-2080-111 /-108
Fax: +49 (0) 6441-2080-490

info@leica-camera.com / software-support@leica-camera.com

ライカカスタマーケア

お手持ちのライカ製品のメンテナンスや修理が必要な場合は、下記のカスタマーケア
またはお近くのライカ正規販売店までご相談ください。

ライカカメラジャパン株式会社

カスタマーケア
東京都中央区銀座 6-4-1 ライカ銀座店内
Tel: 03-6215-7072
Fax: 03-6215-7073
E-mail:info@leica-camera.co.jp

Leica Camera AG
Customer Care
Am Leitz-Park 5
D-35578 Wetzlar

Tel: +49 (0) 6441-2080-189
Fax: +49 (0) 6441-2080-339

customer.care@leica-camera.com

DAS WESENTLICHE.
Leica Camera AG | Am Leitz-Park 5
35578 WETZLAR | DEUTSCHLAND
Telefon +49(0)6441-2080-0 | Telefax +49(0)6441-2080-333
www.leica-camera.com